



2025（令和7）年度
かながわ文化芸術振興計画 年次報告書（素案）

2026 年●月



目 次

I	かながわ文化芸術振興計画について	1
1	かながわ文化芸術振興計画とは	
2	かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け	
3	重点施策の実施状況の概要	
II	重点施策の実施状況	
重点施策 1	地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用	5
重点施策 2	子ども・若者の文化芸術活動の充実等	8
重点施策 3	共生社会の実現に向けた高齢者・障がい者等の文化芸術活動の充実等	10
重点施策 4	国際・観光分野との連携	12
重点施策 5	文化芸術の振興を推進するための環境整備	15
III	基本的な施策の実施状況	
1	県民の文化芸術活動の充実	18
2	文化資源を活用した地域づくりの推進	21
3	文化芸術の振興を図るための環境整備	23
IV	施策事業の実施状況一覧	25
V	進行管理のための参考指標等	
1	総合計画「かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け	67
2	県立文化施設の利用者数	70
3	文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度	72
4	県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）	74
5	過去 1 年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合	80
VI	年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）	84

I かながわ文化芸術振興計画について

1 かながわ文化芸術振興計画とは

本県では、文化芸術振興基本法（現文化芸術基本法）の趣旨に則り、文化芸術の振興についての基本理念や施策の基本となる事項を明らかにした神奈川県文化芸術振興条例（以下「条例」という。）を2008（平成20）年7月に制定し、2019（平成31）年4月に改定しました。

また、同条例に基づき、文化芸術の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、文化芸術の振興に関する基本的な計画を定めることを目的として、かながわ文化芸術振興計画（以下「計画」という。）を2009（平成21）年3月に策定し、その後、2014（平成26）年3月、2019（平成31）年3月及び2024（令和6）年3月に改定を行っており、現行計画は、2024（令和6）年度から2028（令和10）年度を計画期間としています（以下「第4期計画」という。）。

計画においては、5年間を計画期間としており、これまでの間の文化芸術を取り巻く状況の変化とこれまでの取組の実績と課題を踏まえ、今後取り組むべき「基本的な施策」及び「重点施策」を整理しました。

2 かながわ文化芸術振興計画年次報告の位置付け

県は、第4期計画に掲げる「重点施策」及び「基本的な施策」に基づき取組を進めています。この年次報告は、それぞれの施策に係る2025（令和7）年度の実施状況について県文化芸術振興審議会に報告し、御意見を踏まえまとめたものです。

このうち、重点施策については概要を3のとおり整理しました。

資料の構成は、「重点施策の実施状況」（5～17 ページ）、「基本的な施策の実施状況」（18～24 ページ）で整理しています。

「Ⅱ 重点施策の実施状況」（5 ページ）

計画の施策体系のうち、「重点施策」と位置付けている各施策の実施内容を記載しています。また、その効果、課題、今後の方向性について記載しています。

「Ⅲ 基本的な施策の実施状況」（18 ページ）

計画に掲げる「基本的な施策」に位置付けられている各事業の実施状況について、その概要を記載しています。

「Ⅳ 施策事業の実施状況一覧」（25 ページ）

2025（令和7）年度に実施した施策の概要を一覧にしています。

「Ⅴ 進行管理のための参考指標等」（67 ページ）

施設の利用者数、利用率など量的なものと、文化芸術に関する県民の意識など質的なもの両面から、それぞれ関連するデータを記載しています。

I かながわ文化芸術振興計画について

3 重点施策の実施状況の概要（詳細は5～17ページに記載しています。）

「重点施策」に位置付けた各事業の2025（令和7）年度の実施状況は次のとおりでした。

重点施策1：地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用



令和7年度かながわ伝統文化こども歳時記

○県民が伝統文化の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワ リ・古典プロジェクト in 横須賀」などの地域の伝統文化を紹介する事業を実施した。

○子どもとその保護者を対象に、地域の身近な伝統文化の魅力を感じてもらうことを目的として「かながわ伝統文化こども歳時記」を実施した。

重点施策2：子ども・若者の文化芸術活動の充実等



神奈川県美術展中高生特別企画展（撮影：秋葉雅士（Masashi））

○県立文化施設で「KAATキッズ・プログラム2025」や「かなぶんキッズクラブ」、「神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ2025」といった取組を実施し、演劇や音楽、ダンス、文学など、子どもたちを対象とした様々な芸術作品を体験する機会を提供した。

○鎌倉芸術館ギャラリーにおいて、中高生等を対象とした「神奈川県美術展中高生特別企画展」を開催し、青少年に対して作品の発表機会の提供、創作活動の支援を行った。

重点施策3：共生社会の実現に向けた高齢者・障がい者等の文化芸術活動の充実等



精神障害を考える演劇ワークショップ・プロジェクト
「IKIZAMA ミュージックでいなーしよー」（撮影：橋本貴雄）

○障がい者のアート作品を横浜赤レンガ倉庫で展示する「第2回かながわともいきアート展～生きること、表現すること～」において、協賛企業による各企業賞を設けるなど、発表機会の確保・創作活動の支援を図った。

○「シニア劇団」や「シニアダンス企画」の運営、障がい者等が参加する公演等の実施など、年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人まで、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる取組を行った。また、県内10か所の県営団地において、住民等を対象としたシニア合唱事業を実施し、県立音楽堂にて成果発表会を開催した。

I かながわ文化芸術振興計画について

重点施策4：国際・観光分野との連携



アフリカフェア

○第9回アフリカ開発会議に向けた機運醸成や、県民のアフリカへの理解促進を図るため、アフリカ音楽の演奏やアフリカ文化体験のワークショップ、アフリカ開発会議の紹介パネルの展示を行うイベントを実施した。

○観光情報ウェブサイト「観光かながわNOW」等で県内の伝統的な行事や祭りの開催など、文化資源に関する地域情報の発信を行った。

重点施策5：文化芸術の振興を推進するための環境整備



第1回神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想策定委員会

○県民ホール本館の建替えに向けて、基本構想策定委員会を設置し、各分野の専門家等による議論を経て、基本構想を策定した。

○県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、文化芸術に関する特集記事の掲載、SNSの活用など、情報発信の強化を行った。また、県内の文化芸術イベントの情報を一体的に集約した「イベントカレンダー」を日英併記で作成し、情報発信を行った。

【2025(令和7)年度の総括】

2025年度は、県民ホール本館が2025年4月から休館したことから、新たな県民ホールに求められる理念、必要となる機能や設備等について整理し、再整備の方向性を示した「神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想」を策定した。また、休館中にあっても、県民に文化芸術の鑑賞機会を提供するため、これまで県民ホールで実施してきた公演等を県内各地の文化施設等で開催するとともに、リニア中央新幹線「神奈川県駅（仮称）」工事現場を活用した「さがみはらリニア開放区」及び「さがみはらリニアフェスタ」を実施したほか、相模湖地域において県主催のバレエ公演を実施するなど、文化芸術を表現・鑑賞する機会を創出した。

また、人生100歳時代が到来する中、共生共創事業の参加者（出演者、観覧者等）満足度は92.7%を達成し、共生社会の実現を文化芸術の面から後押しすることができた。

引き続き、本県の文化芸術を一層振興していくため、活動の場の提供や補助金等により、県内における文化芸術活動を支援するとともに、伝統芸能の普及振興や共生社会の実現、人材の育成を推進していく必要がある。また、2027年3月から9月にかけて開催される2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」への出展に向けた準備を進めるとともに、市町村や関係団体等と連携し、年齢や障がいなどに関わらず誰もが県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しめるよう、文化芸術活動の裾野を広げる取組をオール神奈川で推進していく必要がある。

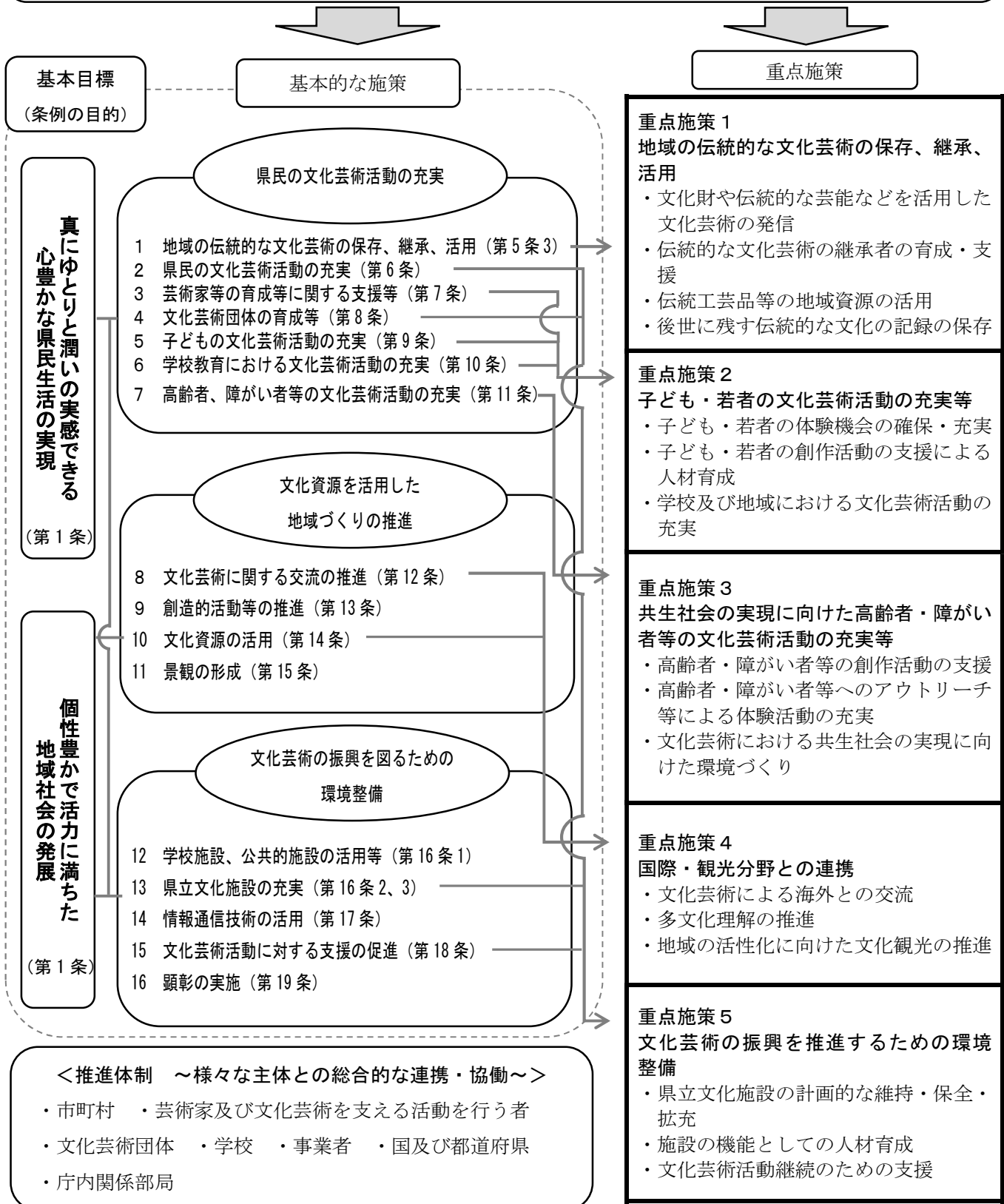
I かながわ文化芸術振興計画について

＜第4期計画（計画期間：2024（令和6）年度～2028（令和10）年度）の施策体系図＞

かながわ文化芸術振興計画の概要

＜施策展開の基本的な視点＞

- 文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャーを推進する
- 共生共創事業をはじめとして、文化芸術を通じて、共生社会の実現を後押しする



Ⅱ 重点施策の実施状況

重点施策 1 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

1 施策の内容

(1) 文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信

市町村と連携しながら、県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、魅力・価値を再発見し、将来にわたり大切に継承していこうという機運につなげていくことを目指し、「カナガワ リ・古典プロジェクト in 横須賀」を開催した。三浦半島の様々な暮らしにスポットを当て、地域で受け継がれてきた伝統芸能の公演を実施した。また、公演に先駆け小・中学生を



カナガワ リ・古典プロジェクト in 横須賀

対象に、三浦半島の民俗芸能の魅力を体感できるワークショップを開催した。

その他、「かながわ民俗芸能祭」では、地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。

これらの取組により、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を醸成した。

(2) 伝統的な文化芸術の継承者の育成・支援

伝統的な芸能についての理解と認識を深めるとともに、継承者の育成につながるよう、高等学校等において、伝統的な芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行う「相模人形芝居学校交流ワークショップ」を実施した。また、子どもを対象とした伝統的な芸能の鑑賞に加え、祭礼や民話、昔遊びといった地域の伝統文化の体験プログラムを組み合わせた「かながわ伝統文化こども歳時記」では、ホールの客席空間の装飾や、ホワイエに設置した芝居小屋

「もみじ座」など、会場全体で楽しめるような設えとするほか、Web広報やSNSを活用した広報を行うことで事業効果を高め、来場者増加につなげた。さらに、小・中学生を対象に日本舞踊等を体験できる「日本舞踊に学ぶ‘和’の作法」や、能の歩き方や使用する楽器の体験等を行う「能楽ワークショップ」の取組のほか、青少年による舞台芸術の創造活動の発展向上に資することを目的とした「青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス」では、伝統芸能に取り組む部活動を対象としたプログラムを初めて実施することで、伝統芸能に取り組む中高生の活動を後押しした。



青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス

II 重点施策の実施状況

（３）伝統工芸品等の地域資源の活用

ものづくりに必要な設備機器等の木製品製造事業者への貸出しや、事業者からの依頼に基づく新商品の試作等に係る加工・製作を実施し、工芸品を主とする木製品事業者向けの支援を行った。

また、「工芸ヤングフォーラム」を実施し、木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供したほか、専門家による講座を開催することで市場に受け入れられる工芸品の商品づくりを支援し、地域に根付いた工芸品産業の技術・技能を継承する人材の育成を図った。

（４）後世に残す伝統的な文化の記録の保存

地域の貴重な民俗芸能が失われないよう、「牛込の獅子舞」をはじめ、県内に伝承される「一人立ち三匹獅子舞」について、歴史や芸能の特徴等の記録保存調査を開始した。

また、県が実施した伝統的な芸能に係る事業について、報告書の整理を実施し、記録として後世に残していく取組を行った。

2 施策の効果

伝統芸能や地域で受け継がれている貴重な民俗芸能を紹介する公演により、県民の理解・認識を深めることができた。

「かながわ伝統文化こども歳時記」では、参加型プログラムの充実や広報の拡充等により、来場者は2024（令和6）年度の648人から1,162人と大幅に増え、ワークショップに参加して「大変よかった」・「よかった」が95.8%と、好評を得た。

また、「カナガワ リ・古典プロジェクト in 横須賀」のアンケート結果では、公演に「大変満足している」・「満足している」が95.7%となっ

たほか、「伝統文化に大変興味を持った」、「伝統芸能に触れる良い機会となった」という回答も多く、本県ゆかりの伝統文化の魅力を伝えることができた。



かながわ伝統文化こども歳時記

3 今後の課題

人口減少、少子高齢化の影響などにより、地域において伝統的な芸能の継承者が不足し、伝統文化が失われていくおそれがある。伝統的な芸能の担い手だけでなく、広く県民が伝統的な芸能の存在意義に対する認識を深め、守り、継承していけるよう、伝統的な芸能の発表の機会及び鑑賞・参加による実際に体験できる機会を継続して提供し、広報の強化などにより参加者数を増やすための取組が必要である。

また、伝統的な文化芸術の継承者に対する支援の充実を図るとともに、地域のコミュニティの活性化などに文化資源を活用していくことが、引き続き必要である。

4 今後の方向性

県民をはじめ多くの人たちが県内各地域の伝統的な芸能を知る機会を持ち、その価値を知って

Ⅱ 重点施策の実施状況

大切に継承していけるような公演・ワークショップ等の事業や、伝統的な芸能の記録を保存し、後世に伝えることを視野に入れた取組を継続して実施する。

その際、県内市町村や文化芸術団体とも連携しながら、各事業の参加者や対象地域を広げていくとともに、地域に根付かせ、地域住民の具体的な動きにつなげていく取組を進める。

また、次世代を担う子ども・若者が文化財や伝統的な芸能に興味を持つような企画・広報を目指し、より幅広い世代に向けて発信する取組を進めるとともに、地域のニーズを汲み取り、時代に合った取組を行うことで、参加者・鑑賞者等の満足度を高めていく。



相模人形芝居学校交流ワークショップ

重点施策2 子ども・若者の文化芸術活動の充実等

1 施策の内容

(1) 子ども・若者の体験機会の確保・充実

県立文化施設での子どもたちを対象とした公演として、KAAT 神奈川芸術劇場では「KAAT キッズ・プログラム 2025」を実施し、子ども向けのプログラムを上演した。神奈川近代文学館における「かなぶんキッズクラブ」では、子どもたちが文学作品に触れる機会を提供した。また、



神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ

県立音楽堂では、「小中高生のための公開リハーサル」を実施し、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の音楽堂定期公演当日のリハーサルを小学生以上が無料で見学できる見学会を実施したほか、かながわアートホールでは「神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ 2025」を実施し、小学4年生～高校3年生の子どもたちが神奈川フィルハーモニー管弦楽団員の指導を経て神奈川フィルと共演するなど、関係団体と協力しながら、演劇や音楽、ダンス、文学等の様々な芸術作品を体験する機会を提供した。

(2) 子ども・若者の創作活動の支援による人材育成

青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる「紅葉坂舞台塾」を開講し、ダンス、音楽、演劇等の舞台芸術のレッスン及び成果発表会を通じて、コミュニケーション力、表現力、社会性を持つ人材の育成を図った。

また、青少年センター スタジオ HIKARI 及びかながわアートホールを活用し、若者たちが自らの才能や可能性を引き出し、発信する場として、会場・設備・備品を無料で提供する「マグカルシアター」を実施した。



神奈川県美術展 60 周年記念 受賞作家展（撮影：秋葉雅士（Masashi Akiba））

新人作家の育成と美術文化の向上のため、美術作品の発表機会を提供し、創作活動の支援を図るとともに、優れた美術作品を県民に紹介することを目的とした全国公募による「神奈川県美術展」は、県民ホール本館の休館に伴い休止となったが、60周年を記念して、現在、美術界で活躍している過去の受賞作家たちによる展覧会を鎌倉芸術館ギャラリーにて開催するとともに、中高生等を対象とした「神奈川県美術展中高生特別企画展」を開催し、青少年に対して作品の発表機会の提供、創作活動の支援を行った。

II 重点施策の実施状況

(3) 学校及び地域における文化芸術活動の充実



演劇部お助け講座

青少年センターでは、文化芸術の次世代を担う子どもたちが、文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するため、中学校の演劇部を対象に演劇部の底上げを図るためのワークショップ「演劇部お助け講座」を県内各地域で実施した。

また、県立近代美術館における近隣の小学校を対象にオリジナル教材を使用したワークショップの実施や、県立歴史博物館及び生命の星・地球博物館における学校への出張講座の実施は、生徒の好奇心や向学心を育む一助となることができた。

さらに、博物館施設における博物館学芸員実習、インターンシップ、職場体験等を実施し、博物館の資料の取扱いや整理の方法などについて実践的に学ぶ機会を提供するとともに、「キャリア教育」の一環として、将来における幅広い職業選択の視野を広げる取組を行った。

2 施策の効果

県立文化施設での子ども向け公演の開催、県内の小学校等へのアウトリーチやワークショップ等を実施し、舞台やオーケストラの鑑賞機会が少ない子どもや若者が優れた文化芸術に触れ、文化芸術への関心を高めることにつながることができた。

また、取組を通じて、文化芸術の次世代を担う人材に発表の場を提供することができた。

3 今後の課題

県民ホール本館及び県立歴史博物館の休館中においても、引き続き子ども・若者が文化芸術に関心を持つきっかけとなるような取組を継続するとともに、文化芸術の次世代を担う人材を育成する取組も必要である。

また、子どもたちが文化芸術活動を行う場でもある公立中学校の部活動について、少子化などの影響により、従前と同様の体制で運営することが困難となってきており、学校や地域によっては部活動の存続自体が厳しい状況にあることから、市町村や文化芸術団体と連携し、ニーズを汲み取りながら、公立中学校における部活動の地域展開を推進していくことも求められている。



マグカルシアター

4 今後の方向性

子ども・若者の文化芸術活動の更なる充実に向けて、青少年センター等を活用した舞台芸術の裾野を広げる取組や、県内の中高生等を対象とした公募美術展の開催など、関係団体と協力しながら、子ども・若者の学びをさらに深める取組を引き続き進める。

また、公立中学校における部活動の地域展開を推進するため、令和7年12月に国が公表した「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を基に、令和5年10月に県が策定した「公立中学校における部活動の地域移行に係る神奈川県の方針」を改訂する。

重点施策3 共生社会の実現に向けた高齢者・障がい者等の文化芸術活動の充実等

1 施策の内容

(1) 高齢者・障がい者等の創作活動の支援

県内10か所の県営団地において、住民等を対象としたシニア合唱事業を展開し、文化芸術の振興とともに、共生社会の実現や、団地におけるコミュニティの活性化、未病改善など健康団地の推進に向けた取組を実施し、延べ2,627人の方が参加した。



かながわともいきアート展

また、高齢者や障がい者が行う文化芸術活動の充実を図る事業等を支援するため、「神奈川県文化芸術活動団体事業補助金」及び「マグカル展開促進補助金」を交付した。

さらに、横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペースにおいて、県内に在住・在勤・在学している障がい者の方のアート作品の公募展を実施し、県内の多くの方が「ともいきアート」に触れる機会を提供するとともに、作品を展示するだけでなく、誰でも楽しめるイベント・ワークショップ等を同時開催することで、障がい

のある方も気軽に来場できるようにするほか、協賛企業を拡大し、各企業賞などを設けた。

その他、「神奈川県障害者文化・芸術祭」を実施し、障がい者の文化芸術活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表の場を提供した。

(2) 高齢者・障がい者等へのアウトリーチ等による体験活動の充実

年齢や障がいなどにかかわらず、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる「共生共創事業」を、委託先である公益財団法人神奈川芸術文化財団の社会連携ポータル課と連携して、シニア劇団やシニアダンス企画の運営、集客公演を行ったほか、障がい者等が参加する公演等を実施した。実施にあたっては、県内の文化施設や社会教育施設をはじめ、動画配信の手法も活用した。

「楽絵ん祭」では、会場のかながわアートホールがある地元保土ヶ谷で活動をしている団体と協働し、障がい児を対象とした音楽・紙芝居等の公演を行い、障がい児が文化芸術に触れる機会を提供した。

また、県立近代美術館における「むすんでひらいてプロジェクト」事業では、葉山町や逗子市など近隣の小・中学校の特別支援学級や県内の留学生を対象にオリジナル教材を使用したワ



綾瀬シニア劇団 Hale 公演「Hale 版 ジョバンニの牛乳」

(撮影：泉山朗士)

II 重点施策の実施状況

ークショップ等を実施した。

（３）文化芸術による共生社会の実現に向けた環境づくり

ライトセンターにおいて視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供するなど、障がい者の社会参加の推進を図った。「神奈川県障害者芸術文化活動支援センター」では、障がいのある方が、身近な地域で芸術文化に触れることができるよう支援するため、相談支援事業やワークショップの実施、コーディネーターの養成等の人材育成事業等を行った。



KAAT キッズ・プログラム 2025<やさしい鑑賞会>
「わたしたちをつなぐたび」

その他、県立文化施設では、文化芸術がより多くの人の心に届くよう、視覚障がい者向けの音声ガイドや聴覚補助のためのヒアリンググループ及び字幕の設置、点字・拡大・反転文字プログラムなど、さまざまな鑑賞サポートを充実させた。また、「KAAT キッズ・プログラム 2025」で上演した子ども向けの新作プログラムの再創作を行い、音量や照明を抑えたり、発声や途中入退場も可能とするなど、年齢や障がいの有無にかかわらず、あらゆる人が楽しめる「やさしい鑑賞会」を実施した。

2 施策の効果

シニア合唱事業においては、事業参加者のうち身体や心が元気になった割合が 86.5%となった。また、共生共創事業における参加者（出演者、観覧者等）満足度アンケートでは、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が 92.7%となったほか、高齢者や障がい者等が出演する演劇・ダンス作品等を動画配信し、27,917 回の再生回数があった。

「神奈川県障害者芸術文化活動支援センター」ではウェブサイトを作成し、センター主催イベント等について発信した。また、「神奈川県障害者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて 8 回配信し、障がい者の文化芸術活動を支援する体制の充実に貢献した。

3 今後の課題

あらゆる人が文化芸術に親しみ、自ら文化芸術活動を楽しめる環境づくりにおいては、共生の理念の一層の浸透を目指し、文化芸術団体等による取組との連携を図りながら事業を展開していく必要がある。

4 今後の方向性

年齢や障がいの程度などにかかわらず、子どもから大人までのあらゆる人が文化芸術に親しめるよう、取組の効果的な周知方法等を工夫して参加者等の増加を図りながら、市町村や文化芸術団体をはじめ、他分野との連携を一層進め、創作活動の支援や発表の場の提供を広げていく取組を引き続き行っていく。

重点施策 4 国際・観光分野との連携

1 施策の内容

(1) 文化芸術による海外との交流

KAAT 神奈川芸術劇場において、横浜国際舞台芸術ミーティング 2025 (YPAM2025) を複数の文化芸術関連団体等と共同で開催し、舞台芸術に係るプロフェッショナルが公演・ディスカッション・ワークショップ等を通じて、舞台芸術の国際交流の拠点としての役割を発揮した。

KAAT 神奈川芸術劇場とフランスのストラスブール・グランテスト国立演劇センター (TJP) による国際共同制作プロジェクト「KAAT×TJP」においては、KAAT で制作した新作舞台作品をフランスで上演した。



KAAT×TJP「ダンスマラソン」(撮影：大洞博靖)



「カナガワビエンナーレ国際児童画展」表彰式

また、世界各地から絵画を募集し、作品を通じて国際理解と国際交流の推進を図る「第 23 回カナガワビエンナーレ国際児童画展」を実施し、地球市民かながわプラザにおいて受賞作品の展覧会を行うとともに、県内 13 箇所での巡回展等を行った。

さらに、ベトナム・神奈川の文化や魅力を感じられるプログラムを盛り込んだイベントを通して、両地域の相互理解を深め、幅広い分野での交流をさらに推進するため、「ベトナムフェスタ in

神奈川 2025」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2025」を実施した。

(2) 多文化理解の推進

外国籍県民や民族団体、NPO、ボランティアなどと連携した多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ 2025」を地球市民かながわプラザで開催し、引き続き企画内容の充実を図った。

また、令和 7 年 8 月に横浜で開催された第 9 回アフリカ開発会議に向けた機運醸成や、県民のアフリカへの理解促進を図るため、アフリカ音楽の演奏やアフリカ文化体験のワークショップ、アフリカ開発会議の紹介パネルの展示を行うイベントを県内の商業施設にて実施した。



あーすフェスタかながわ 2025

II 重点施策の実施状況



イベントカレンダー 3～5月号

さらに、県内の文化芸術イベント情報をカレンダー形式で掲載する情報誌「イベントカレンダー」を、日英併記で作成し、文化施設、駅、商業施設等で配布したほか、Web ページ上でも掲載するなど、県民及び国内外の観光客に向けて、適時適切な文化イベント情報の発信を行った。

県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。

その他、日本語支援拠点施設において、小学生から中学生までの児童生徒を対象に、やさしい日本語や映像、ジェスチャーなどを用いて、音楽の楽しさを伝えるプログラム実施した。

(3) 地域の活性化に向けた文化観光の推進

県立文化施設においては、県立音楽堂で「前川建築見学ツアーin 音楽堂」を実施し、年齢や障がい、国籍などにかかわらず、多くの方に音楽堂を知り楽しんでもらうため、「手話通訳等の鑑賞サポート付きツアー」を開催した。KAAT 神奈川芸術劇場では、街の一部である劇場、またあらゆる人々に「ひらかれた」劇場を目指した「KAAT フレンドシッププログラム」を実施し、アトリウムを会場として、演劇・音楽・ダンス・現代美術・トークイベント等を開催することで、地域の魅力を発信した。

また、「さがみ湖 野外バレエフェスティバル 2025」において県主催バレエ公演を実施し、「バレエのまち相模湖」の認知度向上を図るとともに、湖畔における野外バレエという、バレエの新たな魅力を発信した。

さらに、2027（令和9）年3月から9月に開催される GREEN×EXPO 2027 において実施するオリジナルミュージカル等の県出展に向けた準備や検討を進めた。

その他、県内の伝統的な行事や祭りの開催など、文化資源に関する地域情報を観光情報ウェブサイト「観光かながわNOW」等でも発信するとともに、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグカル・ドット・ネット」をリンクさせた。



「さがみ湖 野外バレエフェスティバル 2025」県主催
バレエ公演「ジゼル」©STAGE PHOTO blanc 吉川
幸次郎

2 施策の効果

横浜国際舞台芸術ミーティング 2025（YPAM2025）は、舞台芸術に関する国際交流の拠点として国内外から認知されつつあり、多彩なプログラムを通じて、情報交換や相互学習、ネットワーク構築の場を提供した。また、カナガワビエンナーレ国際児童画展により、絵画を通じて国際理解と国際交流を推進した。

「あーすフェスタかながわ 2025」では、アンケートの結果、約 89.6%の方が、イベントについて「とても楽しかった」「楽しかった」と回答しており、多文化共生について考えるきっかけを提

II 重点施策の実施状況

供することができた。また、アフリカ音楽の生演奏コンサートやワークショップ、パネル展示を通じて、第9回アフリカ開発会議に向けた機運醸成や、アフリカに関する県民の理解促進を図ることができた。

「イベントカレンダー」により県内の文化芸術イベント情報を積極的に発信するとともに、「マグカル・ドット・ネット」において、通年で英語によるインターネット広告を行い、ページビュー数が過去最大値を達成するなど、県内で実施するイベント等を周知することができた。また、「観光かながわNOW」では、県内の文化資源について、タイムリーなイベント情報を提供した。

3 今後の課題

これまでに県が構築してきた三県省道やベトナム等とのネットワークを活用し、引き続き、文化芸術の国際交流の活性化に向け取り組んでいくことが必要である。

また、神奈川県には多くの外国籍県民が居住していることから、若い世代や多くの外国籍県民等が参加・交流できる事業を実施し、多文化理解の推進のため、より一層の文化交流に取り組む必要がある。

さらに、市町村や文化芸術団体等と連携しながら、県の文化資源を活用したまちづくりを推進し、国内外に文化芸術の魅力を発信していく必要がある。

4 今後の方向性

今後も様々な国や地域との国際交流事業を実施しながら、神奈川発の文化芸術を海外に発信していくとともに、県立文化施設において国際色豊かな取組を充実させることで、海外の文化芸術に対する関心を喚起し、多文化理解を進める深める取組を推進していく。

また、2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の開催に向けた機運醸成に努めるとともに、文化芸術の振興、観光の振興、地域の活性化につながる県出展の準備を引き続き進めていく。

マグカル・ドット・ネット

重点施策5 文化芸術の振興を推進するための環境整備

1 施策の内容

(1) 県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充

KAAT 神奈川芸術劇場では舞台機構設備の更新工事、音楽堂では1階ホワイエ男子トイレ等改修工事、神奈川近代文学館ではファンコイルユニット更新工事、かながわアートホールでは照明 LED 化工事など、施設機能の維持や来館者の安全・安心の確保のため、修繕・工事等を実施した。

県民ホール本館においては、安全や防犯上の観点から休館後に仮囲い設置工事を行うとともに、建替えに向けて様々な分野の専門家を委員とする基本構想策定委員会を設置し、委員会での議論を経て、「神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想」を策定した。



県民ホール本館 仮囲い設置工事

(2) 施設の機能としての人材育成

KAAT 神奈川芸術劇場において、現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンを実施した。



KAAT 舞台技術講座

音楽堂では、制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンを実施し、音楽堂、県民ホールの歴史、指定管理者制度や劇場運営、自主事業における企画・制作・広報について学ぶ機会を提供した。

また、玉川大学と連携し、ホールにて上演された公演において、実際に開場から終演までの劇場案内業務を見学する劇場接遇演習を学生向けに行うなど、大学や教育現場との連携を推進した。

(3) 文化芸術活動継続のための支援

文化芸術活動団体への支援として、地域のにぎわいをつくり出す事業を認証する神奈川文化プログラム認証制度の取組を推進した。また、県内で活動する非営利の文化芸術活動団体の事業を対象とする「文化芸術活動団体事業補助金」、県内で民間団体が実施する文化芸術の新たな事業を対象とする「マグカル展開促進補助金」の2つの補助制度*により、文化芸術活動の振興を図った。

神奈川近代文学館では令和7年10月にホームページを刷新し、展覧会やイベント情報だけでなく、教育支援情報やデジタルアーカイブ等へよりアクセスしやすくしたほか、ホームページやSNSを積極的に活用した広報周知活動を行った。県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・

II 重点施策の実施状況

「ドット・ネット」においては、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信したほか、文化芸術に関する特集記事の掲載、SNS の利用など、各媒体のユーザーに合った情報を提供して情報発信の強化を行った。

情報誌については、県内の文化芸術イベント情報をカレンダー形式で掲載する「イベントカレンダー」を日英併記で作成し、情報発信を行った。

また、県庁前や県内各地の商業施設等を活用して、音楽やダンス等を自由に発表し、鑑賞できる機会を県民に提供する「かながわパフォーマ開放区」を実施し、地域の活性化を図るとともに、県民の文化芸術活動を後押しした。

さらに、「かながわパフォーミングアーツアワード2026」では、ファイナルをKAAT神奈川芸術劇場で実施し、神奈川の舞台芸術人材の技術向上や創作活動の活性化・振興を図った。

その他、県民ホール本館休館後の地域展開事業として「ファンタスティック・ガラコンサート2025～愛の贈り物～」や「モーツァルトオペラ《羊飼いの王様》」など、これまで県民ホールで培ってきた企画やノウハウを活かした公演等を県内各地で実施した。



かながわパフォーマ開放区 in 神奈川県庁

2 施策の効果

県立文化施設の改修工事等を行い、利用者の方に施設をより安全に利用していただくために必要な整備を行うことができた。



かながわパフォーミングアーツアワード 2026

学生等を対象とした各種育成事業では、県の施設の機能を生かし、芸術事業に興味を持つ若い人材に対して制作や広報に関わる業務への理解促進など、多角的理解の機会を提供することができた。

また、市町村・文化芸術団体等の文化事業を統一的な名称やマークを活用しながら、一体的かつ効果的に広報を行うことで、地域のにぎわい・つながりをつくり、文化芸術に触れる機会を創出することができた。

県民ホール本館休館後の地域展開事業により、長年にわたり質の高い事業を行ってきた県民ホールの魅力を発信することに加え、これまで文化芸術に関心の薄かった層や、県民ホールへの来場が難しかった方に鑑賞の機会を提供することができた。

3 今後の課題

県立文化施設については、必要に応じて改修工事等を行っているが、近年の物価、人件費の高騰

II 重点施策の実施状況

を受け、老朽化対策はますます大きな課題となっている。また、2025（令和7）年4月から休館した県民ホール本館については、建替えに向けた検討を着実に進めるとともに、市町村等と連携しながら、地域のニーズや特性を踏まえた地域展開事業を行っていくことが求められる。

今後の文化芸術の継承、発展のため、人材育成事業の充実や文化芸術の担い手確保につながる取組、市町村や文化芸術団体等との連携を生かした文化芸術を県内各地で盛り上げていく取組を引き続き推進する必要がある。



ファンタスティック・ガラコンサート小田原公演

（撮影：Kiyonori Hasegawa）

4 今後の方向性

県立文化施設については、長寿命化や収蔵スペース確保等、計画的な維持、保全、拡充に努めていく。県民ホール本館については、関係機関等とも調整を図りながら、新たな県民ホールの施設、設備等のあり方を引き続き検討し、基本計画策定に向けた取組を進めていく。ソフト面の環境整備については、関係団体と連携して、ニーズに沿った必要な取組を継続して実施する。また、各施設の特色を生かしながら、文化芸術に関するプロフェッショナル人材を育成する取組を継続して推進する。

情報発信については、「マグカル・ドット・ネット」を活用し、適切なタイミングで魅力的な情報を発信するなど、効果的な広報を展開していく。

また、引き続き、市町村や文化芸術団体と連携し、文化芸術活動を盛り上げ、地域課題の解決や地域の活性化につなげていく。

※ 神奈川県文化関係補助金

補助金名	①文化芸術活動団体事業補助金	②マグカル展開促進補助金																					
対象団体	・県内に住所又は活動の本拠 ・県内で継続的に文化芸術の振興に寄与 ・営利団体、自治体主導公益法人は不可	民間団体(県外団体、営利団体も可) ※比較的広め																					
対象事業	県内で実施する文化芸術の事業(継続)	県内で実施する文化芸術の新たな事業																					
補助額、補助率、優遇等	補助額は対象経費の1／3以内 ※ 比較的小規模 高齢者・障がい者・伝統芸能・青少年優先枠を設ける	<table><tr><th colspan="2">事業の区分</th><th>補助率</th><th>補助上限額</th></tr><tr><td colspan="2">通常事業(重点事業以外)</td><td>1／3</td><td>100万円</td></tr><tr><td rowspan="4">重点事業</td><td>共生社会</td><td>1／2</td><td>300万円</td></tr><tr><td>地域活性化</td><td>1／3</td><td>1,000万円</td></tr><tr><td>伝統芸能</td><td>2／3</td><td>300万円</td></tr><tr><td>若年者</td><td>1／3</td><td>300万円</td></tr></table> ※小規模～大規模まで	事業の区分		補助率	補助上限額	通常事業(重点事業以外)		1／3	100万円	重点事業	共生社会	1／2	300万円	地域活性化	1／3	1,000万円	伝統芸能	2／3	300万円	若年者	1／3	300万円
事業の区分		補助率	補助上限額																				
通常事業(重点事業以外)		1／3	100万円																				
重点事業	共生社会	1／2	300万円																				
	地域活性化	1／3	1,000万円																				
	伝統芸能	2／3	300万円																				
	若年者	1／3	300万円																				

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

1 県民の文化芸術活動の充実

(1) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

【施策の方向性】

地域の伝統的な芸能の大切さについての理解、認識を深めるとともに、後継者の育成につながるよう、市町村と連携しながら伝統的な芸能の体験機会の提供、発表機会の確保などに取り組む。

文化財や伝統工芸品等の地域資源の保護を図るため、未指定の文化財への保護措置や、伝統工芸品等の事業者へ向けた支援などに取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策 1 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して公募により補助金を交付し、支援を行った。
- ・ 既指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。
- ・ 県立歴史博物館等において、資料の収集や収蔵資料の定期的な修繕及び展示を行った。
- ・ 市町村と連携し、「かながわの太鼓」や「相模人形芝居大会」といった、伝統芸能を発表する場を設けた。

(2) 県民の文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

県内各地で開催される文化芸術の催しや文化芸術団体の活動の情報、県民が文化芸術に対する関心や理解を深めるための県立文化施設等での文化芸術に関する講座・講演会等の情報を提供する。

県立文化施設等での公演、展覧会などの鑑賞機会の提供や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する文化芸術団体への支援により、県民の鑑賞機会の充実を図る。

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を運営するとともに、県民が参加できる公募展やコンクール等の開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援する。

【主な施策の内容】

- ・ 音楽堂等の県立文化施設において、トークと演奏を組み合わせたレクチャーコンサートなどを実施した。また、近代文学館、金沢文庫等の県立社会教育施設において講演会を実施した。
- ・ KAAT 神奈川芸術劇場や音楽堂等において、ミュージカルや現代音楽、クラシック音楽コンサートといった様々なジャンルの公演を実施し、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供した。
- ・ 吹奏楽ウィークでは、アートホールを練習場とする吹奏楽団を集め、アートホールを練習で利用する団体に発表の機会を提供するとともに、吹奏楽のメッカとしてのアートホールの認知度向上を図った。
- ・ 「神奈川芸術プレス」や「季刊誌 神奈川芸術劇場 KAAT PAPER」を発行し、県内の文化情報や県民ホール本館、KAAT 神奈川芸術劇場及び音楽堂の公演情報等を情報提供した。

（３）芸術家等の育成等に関する支援等

【施策の方向性】

将来の活躍が期待される芸術家等の発掘や育成支援を実施し、また、文化施設で催される様々な公演事業を支える舞台技術者等の育成に取り組む。

県立文化施設などを活用し、芸術家等の練習、発表の場を提供するとともに、公募による展覧会やコンクール等の開催、県立文化施設の主催事業などでの将来の活躍が期待される芸術家等の積極的な登用を行う。

【主な施策の内容】

重点施策２に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、また、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。
- ・ 舞台芸術への扉を開く取組として、若手指揮者を養成する本格的なマスタークラスを開講し、次代を担う若手指揮者に経験の場を提供することができた。
- ・ 県立文化施設では、専門家による舞台技術者へのセミナーの開催やインターンの受け入れなど文化芸術を支える人材の育成に取り組んだ。

（４）文化芸術団体の育成等

【施策の方向性】

文化芸術団体の自主的な活動を支援することにより、文化芸術団体の多様な活動を促進するとともに、文化芸術団体との連携・協働に取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策５に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 文化芸術団体等が主催する、県内において実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。
- ・ 青少年センターにおいて、かながわ児童劇グループ交流会を実施し、地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供した。

（５）子どもの文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

県立文化施設で子どもたちが様々な文化芸術を鑑賞する機会を提供する。

子どもたちが自ら行う文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術団体との連携などにより、市町村の実情に応じた支援に取り組み、公立中学校における文化部活動の地域展開を図る。

【主な施策の内容】

重点施策２に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 小学生に初めてのホールコンサートを体験してもらい、感動を記憶に刻んでもらうことを目的に、初めての音楽会事業「音楽たまたま箱」を行った。
- ・ 藤野芸術の家において、気軽に参加できる常設事業や募集型の体験事業、季節限定体験事業を実施するとともに、藤野村歌舞伎公演及び、藤野席書き大会を共催事業で実施することで、子どもから大人まで多くの人々が自ら陶芸・木工・ガラス工芸等の制作活動を通して、文化芸

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

術に親しむ機会を提供した。

- ・ 青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、青少年センターにおいて「第311回青少年芸術劇場」を実施した。

（６）学校教育における文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

小中学校などの学校教育における文化芸術に関する体験学習などの充実を県及び市町村の教育委員会と連携して図るとともに、芸術家等や文化芸術団体が学校教育の中で行う文化芸術活動に必要な協力や支援を実施する。

【主な施策の内容】

重点施策２に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 青少年センターにおいて、中・高等学校を対象に、演劇の講習会・発表会を学校部活動と連携して開催した。また、青少年の舞台表現のためのスキルアップクラスでは、中学生向けの先端的なワークショッププログラムを実施するとともに、伝統芸能に取り組む部活動を対象としたプログラムを新たに実施した。
- ・ KAAT 神奈川芸術劇場において、社会見学(施設見学)として東京都立中央ろう学校の生徒を対象とした大スタジオのバックステージツアーを、手話通訳を交えて実施した。
- ・ 県立神奈川総合高等学校舞台芸術科の取組について、県立文化施設ではプロの舞台技術者による特別講座を開催したほか、アドバイザリーボードの設置など継続的に支援を受ける仕組みを構築し、協議会を開催した。

（７）高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実

【施策の方向性】

高齢者、障がい者、外国籍県民、子育て中の保護者などが、文化芸術に親しみ自ら文化芸術活動を楽しめるよう、文化芸術団体と協力しながら、共生共創事業をはじめとした文化芸術活動を楽しむための取組を推進するとともに、文化施設のバリアフリー化や情報保障など、利用サービスの向上に努める。

【主な施策の内容】

重点施策３に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 「かながわシニア美術展」を開催し、高齢者の文化芸術活動の成果を発表する場を提供することで、高齢者の社会参加やふれあい・生きがいを推進した。
- ・ KAAT 神奈川芸術劇場、音楽堂、アートホールにて託児ルームを設置し、主催公演において、乳幼児を育てる県民に文化芸術の鑑賞機会を提供した。
- ・ 公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施し、外出することの難しい特別支援学校や医療施設の子どもたちに鑑賞機会を提供することができた。
- ・ 青少年センターでは、舞台芸術活用青少年支援事業として、引きこもり等の課題を抱えた青少年等を対象に舞台芸術が持つ特徴を活かしたワークショップを実施した。

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

(1) 文化芸術に関する交流の推進

【施策の方向性】

市町村と連携した文化芸術事業や他県との交流事業の実施などにより、文化芸術の地域間交流を推進する。

三県省道やベトナム等との文化芸術を介した国際交流事業の実施や県立文化施設等での海外の作品の鑑賞機会の提供などにより、国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組を推進する。

多文化共生イベントの開催や多文化理解を深めるための講座を実施するなど、多文化理解を推進する。

【主な施策の内容】

重点施策4に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 県立歴史博物館においては、工事期間中においても、特別協力を行った東京国立近代美術館に収蔵資料の貸出しを行い、展覧会の充実に貢献するとともに、博物館同士の連携協力を行った。
- ・ 県立生命の星・地球博物館において、学術目的や、教材や広報を目的とした収蔵資料の館外貸出を行った。
- ・ 県立金沢文庫において、特別展の実施にあたり、他の博物館や社寺などから文化財160点の借入れを行い、展示内容を充実させるとともに博物館以外の文化財保有施設との連携協力を行った。
- ・ 県高等学校総合文化祭の開催や全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、高校生の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化の促進を図った。
- ・ 文化芸術の地域間交流推進のため、KAAT 神奈川芸術劇場が創作した新たな舞台芸術作品等の公演を富山県、福岡県、大阪府で展開した。

(2) 創造的活動等の推進

【施策の方向性】

県立文化施設の活用や文化芸術団体との連携により、新しい文化芸術の創造的活動を推進するとともに、これらを国内外に発信する取組を実施する。

【主な施策の内容】

- ・ KAAT 神奈川芸術劇場において、新たな舞台芸術作品の創造や新作公演、アトリウムでの現代美術の展覧会を実施した。

(3) 文化資源の活用

【施策の方向性】

県内の文化資源の発掘に努め、その具体的な活用方策を検討する。また、地域の活性化等に活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家、企業などとの連携により有効活用に取り組むとともに、その魅力を広くPRするための情報発信に取り組む。

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

【主な施策の内容】

重点施策 4 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ 湘南邸園文化祭 2025 を開催し、相模湾沿岸地域の 13 市町の邸園等において、29 の市民団体等により 68 のイベントを実施することにより、邸宅・庭園等の価値を周知するとともに、保全活用の必要性について啓発を行った。
- ・ 箱根ジオパークに対する地域の機運醸成及びジオパークとしての環境整備を行ったほか、箱根ジオパークの基本計画及び行動計画を作成し、併せて組織体制の見直しを行った。
- ・ 「日本遺産」の「候補地域」新規認定申請等に係る県内市町村等への周知や、既認定の「日本遺産」に係る文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。
- ・ 11 月の伝統的工芸品月間に合わせ、所蔵する伝統工芸品を専門員の解説付きで公開するとともに、かながわ県民センターにおいて伝統工芸品の小展示を行い、地域に根ざした木工芸品産業に対する県民の興味を喚起し、理解を深めてもらうことができた。

（４）景観の形成

【施策の方向性】

県内各地の自然景観、歴史的景観、都市景観などの良好な景観の形成に当たっては、文化的諸条件などに配慮し、魅力ある景観づくりに取り組む。

【主な施策の内容】

- ・ 地域の特性を踏まえた景観行政を推進するため、景観行政団体に移行し景観計画を策定することの必要性について、未移行団体に対して啓発を行った。
- ・ 文化庁や全国文化的景観地区連絡協議会による研修や普及啓発について県内市町村に周知した。

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

(1) 学校施設、公共的施設の活用等

【施策の方向性】

県民が空き教室や休日等の学校施設を文化芸術活動のために利用できるよう、学校施設開放に取り組む。また、文化施設以外の庁舎などの公共的施設についても、作品の展示などの利用ができるよう取り組む。

【主な施策の内容】

- ・ 県立学校の音楽室などの学習施設やグラウンド・体育館などの体育施設を、県民の学習や文化活動、スポーツ活動の場として提供した。

(2) 県立文化施設の充実

【施策の方向性】

県立文化施設では、文化芸術の鑑賞や活動、交流の場としての機能に加えて、施設の特性に応じて、文化芸術に関する人材の育成や教育、普及活動に取り組む。

県立文化施設の機能を最大限に発揮させるため、効果的な事業の実施や効率的な施設運営等について、適切な検証を行う。

県立文化施設の文化芸術発信拠点としての機能を充実させるため、長寿命化や県民ニーズに対応した施設改修、文化資源を収蔵するための施設整備に取り組む。また、県民ホール本館の今後のあり方について検討する。

【主な施策の内容】

重点施策 5 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ KAAT 神奈川芸術劇場において、実際に観客を入れ、公演中に災害が起きることを想定したより実践的な避難訓練を実施し、災害に備えて体制を整えた。
- ・ 県立文化施設の指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づき、協定書に定めた利用者満足度調査を実施した。
- ・ 県民ホール本館、KAAT 神奈川芸術劇場及び音楽堂の 3 館一体による効率的な運営が行われているかをチェックするため「神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会」を設置し、公募委員を含む委員により指定管理者が行う主催事業を中心にモニタリングを行い、その内容について会議を開催した。

(3) 情報通信技術の活用

【施策の方向性】

文化芸術に関する情報や資料などを容易に入手できるよう、ホームページや SNS を活用した情報提供を行う。

県立文化施設の利用手続において、窓口を訪れる負担などを軽減するため、情報通信技術を活用し、自宅から利用予約が可能となるなどの利用者サービスの向上に取り組む。

県立文化施設に保存・保管されている文化芸術にかかわる資料について、デジタル化、データベース化を推進し、公開資料の検索や閲覧に情報通信技術を活用するなど、利用者の利便性向上に取り組む。

Ⅲ 基本的な施策の実施状況

【主な施策の内容】

- ・ 「神奈川県立図書館デジタルアーカイブ」として県に関する貴重な所蔵資料等をデジタル化し、Web サイトで公開した。
- ・ 県立金沢文庫において、「国宝 金沢文庫文書データベース」をインターネットで公開するなど、情報通信技術を活用した利用者の利便性の向上を図った。
- ・ 施設予約システムにおいて、原則 24 時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図った。

（４）文化芸術活動に対する支援の促進

【施策の方向性】

文化芸術の振興に寄与する寄附税制等の周知などにより、個人や企業からの寄附や支援が活発に行われるよう取り組む。

【主な施策の内容】

重点施策 5 に記載した施策のほか、主に次の取組を行った。

- ・ かながわキンタロウ寄附金（ふるさと納税）を利用し、文化芸術に触れる機会が少ない方々に対して、オーケストラを鑑賞する機会を提供するための支援を実施した。
- ・ （公財）神奈川芸術文化財団が（公社）企業メセナ協議会に準会員として参加し、情報収集を行った。

（５）顕彰の実施

【施策の方向性】

文化芸術活動で顕著な成果を収めた人や団体、また、文化芸術の振興に寄与した人や団体の顕彰を実施する。

【主な施策の内容】

- ・ 神奈川県在住、在職又は神奈川に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に「未来賞」を贈呈した。

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(1)地域の伝統的な文化芸術の保存・継承・活用								
ア伝統的な芸能の普及啓発、体験・発表機会の提供								
001文化財や伝統的な芸能を活用した文化芸術の発信								
カナガワリ・古典プロジェクト in 横須賀	三浦半島の様々な暮らしにスポットを当て、地域で受け継がれてきた伝統芸能の公演を「海洋都市横須賀」を舞台に実施した。また公演に先駆け小・中学生を対象に、三浦半島の民俗芸能の魅力を体感できるワークショップを開催した。	ホール公演会場への誘客として、横須賀中央駅前の商業施設で伝統芸能のミニ公演を行った。また、伝統芸能の歌詞や説明を記した詞章を制作して配布する等、初めて三浦半島の伝統芸能に触れる方にも親しみやすく、また家に持ち帰ってからも楽しんでいたような工夫を行った。	・ホール公演576名 ・屋外公演（モアーズシティミニステージ）54名 ・民俗芸能ワークショップ20名（参加者10名、同伴者10名） ・日本舞踊ワークショップ3名（参加者2名、同伴者1名）	2025年11月23日 民俗芸能ワークショップ 2025年12月6日 ホール公演 他	横須賀市文化会館、横須賀市産業交流センター 他	—		重点施策 1
002伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成・支援								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	①33人 ②9人 ③41人	①2025年7月24日(木)・25日(金) ②2025年8月2日(土)・3日(日) ③2025年8月11日(月)・12日(火)	①横須賀市文化会館 ②タウンニュースビル ③県立青少年センター	ワークショップの満足度を聞いたアンケートの結果、134名（保護者を含めた回答者数135名のうち）から「とてもよかった・よかった」との回答があった。		重点施策 1
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを変えて構成した。	①232人 ②97人 ③200人 ④133人 ⑤173人	①2025年10月2日 ②2025年11月10日 ③2026年1月26日 ④2026年2月20日 ⑤2026年3月24日	①足柄高等学校 ②林中学校 ③二宮高等学校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—		重点施策 1
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①7人 ②17人 ③11人	①2025年8月14日(木) ②2025年8月17日(日) ③2026年1月31日(土)	①サン・エールさがみはら ②あつぎ郷土博物館 ③青少年センター練習室	—		重点施策 1
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による舞台芸術の創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先導的なワークショッププログラムを実施した。	これまでのプログラムが演劇とダンスに限られていたが、伝統芸能に取り組む部活動を対象としたプログラムを初めて実施した。	戯曲づくり編：7人 人形芝居編：13人	戯曲づくり編(全5回) 2026年1月6日、12日、18日、25日、2月1日 人形芝居編： 2026年3月28日	戯曲づくり編： 青少年センター 人形芝居編： 茅ヶ崎市文化会館小ホール	人形芝居編の参加者アンケートの集計結果は、「とても良かった」と「良かった」を合わせた回答率が100.0%であった。		重点施策 1
003伝統的な芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保								
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟9団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	—	552人	2025年11月24日	県立青少年センター	—		重点施策 1
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け。伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：699人	2026年2月15日	南足柄市文化会館大ホール	—		重点施策 1
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	国立劇場開場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施している学校を中心に学生団体の受入れに力を入れた。	2,320人	2025年6月25日、26日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.4%にのぼった。		重点施策 1
人形浄瑠璃文案	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文案を上演した。	文案人形による観客出迎え記念写真コーナーを設置した。	1,448人	2025年11月9日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると86.1%にのぼった。		重点施策 1
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	446人	2025年12月7日(日)	はまぎんホールヴィアマーレ	—		重点施策 1
かながわ伝統文化こども歳時記	青少年センターの施設全体を使い、子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多様なプログラムを通して紹介した。	・月明かりに照らされた森の広場の盆踊りをイメージしたホールの客席空間やホワイエに設置した芝居小屋「もみじ座」、会場装飾など、ワクワクしたお祭り空間となるような設えを心掛けた。 ・Web広報やSNSを活用した広報を心掛けた。	1,162人	メインプログラム： 2025年10月29日 伝統芸能ワークショップ： 1月10～12日（講談・箏曲）、12月20日・26日（手妻）	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると95.8%にのぼった。また、伝統芸能ワークショップ及び「こどもスタッフ」参加者に絞ったアンケートでは100%に達した。		重点施策 1
KAAT×国立劇場（つたえつなぐ）「観てよみ解く～実演&レクチャー」 ①文案 三味線編 ②日本舞踊編	国立劇場と連携し、文案の三味線、日本舞踊の2つの芸について実演とレクチャーを行った。	国立劇場と連携することでKAAT単独では企画・実施が難しい古典芸能分野に取り組めた。	①52人 ②69人	①2025年11月2日(日) ②2026年3月21日(土)	KAAT神奈川芸術劇場（中スタジオ）	—		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
004伝統的な芸能にかかわる文化芸術団体への支援								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：47件 助成団体数：27件 助成金交付額：7,968千円	交付申請書の提出期限：2025年2月17日～2025年3月17日（電子申請） 審査会：2025年4月10日 交付決定通知書の送付：2025年4月24日～6月5日	—	—		重点施策1
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：166件 助成団体数：68件 採択額：73,327千円 参加者数：79,658人 オンライン視聴者数：2,972人	1次募集：2025年2月17日～3月17日募集、4月25日～8月21日交付決定 2次募集：2025年6月10日～7月10日募集、8月28日～9月11日交付決定	—	—		重点施策1
005後世に残す伝統的な文化の記録の保存								
伝統的な文化芸術保存ライブラリー	県で実施した伝統的な芸能について、映像及び報告書等の整理をし、後世に残していく取組を実施した。	2019年度から実施した取組であるが、2016年度分から収集した。	—	—	文化課内で紙媒体又はデータで保存	—		重点施策1
民俗芸能調査事業費	地域の貴重な民俗芸能が失われないよう、「牛込の獅子舞」をはじめ、県内に伝承される「一人立ち三匹獅子舞」について、歴史や芸能の特徴等の記録保存調査を行った。令和7年度から調査を開始し、令和9年度に報告書を刊行する予定である。	県内の「一人立ち三匹獅子舞」について、伝承組織や祭礼日等、基礎的な情報の収集・整理を行った。また、現在は使われていない獅子頭についても計測・撮影を実施した。	調査員6人	現地調査・文献調査2025年5月5日ほか48回	横浜市青葉区あざみ野、川崎市多摩区菅北浦ほか	—		重点施策1
イ文化財や伝統工芸品等の伝統的な地域資源の保護								
006文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施								
指定文化財保存修理等補助金	指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。	—	・有形文化財保存修理等（24件） ・記念物等保存修理等（34件） ・民俗文化財保存修理等（12件） ・埋蔵文化財発掘調査等（20件） 合計90件	—	—	—		
007県立の博物館等での文化財、伝統的な芸能等に関する資料の収集、保管、展示								
指定文化財保存修理等補助金	指定文化財等の保存修理等に対して、補助金を交付し、文化財の保存活用を図った。	—	・有形文化財保存修理等（24件） ・記念物等保存修理等（34件） ・民俗文化財保存修理等（12件） ・埋蔵文化財発掘調査等（20件） 合計90件	—	—	—	再掲	
県立金沢文庫における文化財の管理	2万点を超える国宝・重要文化財をはじめとする文化財を適切に管理した。	日々の温湿度管理や収蔵庫内の整理等を行った。	—	—	県立金沢文庫	—		
県立歴史博物館における資料の収集、修繕	神奈川県内の文化と歴史に主眼を置いた資料を収集した。また、収蔵資料の定期的な修繕を行った。	資料の収集について、購入は市場の動向を注視するとともに、寄贈ではコレクションを補充する関連資料の積極的な収集を行った。また、部門毎にまとめた修繕希望資料のリストを集約し、優先順位をつけた上で、順次修繕を行った。	—	—	県立歴史博物館	「五姓田義松・渡辺幽香版画下絵群」「仮名手本忠臣蔵カップ&ソーサー」「仮名手本忠臣蔵ミルクポット」の3件を購入した。寄贈について、歴史資料は横浜正金銀行の行員に関わる複数の資料群、美術資料は「芝山宗明関係資料」、民俗資料は「鈴木タマ関連資料群」などを受け入れた。また、「五姓田義松作品」「赤羽刀」の資料修繕を実施した。		
県立近代美術館における資料の収集、修繕等	展覧会への出品作及び県展近代美術鑑賞受賞作などを購入し、その寄贈・寄託を継続して受けている。また展覧会出品に合わせて作品の修復も行っている。	常勤学芸員による収集・選定会議を経て受け入れを決定しており、当館にふさわしい作品を厳選するようにしている。	—	—	—	—		
県立図書館における資料の収集	地域の伝統的な文化芸術に関する資料として、かながわ資料を中心に資料の収集を行う。	—	—	通年	県立図書館	特になし		
県立生命の星・地球博物館における資料の収集、修繕等	自然遺産を集積し、将来へ継承するデータバンク機能を果たすとともに、資料に基づいた調査研究、展示、普及活動に活用するために、資料の計画的な収集を進める。	コレクションポリシー、資料収集方針に則り、自然科学（生物科学・地球環境科学）資料の継続的な収集を実施した。	—	—	—	—		
008県ホームページ等による文化財に関する情報の提供								
指定文化財の所有・保持者に対する情報提供	指定文化財の所有・保持者に対する周知を行うとともに、県内文化財の目録を更新し、ホームページへ掲載した。	—	ページビュー数：20,029件	—	—	—		
無形民俗文化財及び民俗行事等の情報提供	神奈川県の無形民俗文化財及び民俗行事等の開催日時の情報をホームページへ掲載した。	—	ページビュー数：1,631件	—	—	「民俗芸能記録保存調査（一人立ち三匹獅子舞）」の調査を実施した。		
009工芸を主とする木製品業者向けにものづくり支援や技術情報の提供、連携・交流								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
木製品ものづくり支援事業①	ものづくりに必要な設備機器等を木製品製造事業者に貸し出した。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	機器利用件数：833件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1	
木製品ものづくり支援事業②	木製品製造事業者からの依頼を受け、新商品の試作等のための加工・製作を行った。	工芸に関する加工、塗装、加飾技術を有する職員が相談に乗り、助言を行った。	依頼加工・試作等件数：11件	通年	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1	
工芸ヤングフォーラム	小田原・箱根地域の木製品製造業に携わる若手工芸技術者を対象に、交流の場を提供した。	木工技術、産地の歴史等、幅広い知見があり、事業者支援の経験を有する専門家を指導講師として招いた。	延べ参加者数：102人	年8回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1	
工芸品産業担い手育成事業	地域に根付いた工芸品産業の技術・技能を次代に継承するため、若手技術者などに専門家を招き、市場に受け入れられる商品づくりを支援した。	事業者が抱える課題等に的確に対応するため、事業者等からの要望を反映して講座を開催した。	参加人数：29人	年6回開催	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		重点施策 1	
(2) 県民の文化芸術活動の充実									
ア文化芸術に対する関心、理解を深めるための情報提供・普及啓発									
010県立文化施設等での文化芸術に関する講座、講演会等の開催									
街なかトークカフェ ①高雅にして破滅的なフランス音楽 ②今さら聞けない？「古楽」基本の“き”	一流のアーティストや音楽学者を講師に迎えたレクチャーと、参加者同士も含めた交流を図るコミュニケーションタイムで構成し、音楽への理解とホールへの愛着を深める企画。	休憩中や終演時に参加者と講師も気軽な交流を図ることができるようコミュニケーションタイムを設定した。	①34 ②113	①2025年 7 月 31 日（木） ②2026年 2 月 4 日（水）	音楽堂	お土産付き（7月ドリンク、2月焼き菓子）の公演とすることで、お客さまと講師のコミュニケーションを促進した。			
藤沢市民オペラ 連携事業 歌って、弾いて、お話しして～ご存じ青島広志先生のモーツァルト・レクチャー～	オペラ《羊飼いの王様》にちなみ、モーツァルトに関する知識や《羊飼いの王様》の特性等を名案内人の青島広志が、本公演出演のソプラノ中山美紀と、モーツァルトに定評のあるテノールの布施雅也とともにわかりやすいトークを交えたコンサートをする。	モーツァルトやオペラ《羊飼いの王様》への関心を深めることで、より本公演を楽しめる動線とし、券売へと繋げた。	275	2025年 9 月 13 日（土）	寒川町民センター	—			
青島先生、少女マンガ界の貴婦人と語る	作曲家・青島広志によるレクチャーコンサートに漫画家・木原敏江を迎え、「少女マンガ」と「クラシック音楽」という異分野の融合を試みた企画として実施。	トークと演奏を組み合わせることで作品世界を多角的に提示し、来場者に新たな鑑賞体験を提供することができた。	224	2026年 3 月 14 日（土）	小田原三の丸ホール 小ホール	—			
KANAGAWA ロックサーキット 「語り継ぐロックの伝説」	ロックにおける多くのミュージックシーンを発信してきた神奈川から、これらを体系的に学び、味わいつつ演奏を楽しむ公演を実施。ロック黎明期から現在に至る代表的なミュージシャンや楽曲について、初心者から長年のファンまでが楽しめるエピソードを交えて展開。 ①All You Need is LOVE RIVER《愛川こそすべて》 ～THE BEATLES フリークがやって来るヤァヤァヤァ！ ②ADDONE LET’ S FUNKY X’ MAS GIG ③ハーモニー座間連携事業 タブレット純 フォークを語る～伝説のレーベル「エレクトレコード」トーク&上映会～ ④QUEEN MEMORIES <トーク&ライブ>St.Valentine’ s Day ロッキュー・スペシャル ⑤タブレット純 フォークを語る～伝説のレーベル「エレクトレコード」トーク&丸山圭子「彩色兼美」ライブ～	開催地域のニーズに合わせて内容が全く異なるトークやライブを企画・実施した。	①152 ②71 ③257 ④270 ⑤291	①2025年 9 月 6 日（土） ②2025年12月23日（火） ③2026年 1 月 23 日（金） ④2026年 2 月 14 日（土） ⑤2026年 2 月 23 日（月・祝）	①愛川町文化会館ホール ②大和市文化創造拠点シリウス 1 階 芸術文化ホール サブホール ③イオンシネマ座間 10スクリーン ④大井町生涯学習センター ⑤山北町立生涯学習センター ホール	公演に応じて写真展の実施やグッズ販売、キッチンカー出店等、会場全体が盛り上がる工夫を凝らした。①では会場地域で実施される「若者たちの音楽祭」出演バンドの起用、④では大井町笑顔特派員スベリィ・マーキュリー主催の「スベフェス」と同時開催を図る等、地域資源の活用に寄与した。			
藤沢市民オペラ 連携事業 砂川涼子&園田隆一郎デュオ・コンサート～モーツァルトを旅する午後～	オペラ《羊飼いの王様》に先立ち、本公演に出演する藤沢市民オペラ芸術監督の指揮者・園田隆一郎と日本が誇るプリマドンナ・砂川涼子が、本公演の聴きどころやエピソードを交えながら贈るコンサート。	共催の公益財団法人横須賀芸術文化財団と密接に協働し、会場地域を中心とした強固な広報を展開した。	211	2025年10月15日（水）	ヨコスカ・ベイサイド・ポケット	—			

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
カナガワ ポトガラヒー 関連企画 出張浅田撮影局 箱根編・中井編 写真家 浅田政志 トーク & 作戦会議	来年度に撮影と展覧会を開催予定である自治体へ浅田政志氏の紹介と事業の内容を理解していただくことを目的に開催したワークショップ。	被写体になり得そうなロケーションや人物の情報について参加者に提案していただく作戦会議を実施。	①10 ②10	①2025年12月 4 日（木） ②2025年12月 6 日（土）	①箱根町立郷土資料館学習室 ②なかい里都のまち CAFE	—		
カナガワ ポトガラヒー 出張浅田撮影局 開成編・真鶴編	「家族」と「記念写真」をテーマに市井の方と向き合い続ける写真家・浅田政志氏による、神奈川県内で撮り下ろした作品による個展を開催。昔の写真師のように旅しながら出張撮影を行い、古いモノクロ写真に色をのせたレトロな雰囲気のポトガラヒーを展示した。	ただ地域の写真を撮りディスプレイするのではなく、自治体や地域に住む人との交流からディープな撮影地を選定し、被写体とのコミュニケーションを通じて、世界に2つとない写真を撮影し展示した。	①1,470 ②593	①2025年12月 8 日（金）～25 日（木）（5 日（金）オープニング） ②2025年12月 6 日（土）～21 日（日）（6 日（土）オープニング）	①開成町役場 1 階 町民プラザ ②たけや（旧大道クリニック）	①について、開成町が町政施行70周年の記念年にあたり、町が共催となって記念事業の一環として実施した。		
<KAAT神奈川芸術劇場 開館15周年記念イベント> トークセッション「ひらかれた劇場をめざして」	開館15年を迎える記念日に、劇場にゆかりのあるゲストをお迎えしたトークイベントを開催した。	全編を通して手話通訳付きで開催し、耳の聴こえづらいお客様にも配慮したイベントとなった。また、KAATオリジナルグッズも作成・販売した。	120人	2026年 1 月11 日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（アトリウム）	—		
県立近代文学館における講演会	第一線で活躍する作家や研究者を招いて講演会を実施することができた。	新たに文学入門、案内の機会を提供する連続講座「文学の教室」を開始した。また、戦後80年を記念した対談を行った。	企画展等に合わせて7回実施 計1,162人 そのほか「文学の教室」等17回実施 計1,074人	企画展等に合わせて7回実施 そのほか「文学の教室」等13回実施	神奈川近代文学館	・作家の家族が登壇する催しも企画、貴重な証言を得る機会として来場者からも好評だった。 ・コロナ禍で中断していたチケットの前売りを再開、無断キャンセル対策にもつながった。若い世代に人気のある作家の講演会も行った。		
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	536人	2025年 8 月 6 日、7 日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	アンケートの集計結果は、講習会の評価について、「とても良かった：89.1%」「良かった：10.0%」と合わせて99.1%であった。		
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、高校生のニーズに合う講師を迎え、講習内容を充実させた。	中学生：732人 高校生：402人	中学校：2025年 8 月 2 日、3 日 高等学校：2025年 7 月26 日、27 日	青少年センター	—		
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による舞台芸術の創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先進的なワークショッププログラムを実施した。	これまでのプログラムが演劇とダンスに限られていたが、伝統芸能に取り組む部活動を対象としたプログラムを初めて実施した。	戯曲づくり編：7人 人形芝居編：13人	戯曲づくり編（全5回） 2026年 1 月 6 日、12 日、18 日、25 日、2 月 1 日 人形芝居編： 2026年 3 月28 日	戯曲づくり編： 青少年センター 人形芝居編： 茅ヶ崎市民文化会館小ホール	人形芝居編の参加者アンケートの集計結果は、「とても良かった」と「良かった」を合わせた回答率が100.0%であった。		
県立金沢文庫における公開講座、講演会等の開催	特別講演会、月例講座、解説講座、社会教育施設公開講座等を開催した。	展覧会の開催に合わせたものや、地域史に関わるものを中心に実施し、横浜市中心区とも連携した。	特別講演会： 5 回、321人 月例講座： 10回、876人 解説講座： 6 回、512人 社会教育施設公開講座（連続講座）： 5 回、232人 金沢区連携講座： 3 回、252人 子ども夏休金沢歴史教室： 1 回、5 人	特別講演会： 2025年 5 月11 日他 月例講座： 2025年 4 月13 日他 解説講座： 2025年 4 月26 日他 社会教育施設公開講座（連続講座）： 2025年11月23 日他 金沢区連携講座： 2025年 4 月20 日他 子ども夏休金沢歴史教室：2025年 8 月24 日	県立金沢文庫	—		
県立社会教育施設における公開講座の開催	県民の多様化・高度化する学習ニーズに応えるとともに今日の学習課題に対応するために、県立社会教育施設が有する人的・物的資源を活用し、開設機能の機能や特色を生かした学習機会を提供する。	実施機関の機能と特色を生かしたものと、内容に応じて講義・事例研究・実習・見学など効果的な学習方法を工夫した講座内容となっている。	金沢文庫：232名 歴史博物館：209名	金沢文庫：11/23～1/17 歴史博物館：2/1～2/15	金沢文庫、神奈川近代文学館	—		
県立図書館における講座、講演会等の開催	県民の生涯学習に資するとともに、図書館への理解と利用の促進を図るため講座等を開催した。	単発の講座のほか、本を介して人と人が交流し、更なる学びにつなげていくことを支援するための連続講座を実施	1,392人	通年	県立図書館	—		
県立近代美術館における講座、講演会等の開催	県立社会教育施設活用講座を開催した。	鎌倉別館の開館40周年を記念して所縁のある方、地域に詳しい方を講師を迎えた。	5回、120人	2024年11月4日、11月23 日、12月7日、12月21 日、2025年1月18 日	鎌倉商工会議所ホール	—		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における講座、講演会等の開催	県民の生涯学習支援のための講座・講演会・見学会・子ども向け体験教室・青少年向け講座等各種催し物を開催した。	バラエティ豊かな講座や講師陣により、様々な層のニーズに応えられるよう工夫した。	一般向け講座他：32件、2,111人 青少年向け講座他：4件、90人 子ども向け体験教室：1件、11人 学校への出張講座：48件、3,914人	通年	休館中につき、館外の各会場で実施	—		
県立生命の星・地球博物館における講座、講演会等の開催	主に当館学芸員が担当し、野外観察会や、屋内での実習や講座を実施する。また、月に複数回、主に子どもを対象としたよろずスタジオを実施する。	電子申請による講座の申し込みにより、講座中止連絡がスムーズに行えるようにした。	野外観察会および講座は53回実施し964人の参加者、よろずスタジオは21回実施し2,483人の参加者。	通年	生命の星・地球博物館および屋外	—		
011広報誌、ホームページ等による情報提供・普及啓発の実施								
広報誌 KAAT PAPER発行	長塚芸術監督が掲げる“劇場をひらく”取組の1つとして、毎号、劇場そのものや演劇の魅力を伝える特集企画を立て、芸術監督との対談や、取材記事、主催公演のレビューなどを掲載した。	KAATを知らない方や、演劇を鑑賞したことが無い方にも、興味を持って手に取ってもらえるよう、演劇に寄らない切り口での特集を企画した。また、版型もタブロイド判とし、駅や県有施設などKAAT以外でも配布を行った。	各号5万部発行	年3回発行 ①2025春号 6月4日(水) ②2025秋号 9月8日(月) ③2026冬号 1月17日(土)	KAAT神奈川芸術劇場ほか、	劇場ホームページにPDF版、電子ブック版を掲載するとともに、対談記事はホームページにロングバージョンを掲載した。		重点施策5
神奈川芸術プレス発行	冊子を発行・配布することで、公演情報の周知、県内の文化情報等を掲載した。	●半期の公演レビューや読み応えのある特集を盛り込み、芸術文化以外の幅広い話題や取組を取り上げた。 ●神奈川芸術文化財団の運営する「チケットかながわ」の無料登録会員「かながわメンバーズ」対象に月2回配信しているメールマガジンに最新号のリンクを載せ、読者増を図った。	年間35,000部	年2回発行（2025年9月24日、2026年3月11日）	—	全ページのWEB版を作成公開し、読者サービスと発信力向上に努めた。		重点施策5
県立近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、文学者の記念日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供した。	ホームページアクセス数(公式noteを含む)：337,609件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	・2025年10月にホームページを刷新。展覧会やイベント情報だけでなく、教育支援情報やデジタルアーカイブ等へよりアクセスしやすくなった。 ・写真撮影コーナーの設置や作家のアクリルスタンド販売によって来場者によるSNS投稿を促し、館SNSのフォロワー以外にも広く広報活動を行うことができた。		重点施策5
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X（旧Twitter）等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2025年度PV（ページビュー）数584,584	通年	インターネット上	—		重点施策5
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—		重点施策5
県立金沢文庫における普及啓発の実施	金沢文庫で開催する展覧会や関連する講座等のイベントについて、金沢文庫HPや地域の情報誌、美術館・博物館関係の雑誌、新聞等で展覧会の紹介を行った。	展覧会の紹介記事では展覧会の目玉となる作品を紹介し、展覧会の魅力やみどころを伝え、金沢文庫の知名度を高めるように努めた。	—	—	—	読売新聞（2025年4月11日掲載）他		重点施策5
県立金沢文庫における情報提供の実施	金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、金沢文庫HPやX（旧Twitter）で広報をおこなった。	展覧会の目玉となる作品や金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の作品紹介を定期的にX（旧Twitter）で紹介し、展覧会や金沢文庫の保管する資料の魅力を伝えるよう発信した。	X（旧Twitter）発信件数：467件	—	—	—		重点施策5
県立近代美術館における普及啓発の実施	広報誌『たいせつな風景』を発行し、美術館活動の周知に努めた。また、近代美術館ウェブサイトを通して、開催する展覧会の情報を広く県民に発信した。	ウェブサイトについては、展覧会開催前に代表的な出品作品の画像を含む情報を提供した。	—	—	—	ウェブサイト展覧会詳細ページ：展覧会開幕に合わせて、年9件作成		重点施策5
県立近代美術館における情報提供の実施	参考資料を美術館ウェブサイトに掲載し、報道関係者にリンクをメールで配信した。また、X（旧Twitter）上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	参考資料の公開件数：10件 X（旧Twitter）発信数：360回	—	—	—		重点施策5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立歴史博物館における情報提供の実施	HPやSNS（X、Instagram）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	休館期間中に始めた館長ブログを更新し、SNSと併せてタイムリーな情報発信をしている。 また、新聞各社に講座等イベント情報のチラシを送付し、新聞掲載につなげた。	583件 【内訳】 HP：56件 SNS：368件 記者発表（参考資料送付）：3件 イベント：11件 催し物のご案内：2件 博物館だより：3件 WEB無料媒体：27件 新聞等アウトカム分：113件	—	—	—		重点施策5
県立歴史博物館における普及啓発の実施	県民の生涯学習支援のための講座・講演会・見学会・子ども向け体験教室・青少年向け講座等各種催し物を開催した。	バラエティ豊かな講座や講師陣により、様々な層のニーズに応えられるよう工夫した。	一般向け講座他：32件、2,111人 青少年向け講座他：4件、90人 子ども向け体験教室：1件、11人 学校への出張講座：48件、3,914人	—	休館中につき、館外の各会場で実施	—		重点施策5
県立図書館における情報提供の実施	県立図書館で開催する講座、展示等について「催し物のご案内」やちらしを作成し広報した。また、ホームページやX、Instagram等のSNSを通じて、県立図書館の建物や所蔵資料等の魅力をきめ細かく発信した。	県立図書館への関心を高めるため、届けたい情報と対象により媒体を選択しながら効果的な広報を行った。	—	—	—	—		重点施策5
県立生命の星・地球博物館における普及啓発の実施	主に学芸員が執筆する広報誌「自然科学のとびら」を年に4回刊行する。またホームページにて、来館者にとって必要な情報を提供するとともに、新着情報なども提供する。	これまでのホームページはパソコンに対応したページ作りを行ってきたが、スマートフォンで見ても違和感のないページ作りを行っている。	令和7年のホームページの更新は663回、閲覧数（トップページ）は590,338件	自然科学のとびらは、6、9、12、3月の年4回。ホームページの更新は随時	—	—		重点施策5
イ鑑賞機会の充実								
012県立文化施設による公演事業の実施								
神奈川芸術劇場等での公演事業の実施	芸術監督長塚圭史氏のもと、昨年度に引き続き、劇場の活動をリズムを持っておこなうべく、プレシーズンと「虹～RAINBOW～」をテーマに掲げたメインシーズンとを構成し、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。	国内外の優れたアーティストと協力し、施設の特性を生かした主催・提携・共催公演を実施し、舞台芸術の創造・発信を行った。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	KAAT神奈川芸術劇場ほか	つくる劇場としてのKAATの制作力、ネットワークを活用して、評価の高い新制作舞台作品、海外の劇場や演劇祭との連携を着実に行之い、神奈川から他県との連携、海外への発信を行なった。 また県民に親しみをもたせ、無料で気軽に劇場を訪れられるアトリウム企画等やマルシェ等の「KAATフレンドシッププログラム」や次世代の観客を育てる「KAATキッズプログラム」などに取り組んだ。		
KAAT×TJP（ストラスブール・グランテスト国立演劇センター）「ダンスマラソンエクスプレス（横浜⇄花巻）」	TJP（ストラスブール・グランテスト国立演劇センター）との国際共同制作によるダンス作品を上演した。	海外の劇場との共同制作に取り組み、新たな形の国際交流事業に挑戦した。また、コンテンポラリーダンスに演劇的要素を取り入れた新たな表現ジャンルの創出を図った。	542人	2025年7月10日（木）～13日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	フランス国内三カ所での海外公演を行った。		
KAATキッズ・プログラム2025「わたしたちをつなぐたび」	KAATによる新作公演。静岡県舞台芸術センターと共同して子ども向けの新作プログラムを上演した。	子供から大人まで幅広い世代に楽しんでいた作品作りを努めた。	1086人	2025年7月21日（月・祝）～27日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	静岡県での巡回公演を行った。		
KAATキッズ・プログラム2025「鏡の中の鏡」	静岡県舞台芸術センターによる新作公演。KAATと共同して子ども向けの新作プログラムを上演した。	「自分を探す」という哲学的で難解な作品を子どもにも観やすいように、工夫して上演した。	344人	2025年7月26日（土）～27日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	共同事業として、静岡県舞台芸術センターで制作した作品をKAATで上演した。		
ミュージカル「LAZARUS」	デヴィッド・ボウイの遺作ともなったミュージカル「LAZARUS-ラザルス-」を日本で初めて上演した。音楽パートはデヴィッド・ボウイの遺志を尊重し英語で歌唱した。	開幕後もWEBやTVでの広告を展開したり、アフタートークショーを組むなど、集客に努めた。	9927人	2025年5月31日（土）～6月14日（土）	KAAT神奈川芸術劇場（ホール）	大阪府での巡回公演を行った。		
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」	ケラリノー・サンドロヴィッチが約6年ぶりにKAATで新作を上演し、「ドン・キホーテ」を原作に新たな冒険譚を書き下ろした演劇公演を実施した。	各セクションが高いパフォーマンスを実現することで、芸術的価値を獲得しながら、大衆性も兼ね備えた作品を創りあげた。	10309人	2025年9月14日（日）～10月4日（土）	KAAT神奈川芸術劇場（ホール）	富山県、福岡県、大阪府での巡回公演を行った。		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAAT×城山羊の会 「勝手に睡が出てくる甘さ」	城山羊の会とKAATが再びタッグを組み、山内ケンジによる新作戯曲を上演した。	—	4192人	2026年11月14日(金)～30日(日)	KAAT神奈川芸術劇場(中スタジオ)	—		
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース未練の幽霊と怪物―「珊瑚」 「円山町」―	演劇作家の岡田利規が能のフォーマットを応用し、ついえた「夢」を幻視する、レクイエムとしての音楽劇を上演した。	今回は現代劇としてユニークな方法を、より深化させて最先端の表現を追及した。	3395人	2026年2月13日(金)～3月1日(日)	KAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)	兵庫県、新潟県、京都府で巡回公演を行った。		
KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第三弾 「冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～」 「帰ってきた冒険者たち ～闇に落ちたカナガワを救え!～」	くひらかれた劇場>を目指し、より多くの県民に向けて、KAATで創作した作品を神奈川県内各地で巡演する「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」第三弾を上演。	再演作品とその続編の2作品を同時に上演するという、レパートリーを持てる劇場ならではの企画を実施した。	2700人	2026年2月11日(水・祝)～23日(月・祝)	KAAT神奈川芸術劇場(中スタジオ)	神奈川県内五カ所で巡回公演を行った。		
KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第三弾 「冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～」 「帰ってきた冒険者たち ～闇に落ちたカナガワを救え!～」	KAATが創作した新たな舞台芸術作品の新作公演を神奈川県内の五カ所で行った。	—	①355人 ②326人 ③400人 ④546人 ⑤498人	2026年 ①2月28日(土)～3月1日(日) ②3月3日(火)～4日(水) ③3月7日(土)～8日(日) ④3月14日(土) ⑤3月20日(金・祝)～21日(土)	①横須賀芸術劇場 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット ②川崎市アートセンター アルテリオ 小劇場 ③鎌倉芸術館 小ホール ④海老名市文化会館 大ホール ⑤藤沢市湘南台文化センター 市民シアター	—		
KAATキッズ・プログラム2025 <やさしい鑑賞会> 「わたしたちをつなぐたび」	子ども向けの新作プログラムを年齢や障がいのあるなしにかかわらず、みんなで楽しむことを目指した「やさしい鑑賞会」として実施した。	音量や照明を抑え、発声や途中入退場も可能とするなど、安心して鑑賞できる環境を整えたほか、フリーエリアを設け、多様な来場者に配慮した公演運営を行った。	64人	2026年3月29日(日)	KAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)	—		
音楽堂での公演事業の実施	沼野雄司芸術参与の助言のもと、音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、紅葉坂プロジェクトやヘリテージ・コンサートのほか、各種プログラムを実施した。	音楽堂初登場の演奏家や創造性の高い作品に重点を置き、人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家や音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	音楽堂ほか	本年度は室内オペラ・プロジェクトの準備年とし、各実演団体との情報交換等を重点的に行った。また新企画の公募事業である「紅葉坂プロジェクト」、社会連携ポータル課との連携による、インターンシップや「先生のためのアウトリーチ」等の教育普及、人材育成に取り組んだ。また紅葉ヶ丘地域の公立文化施設五館の協働アクションである「紅葉ヶ丘まいらん」ほか他の公立文化施設との連携、協働に留意した。		
第58回クリスマス音楽会 ヘンデル「メサイア」全曲	継続して音楽堂で開催している歴史的なクリスマス音楽会。神奈川県内高校生による合唱、県内高校生による『メサイア未来プロジェクト』を実施した。	バロック音楽の第一人者である大塚直哉の指揮する、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団と、精鋭ソリスト、神奈川県合唱連盟、メサイア未来プロジェクトが質の高い「メサイア」を上演した。	870	2025年12月7日(日)	音楽堂ホール	県内の高校生による「メサイア未来プロジェクト」も復活し、合計3校が合唱に参加した。		
音楽堂ヘリテージ・コンサート ①ジャン＝エフ・フランコ・パヴェゼ ピアノ・リサイタル ②ナタリー・デセイ&フィリップ・カサル デュオ・リサイタル	音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、開館以来音楽堂が実施してきた人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による室内楽公演シリーズを実施した。	音楽堂初登場の演奏家や新作作品等に重点を置き、音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	①559 ②583	①2025年10月11日(土) ②2025年11月2日(日)	音楽堂ホール	フランスを代表するピアニスト、声楽家を招聘し、セット券による販売促進を行った。関連企画として「街なかトークカフェ」を実施した。		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
大人のための音楽堂 tic! tac! toe!	音楽堂の建築空間を余すところなく楽しむ、20代以上の働き世代を含む文化的に成熟した大人が1日楽しめる音楽やパフォーマンス、キッチンカーなども含めた、令和3年度から毎年開催している滞在型ワンデイフェスティバルを開催した。	従来の音楽堂の固定客と違う新しい来場者数の開拓に力点をおき、洋楽、ジャズ、現代音楽、ガムランなど多彩な音楽によって音楽堂の新たな魅力を提示した。	1,446（延べ）	2025年11月16日（日）	音楽堂ホール他	ホール公演3企画は通し券と低価格で鑑賞できる単独券を販売、ホワイエは入場無料とし、入場者数の増加と回遊を図った。		
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟9団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	—	552人	2025年11月24日	県立青少年センター	—	再掲	
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け。伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：699人	2026年2月15日	南足柄市文化会館大ホール	—	再掲	
DVD鑑賞会 （かながわアートホール）	月に一度程度、ホールにて、かながわアートホールが所蔵する音源、映像を上演する事業を実施する。	毎回好評である副館長による映画解説を実施するとともに、副館長をモデルにしたゆるキャラを作成し、動員を図る。	4月：151人 5月：144人 6月：132人 7月：139人 8月：193人 9月：143人 10月：161人 11月：91人 12月：138人 1月：240人 2月：137人 3月：128人	4月25日 5月11日 6月15日 7月12日 8月24日 9月13日 10月14日 11月9日 12月11日 1月21日 2月23日 3月29日	かながわアートホール	—		
野外コンサート （かながわアートホール）	アートホール前広場に音楽を溢れさせたいという目的で正面玄関横のテラスをステージとして、コンサートを実施した。	季節の良い春と秋に数回程度実施した。	4月 入場者：135人 ライブ：17人 アーカイブ：401回 5月 入場者：460人 ライブ：20人 アーカイブ：549回 10月① 入場者：50人 ライブ：14人 アーカイブ：393回 10月② 入場者：50人 ライブ：10人 アーカイブ：203回 11月① 入場者：50人 ライブ：15人 アーカイブ：137回 11月② 入場者：100人 ライブ：8人 アーカイブ：103回	4月26日 5月25日 10月4日 10月18日 11月1日 11月15日	かながわアートホール	—		
赤ちゃんありがとうコンサート	子育て支援事業として、子育て中の親子を対象としたランチタイムコンサートの内容を一部変更して実施した。	乳幼児・未就学児の同伴を可能とし、気兼ねなく親子で楽しめるコンサートを実施した。	入場者数：226人	2026年2月14日	かながわアートホール	—		
神奈川フィル・カジュアルコンサート	クラシックやオーケストラに馴染みのない方々向けに、神奈川フィルによるカジュアルコンサートを実施した。	Youtubeによる生配信と、終演後のアーカイブ配信を実施した。	入場者：181人 視聴者数 ライブ：135人 アーカイブ：3,858回	2026年3月28日	かながわアートホール	—		
神奈川フィル・楽団員コンサートシリーズ	神奈川フィルの楽団員がオーケストラ活動とは別に自ら主催する演奏会を開催した。	Youtubeによる生配信と、終演後のアーカイブ配信を実施した。	入場者：60人 ライブ：12人 アーカイブ：500回	2025年9月6日	かながわアートホール	—		
ブライズコンサート	前年の全日本学生音楽コンクール入賞者が出演するコンサートを実施した。	若い音楽家の演奏を多くの方にご覧いただく取組として、入場料無料として実施した。	入場者数：96人	2026年11月3日	かながわアートホール	—		
神奈川県民ホールがやってくる！ファンタスティック・ガラコンサート 2025～愛の贈り物～	神奈川県民ホールの年末恒例公演として親しまれてきた、「ファンタスティック・ガラコンサート」を今年度は、県民ホール休館に伴い、小田原市と鎌倉市で開催した。	公演イベントの中で、県民ホールの過去の公演やコンサートの写真、公演アーティストのエピソードを照会するなど、休館中の代替イベントであることを参加者に強く認識してもらうための仕掛けを組み入れた。	①834人 ②819人	①2025年12月28日 ②2026年1月10日	①小田原三の丸ホール ②鎌倉芸術館	—		
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	国立劇場開場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施していた学校を中心に学生団体の受入れに力を入れた。	2,320人	2025年6月25日、26日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.4%にのぼった。	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
人形浄瑠璃文案	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承・発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文案を上演した。	文案人形による観客出迎え記念写真コーナーを設置した。	1,448人	2025年11月9日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると86.1%にのぼった。	再掲	
かながわ伝統文化こども歳時記	青少年センターの施設全体を使い、子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・月明かりに照らされた森の広場の盆踊りをイメージしたホールの客席空間やホワイエに設置した芝居小屋「もみじ座」、会場装飾など、ワクワクしたお祭り空間となるような設えを心掛けた。 ・Web広報やSNSを活用した広報を心掛けた。	1,162人	メインプログラム： 2025年10月29日 伝統芸能ワークショップ： 1月10～12日（講談・箏曲）、12月20日・26日（手裏）	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変良かった」と「よかった」を合わせると95.8%にのぼった。また、伝統芸能ワークショップ及び「こどもスタッフ」参加者に絞ったアンケートでは100%に達した。	再掲	
青少年センターでの公演事業の実施	青少年センターにおける演劇・ダンス発表会やマガカルシアター公演など、主催・共催・後援による公演等を実施した。	施設運営担当と連携し、利用日程の調整や当日運営を行った。	41,308人	通年 292公演	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室	—		
第311回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第311回青少年芸術劇場「果てしない部屋」を実施した。	直前に読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞した演出家・稲葉賀恵が、前年度の岸田戯曲賞受賞者・笠木泉による脚本を演出するという話題性のある企画とした。	511人	2026年2月20日～23日 全6公演	青少年センタースタジオHIKARI	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると97.4%にのぼった。 ・全6回の公演中、4回のチケットが完売した。		
013県立文化施設による文化芸術に関する展覧会の開催・普及活動の実施等								
県立近代美術館における展覧会の開催、普及活動事業の実施	葉山館では4つの企画展と3つのコレクション展を開催し、鎌倉別館では3つの企画展と2つのコレクション展を実施した。	展覧会については、情操教育に資するため、バランスの取れた企画を実施した。 また、教育普及活動については、来館者における鑑賞機会の充実を目的として、多様な形態の活動を実践した。	入館者数：87,094人 ギャラリートーク：21回、329人	展覧会：2025年4月12日～6月29日他 教育普及活動：2025年4月29日他	県立近代美術館葉山館、鎌倉別館	—		
県立近代美術館における展覧会記念講演会等事業の開催 葉山町、逗子市での共催による講座の実施	企画展等に関連したトークやパフォーマンス等のイベントを実施した。 また、学芸員による連続講座として「近代美術館入門講座」を開催した。	シンポジウム、パフォーマンス、レクチャーコンサートなど企画の多様性をもたせた。	展覧会関連イベント：38回、1985人 近代美術館入門講座：8回、202人	展覧会記念トーク・イベント：2025年4月13日他 近代美術館入門講座：2025年5月1日他	県立近代美術館葉山館、鎌倉別館 葉山町福祉文化会館、逗子市役所	—		
県立金沢文庫における展覧会の開催	特別展「金沢八景みほとけ巡礼」や特別展「金沢文庫本」等の展覧会を6回実施した。	金沢文庫が管理する文化財を中心に、それと関連する外部の文化財の借用を行い、他の研究機関や自治体と連携して魅力ある展覧会を行った。	入館者数：32,269人	特別展「金沢八景みほとけ巡礼」：2025年9月5日～11月9日 特別展「金沢文庫本」：2025年11月14日～2026年1月18日 他	県立金沢文庫	—		
県立歴史博物館における資料の展示	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)		
県立歴史博物館における特別展の実施	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)	(工事休館中のため実績なし)		
県立歴史博物館における各種講座等の開催	県民の生涯学習支援のための講座・講演会・見学会・子ども向け体験教室・青少年向け講座等各種催し物を開催した。	バラエティ豊かな講座や講師陣により、様々な層のニーズに応えられるよう工夫した。	一般向け講座他：32件、2,111人 青少年向け講座他：4件、90人 子ども向け体験教室：1件、11人 学校への出張講座：48件、3,914人	—	休館中につき、館外の各会場で実施	—		
川崎図書館における文化芸術に係る図書の貸出	川崎図書館の窓口で文学及び芸術に関する資料の貸出を行った。	—	—	通年	川崎図書館	令和7年度に川崎図書館から貸出された資料の冊数： 芸術： 876 冊 文学： 762 冊		
県立図書館における文化芸術に係る図書の貸出	県民の調査研究や課題解決を支援するため、文化芸術に関する資料についても充実を図り、提供を行う。	—	—	通年	県立図書館	令和7年度に県立図書館から貸出された資料の点数：181,461点（図書・視聴覚資料・16ミリフィルム）		
県立生命の星・地球博物館における各種講座等の開催	主に当館学芸員が担当し、野外観察会や、屋内での実習や講座を実施する。また、月に複数回、主に子どもを対象としたよろずスタジオを実施する。	電子申請による講座の申し込みにより、講座中止連絡がスムーズに行えるようにした。	野外観察会および講座は53回実施し964人の参加者、よろずスタジオは21回実施し2,483人の参加者。	通年	生命の星・地球博物館及び屋外	—		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立生命の星・地球博物館における資料の展示、特別展の実施	テーマに沿った常設展示と、常設展示を補完する特別展（年1回）、企画展（年1回）、ミニ企画展示を通じて、資料収集、調査研究の成果を、県民をはじめとする利用者に広く伝える。	令和7年度の特別展「初三郎式、かながわの描き方-地形表現の科学-」及び企画展「自然史アーカイブズをひらく」を開催。	特別展観覧者数25,601人、企画展観覧者数2,345人。	特別展「初三郎式、かながわの描き方-地形表現の科学-」令和7年7月19日～11月9日 企画展「自然史アーカイブズをひらく」令和8年2月21日～5月10日	生命の星・地球博物館特別展示室	ミニ企画展示「友の会の皆さまとともに-学芸員や私たちとじっくりと背全を楽しみませんか-」・「自然史の「記録」をひもとく」・「匠の技-恐竜の歯のレプリカ工房-」・「消える魚たち」・「STOP！クリハラリス 特定外来生物の分布拡大を止めるために」・「押し葉標本が紡ぐ物語-神奈川県立西湘高等学校寄贈標本展示-」・「台7回箱根ジオパークフォトコンテスト作品展」で館蔵資料を展示し、紹介した。		
県立近代文学館におけるスライドトーク	企画展等に合わせて展示説明会を開催した。	展覧会の内容を資料画像等を用いて解説し、観覧者に対してより深い理解を促した。SNSでも事前に周知し、集客につとめている。	439人	企画展等に合わせて計22回実施	神奈川近代文学館	観覧者が、展示担当者へ直接質問する場ともなり、観覧者の展示理解に役立った。		
県立近代文学館における朗読会、上映会等	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、朗読会や上映会等のイベントを実施した。	新たな客層を獲得するため、著名な俳優の出演や文学の枠を超えたイベントなどを実施した。	1,086人	企画展等に合わせて8回実施	神奈川近代文学館	企画充実のため、登壇者や展示担当者によるアフタートークつきの上映会、朗読会を行った。		
県立近代文学館における特別展・企画展	各作家の所蔵資料等を活用した特別展・企画展を実施した。 ①特別展「大岡信展 言葉を生きたる、言葉を生かす」 ②企画展「清岡卓行展——大連、パリ『円（まる）き広場』」 ③企画展「中島敦の手紙展——おとうちゃんからの贈り物」 ④特別展「没後70年 坂口安吾展 あちらこちら命がけ」 ⑤常設展「神奈川と作家たち 第1部 夏目漱石から萩原朔太郎まで」 ⑥常設展「神奈川と作家たち 第2部 芥川龍之介から中島敦まで」	所蔵資料等を活用し、文学作品や作家の魅力が伝わる展示を行った。	28,924人 ①4,639人 ②2,773人 ③5,286人 ④10,537人 ⑤1,266人 ⑥4,423人	①2025年4月1日～5月18日 ②5月24日～7月27日 ③8月2日～9月23日 ④10月4日～11月30日 ⑤12月6日～2026年1月25日 ⑥1月31日～3月22日	神奈川近代文学館	・コミック、ゲームとのコラボレーションを行ったことで、若い世代の集客・文学理解につながった。 ・有隣堂BASEGATE横浜関内店と連携し、企画展と連動したコラボレーションコーナーを展開。今後広く作家や文学館に関心を持ってもらうきっかけとなると思われる。		
かなぶんキッズクラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会を実施した。	文学の名作を原作にしたプログラムとなるよう心がけた。	371人	①手話つきおはなし会：8月8日 ②子ども映画会：8月14日、15日 ③紙芝居：8月22日 ④子ども映画会：2026年3月26日 ⑤紙芝居：3月27日	神奈川近代文学館	新たに手話つきおはなし会を実施。絵本を楽しみながら手話も学べる場を提供した。		
KAAT EXHIBITION 2025 大小島真木展「あなたの袍衣はどこに埋まっていますか？」	KAATの劇場空間と現代美術の融合による新しい表現を展開する企画展を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	2630人	2025年9月21日（日）～10月19日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（中スタジオ、アトリウム）	<関連企画> ①9月27日（土）パフォーマンス 松岡大「袍衣 Ena」 ②10月4日（土）アーティストトーク ③10月19日（日）フィナーレイベント 大小島真木×遠野巡灯 庵木 張山しし踊り「雌じし狂い」		
KAATアトリウムプロジェクト	メインシーズン「虹～RAINBOW～」への架け橋となるテーマを据えた空間デザインを劇場のアトリウムに施した。	公演にご来場の方々だけでなく、どなたでも気軽に劇場やアートに出会える機会を創出した。	—	2025年4月24日（木）～6月14日（土）	KAAT神奈川芸術劇場（アトリウム）	<関連企画> 6月1日（日）、7日（土）、8日（日）、14日（土）パフォーマンス		
<KAAT神奈川芸術劇場 開館15周年記念イベント>15周年記念バナー展示	KAAT開館15周年を記念してKAATロゴをオマージュした作品をアトリウムに展示した。	限られた予算の範囲内で、アトリウムの空間特性を生かしながら華やかさを演出した。	—	2026年1月10日（土）～3月31日（火）	KAAT神奈川芸術劇場（アトリウム）	—		
014文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供								
リーディングドラマ『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』	横浜出身の作家・廣嶋玲子氏原作の児童文学小説『銭天堂』を舞台化しリーディング公演を行った。	休館後、複数の館で実施することを視野に入れ、「移動に適した簡素な設え」、「県民の多様性、幅広い世代に受け入れられる内容」、「表現としての強度」、「様々な公共劇場と連携しての事業展開」を念頭に実施。	①479 ②456	①2025年4月19日（土） ②2025年4月20日（日）	青少年センター紅葉坂ホール	主催の2公演の他、県内3カ所、県外7カ所で14公演実施し、計16公演を行った。		
C×Organ パイプオルガンを訪ねる旅 ①夏休み、フェリスホルルのオルガンを知らう！ ②夏休み、茅ヶ崎恵泉教会のオルガンを知らう！ ③中田恵子オルガンコンサート～イタリアからの音便り～	神奈川県民ホール50年の歴史と伝統を誇るオルガン事業を継承し、県内のオルガンのある施設や教会で実施するコンサート。	オルガンの音が鳴る仕組みの解説や終演後のオルガン見学を交えることで、オルガンに親しみ普及へ繋げた。	①207 ②112 ③113（2回公演）	①2025年8月2日（土） ②2025年8月9日（土） ③2026年2月7日（土）	①フェリスホール ②茅ヶ崎恵泉協会 ③荻野聖ルカ教会	公演前に「みえない・みえにくい方」を対象とした会場の説明を実施。障害の有無に関わらずオルガンコンサートをより楽しんでいただける工夫を図った。		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート	神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート。クラシック音楽だけではなく、誰もが聴いたことのある名曲をプログラミングし、三世代の幅広い年齢層が、オーケストラのハーモニーを楽しんでいただく機会として実施。	会場地域の小学校・中学校でチラシを配布したこと、地元紙への記事掲載等、地域密着型の広報展開により、幅広い層の来場を促した。	①957 ②637	①2025年8月11日（月・祝） ②2025年8月24日（日）	①伊勢原市民文化会館 大ホール ②南足柄市文化会館 大ホール	—		
音楽絵本『奇妙なマザーグースの話』～「怖い」「奇妙」な歌で元気になる!!～	馴染みのある方も多いマザーグースの世界を、歌と朗読、ロック・ハープやヴァージナルの演奏、スクリーンに映し出される木版画とともに楽しむ企画。	地元密着型の広報に加え、事業の内容をわかりやすく紹介する読み物チラシを公演のチラシとは別に作成し広報することで来場促進を図った。	①112 ②92 ③276	①2025年9月27日（土） ②2025年9月28日（日） ③2025年12月21日（日）	①松田町生涯学習センター 大ホール ②清川村生涯学習センター せせらぎ館 みどりホール ③戸塚区民文化センター さくらプラザ・ホール	—		
さがみはらリニアフェスタ2025 参加公演 地下交響（ちかこうきょう）～Echoes of The Earth	リニア中央新幹線の開通による神奈川の発展とリニア中央新幹線の安全を祈念するコンサート。神奈川出身のオペラ歌手2名とトロンボクの有名曲をはじめ、未来を切り拓く現代作品も披露。地下の特設ステージから天空に向けて歌唱・演奏を行い、来場者は地上から耳で鑑賞いただいた。	会場の反響を踏まえた楽器の選定・選曲をし、聴きごたえのある演奏をお届けした。	1000（2回公演）	2025年10月25日（土）	リニア中央新幹線「神奈川県（仮称）」新設工事現場内 地下ステージ	—		
藤沢市民オペラ 連携事業 オペラシリーズ モーツァルト オペラ《羊飼いの王様》全2幕（演奏会形式／イタリア語上演・日本語字幕付）	神奈川県民ホールで上演され続けたオペラ制作のノウハウを継承し、県内展開オペラシリーズを立ち上げた。シリーズ第1回目として、藤沢市民オペラと連携し、数々の名オペラを作曲したモーツァルトが19歳の時に作曲したオペラ《羊飼いの王様》を初演時同様の演奏会形式により上演。	日本を代表するオペラ歌手、実力派若手歌手を起用。また、関連企画を実施することで本公演への動線とし、券売に繋げつつオペラやモーツァルトへの関心を深めていただいた。	①792 ②786	①2025年11月8日（土） ②2025年11月9日（日）	藤沢市民会館 大ホール	終演後、出演者によるアフタートークを実施し、来場者との交流の場を創出するとともに、オペラへの理解・関心を深めることに寄与した。		
グリーンホール相模大野開館35周年記念 The Sixteen（ハリー・クリストファーズ 指揮）	ルネサンス、バロック、近現代の合唱音楽を歌ってきた世界最高のアンサンブルの一つで、世界中で非常に高い評価を受けているThe Sixteenを21年ぶりに招聘。「教会音楽の父」パレストリーナ生誕500年を記念した歌声を聴かせた。	パレストリーナを中心に、バルトやマクミラン等、現代の作曲家の曲を交えることで、バランスの良いプログラムで構成された質の高い公演を実施。	788	2025年11月22日（土）	相模女子大学グリーンホール 大ホール	—		
C×JAZZ 重版健登×デューク・エリントン	過去の著名な作曲家と現代の作曲家を引き逢わせ、歴史的遺産を顧みつつ、未来へとつながる創造を模索するCX（シー・バイ）シリーズの一環として、新たにジャズをテーマとし、今最も注目されている横浜出身の若手ジャズ作曲家にしてアーティストである重版健登を迎え、デューク・エリントンの名曲とオリジナル作品を交差したプログラムで演奏。	重版健登を筆頭に俊英たるベース、ドラムスのトリオ編成とし、委嘱作品にも挑戦することで、本公演でしか味わえない熱いステージをお届けした。	①311 ②151 ③136 ④238	①2025年11月27日（木） ②2025年11月28日（金） ③2025年11月29日（土） ④2025年11月30日（日）	①茅ヶ崎市民文化会館 小ホール ②ラゾーナ川崎プラザソル ③三浦市民ホール ④葉山町福祉文化会館	②の公演では、川崎のまちにジャズを根付かせる「かわさきジャズ」の協力を得ることができ、広報の効果のみならず、ジャズ分野に深く分け入る大変意義深い契機となった。		
C × Baroque シー・バイ・バロック 大塚直哉が誘うバロックの世界 Vol.5 コンチェルトとソナタ～バロックの申し子たちの成長とその先	バロック音楽の第一人者である大塚直哉（チェンバロ）の出演・監修のもとバロック音楽の魅力を紹介する「C×Baroque（シー・バイ・バロック）」シリーズの最終回として、バロック期の様々な“コンチェルト”そして“ソナタ”を取り上げる。	シリーズ集大成として、音楽監督の大塚直哉によるトークで紐解かれる「ソナタ」と「コンチェルト」の歴史をお楽しみいただきつつ、古楽の分野で活躍する奏者によるレベルの高い演奏をお届けした。	387	2026年3月20日（金・祝）	横浜みなとみらいホール 小ホール	演奏で使われたチェンバロは、県民ホールで長年親しまれてきた名器で、休館を機に会場である横浜みなとみらいホールに移管された。		
県域展開事業の実施	神奈川県芸術文化振興を担ってきた県民ホール休館後、県民の芸術文化鑑賞機会の減少を補い、県内33市町村の様々なホールや施設にて、多様なジャンルの事業を実施。あらゆる県民が芸術文化に親しむ機会を創出した。	クラシック音楽に強みを持つ県民ホールだが、巡る各市町村の地域性やニーズを踏まえ、ロックやジャズ等の新しいジャンルにも挑み、より広く芸術文化に関心を引く試みを打ち出した。また、地域の人やスポットを撮影した写真展や、神奈川県美術展特別企画展等、地域に根付いた展覧会も実施した。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	2025年4月～2026年3月（下記各々の事業日程に記す）	神奈川県内33市町村各地の会館を中心としたベニユー	公演に紐づいた関連企画の実施やアフタートーク、楽器体験等、周辺事業にも注力し、本公演までの動線とすると共に、音楽や美術への関心を深化させ、県域に波及効果をもたらす活動を行った。		

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(共催) 2025 アート ダンスカナ ガワ No.13 「Romeo and Juliet」	例年県民ホールを使用していた カンパニーにKAAT神奈川芸術劇 場にて公演する機会をつくり、 上演会場の提供を行った。	—	1238人	2025年11月 1 日 (土)～2 日 (日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (ホール)	—		
(共催) 舞踊劇 「舞、朝鮮 通信使 馬図を描 く」	海外のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、上演会場の提供を行っ た。	—	494人	2025年 7 月19日 (土)～20 日 (日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (ホール)	—		
(共催) ネザーラン ド・ダン ス・シア ター (NDT 2) 来日公演 2025	海外のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、上演会場の提供を行っ た。	—	2096人	2025年11月21日 (金)～22 日 (土)	KAAT神奈川芸術劇 場 (ホール)	—		
(共催) かながわパ フォーミン グアーツア ワード2026 ファイナル	神奈川県が主催する新体制を伴 う舞台芸術作品のアワードの最 終審査を実施。	—	123人	2026年 3 月15日 (日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)	—		
第41回かな がわ音楽コ ンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手 演奏者を紹介し、オーケストラ との共演を通じて一層の育成を 図る目的で、2025年 8 月17日 に入賞者を対象としたクリスタル コンサート、11月 9 日に年長 の入賞者によるジュエルコンサ ートを実施した。	—	参加者数：507人 鑑賞者数：1,110人	①クリスタルコンサ ート：2025年 8 月17日 ②ジュエルコンサート： 2025年11月 9 日 コンサート全体は2025年 3 月16日 (日)～12月15 日 (月)	①：横浜市青葉区 民文化センター 「フィリアホー ル」 ②：ボッシュホー ル「横浜市都筑区 民文化センター」	—		
カナガワ リ・古典ブ ロジェクト in 横須賀	三浦半島の様々な暮らしにス ポットを当て、地域で受け継が れてきた伝統芸能の公演を「海 洋都市横須賀」を舞台に実施し た。また公演に先駆け小・中 学生を対象に、三浦半島の民俗 芸能の魅力を体感できるワーク ショップを開催した。	ホール公演会場への誘客とし て、横須賀中央駅前の商業施 設で伝統芸能のミニ公演を 行った。また、伝統芸能の歌 詞や説明を記した詞章を制作 して配布する等、初めて三浦 半島の伝統芸能に触れる方に も親しみやすく、また家に持 ち帰ってからも楽しんでいた けのような工夫を行った。	・ホール公演576名 ・屋外公演 (モア ーズンティミニステ ジ) 54名 ・民俗芸能ワーク ショップ20名 (参加 者10名、同伴者10 名) ・日本舞踊ワーク ショップ3名 (参加 者2名、同伴者1 名)	2025年11月23日 民俗芸能ワークショップ 2025年12月 6 日 ホール公演 他	横須賀市文化会 館、横須賀市産業 交流センター 他	—	再掲	
初めての音 楽会事業 「音楽た まて箱」	小学生に初めてのホールコン サート体験してもらい、感動 を記憶に刻んでもらう。	通常のホールコンサートと同 様の演出を行った。	入場者：116人	2025年6月24日	かながわアート ホール	—		
吹奏楽 ウィーク	アートホールを練習場とする吹 奏楽団を集め、公演を行った。	入退場自由とし、滞留性を高 めた。	入場者：1,390人 ライブ：90人 アークライブ：7,961回	11月22日、11月23日	かながわアート ホール	—		
ウ県民の文化芸術活動や発表機会の支援								
015県立文化施設等での練習・発表等の場の提供								
マッグカルシ アター等	主に若手の舞台芸術団体や個人 に青少年センター スタジオ 「HIKARI」及びかながわアート ホール を公演場所として会 場・設備・備品を無料で提供し た。	年齢や経歴、作風に関係なく、 参加団体同士が自劇団以外 の作品に触れ、刺激を受け 、自劇団の今後の公演に役 者としてオフアーしたり、演 劇に関する情報を共有したり と、交流や結束が深まり、演 劇に携わって間もない新人の 方々にとって、刺激的で学ぶ 機会にもなり、出会いと交流 が深まった。	8,463人	2025年 4 月～2026年 3 月	青少年センター ス タジオ 「HIKARI」、かな がわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としているこ と、出演団体の種別や県外の団体からの応募が 増えるなど、すそ野が広がっている。		重点施策 5
紅葉坂舞台 塾	青少年が舞台芸術に関する様々 な分野を複合的に学べる舞台塾 を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけで はなく、公演を作り上げるた めに必要なコミュニケーション 能力等の向上にも注力し た。	塾生：16人 成果発表公演観覧者 数：217人	2025年 6 月～8 月 ※レッスン 成果発表公演：2025年 8 月30日、31日	青少年センター スタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。		重点施策 5
かながわパ フォーミン グアーツア ワード2026	「演劇」に限らず、身体性を伴 う舞台芸術作品を幅広く対象と するため、昨年より「かながわ パフォーミングアーツアワー ド」へと名称をリニューアルし 、コンペティションを引き続 き開催した。	ファイナルのライブ配信及び アーカイブ配信を引き続き廃 止し、劇場での観劇を促し、 来場者数の増加を目指した。	【応募数】 団体 29団体 【ファイナル出場】 5団体 【来場者数】 123人	ファイナル：2026年 3 月 15日	KAAT神奈川芸術劇 場	—		重点施策 5
神奈川フィ ル・ジュ ニア管弦オー ケストラ 2025 (第 9 期生)	小学 4 年生～高校 3 年生の子 どもたちがアートホールに集い 、神奈川フィル団員の指導を経て 神奈川フィルと共演する。	受講生が楽器ごとに分かれて 行うパート練習やそれぞれの 合奏練習を行った。	受講者：45人 入場者：172人 ライブ：135人 アークライブ：1,227回	2025年 8 月31日	かながわアート ホール	—		重点施策 5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
かながわパ フォーマ開放 区	県内各地の商業施設等において、音楽やダンス等を自由に発表し、鑑賞できる機械を県民に提供することで地域の活性化を図った、	令和7年度は4回実施。	出演者数：299人 参加者数：46,286人	①5/24-25 ②7/20 ③10/13 ④12/13	①神奈川県庁本庁舎前 ②クイーンズスクエア/みなとみらい駅 ③海老名中央公園 ④藤沢駅北口サンパール広場	—		重点施策5
吹奏楽 ウィーク	アートホールを練習場とする吹奏楽団を集め、公演を行った。	入退場自由とし、滞留性を高めた。	入場者：1,390人 ライブ：90人 アライブ：7,961回	11月22日、11月23日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策5
神奈川県民 ホールが やってく る！ファン タスティッ ク・ガラコ ンサート 2025～愛の 贈り物～	神奈川県民ホールの年末恒例公演として親しまれてきた、「ファンタスティック・ガラコンサート」を今年度は、県民ホール休館に伴い、小田原市と鎌倉市で開催した。「神奈川県民ホールがやってくる！」では、神奈川県出身や在住といった県にゆかりのある音楽家が出演させることと仕様に定めており、県民に発表の場を提供していると整理する。	公演イベントの中で、県民ホールの過去の公演やコンサートの写真、公演アーティストのエピソードを照会するなど、休館中の代替イベントであることを参加者に強く認識してもらうための仕掛けを組み入れた。	①834人 ②819人	①2025年12月28日 ②2026年1月10日	①小田原三の丸ホール ②鎌倉芸術館	—	再掲	重点施策5
神奈川県民 ホールが やってく る！どこ でも音楽便	鎌倉市を含む相模湾沿岸地域で移動型ピアノを中心とした移動型の演奏イベントを実施した。「どこでも音楽便」では、神奈川県出身や在住といった県にゆかりのある音楽家が出演させることと仕様に定めており、地元のパンド等にも出演いただいた実績もあることから、県民の発表の場を提供していると整理する。	これまで文化芸術に関心の薄かった層や、県民ホールへの来場が難しかった地域の県民に鑑賞の機会を提供できるよう、移動型のイベントとした。	①534人 ②649人 ③2,457人	①2026年3月1日 ②2026年3月7日 ③2026年3月15日	①鎌倉宮 ②東大果樹園跡地 みらいはらっぱ ③大磯港内広場	どこでも音楽便は特に若手の音楽家を起用する傾向にあるので、ファンタスティック・ガラコンサートよりも県民へ発表の場の提供をしたり、新進芸術家の登用をしていると考えられる。		重点施策5
中学校創作 劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。	—	731人	2025年8月1日	青少年センター紅葉坂ホール	—		重点施策5
青少年ダン ス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校(団体)における日頃の取組の成果を発表する場を提供するという「発表会」の本来の趣旨に鑑み、講師による講評を行わないこととした。	2,077人	2025年11月1日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室			重点施策5
中・高等学校 演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	中学生：1,314人 高校生：1,437人	中学校：2025年12月6日、7日 高等学校：2025年11月22日、23日	青少年センター紅葉坂ホール	—		重点施策5
かながわ児 童劇グルー プ交流会(か ながわ人形 劇フェス ティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	420人	2025年7月5日、6日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール特設ステージ	会場がスタジオHIKARIが使用できず、特設会場となったが、混乱はなく、逆に広くて見やすいなどの声もあった。		重点施策5
(提携) TAK in KAAAT (神 奈川県演劇 連盟の公演) ①Theater Company夜明 け「Blue moment」ー 世界が夜と 朝の狭間で 色づく瞬間ー ②theater 045 syndicate 本公演「夏の 夜の夢」	神奈川県演劇連盟に所属する劇団のうち2団体が、KAAAT神奈川県芸術劇場にて公演する機会をつくり、稽古場と上演会場の提供を行った。	—	①571人 ②603人	2025年 ①5月29日(木)～6月1日(日) ②2025年8月21日(木)～24日(日)	KAAAT神奈川県芸術劇場 (大スタジオ)	—		重点施策5
(提携) Shake&Spear e!!Stage 宮川彬良× 木村龍之介 「ナツメ	気鋭のカンパニーにKAAAT神奈川県芸術劇場にて公演する機会をつくり、上演会場の提供を行った。	—	661人	2025年6月6日(金)～8日(日)	KAAAT神奈川県芸術劇場 (大スタジオ)	—		重点施策5
(提携) OrganWorks2 025-2026 「ショウメ イコウ/ Show me a code - Physical side-」	気鋭のカンパニーにKAAAT神奈川県芸術劇場にて公演する機会をつくり、上演会場の提供を行った。	—	616人	2025年6月19日(木)～22日(日)	KAAAT神奈川県芸術劇場 (大スタジオ)	—		重点施策5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(提携) リ・クリエ ーションツ アー ナビロフト 「りすん 2025 edition」	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、上演会場の提供を行っ た。	—	603人	2025年8月7日(木)～10 日(日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)	—		重点施策5
(提携) こどもとお となのオペ ラプロジェ クト 「エマと青 いバク」 「ベレグリ ンと大きな 魚」	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、上演会場の提供を行っ た。	—	303人	2025年8月16日(土)～17 日(日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)	<関連企画> ①8月15日(金) 公演開催記念オープニングセレモニー・シンボ ジウム		重点施策5
(提携) オペラシア ターこん にやく座公 演 オペラ「変 身」	県内のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、上演会場の提供を行っ た。	—	839人	2025年9月20日(土)～23 日(火・祝)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)			重点施策5
(提携) 舞台「近松 心中物語」	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、上演会場の提供を行っ た。	—	1765人	2025年10月18日(土)～26 日(日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)	—		重点施策5
(提携) まつもとと市 民芸術館ブ ロデュース 「チェーホ フを待ちな がら」	地方の劇場にKAAT神奈川芸術劇 場にて公演する機会をつくり、 稽古場と上演会場の提供を行っ た。	—	670人	2025年11月12日(水)～16 日(日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)	—		重点施策5
(提携) 「大誘拐」 ～四人で大 スペクタク ル～	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、上演会場の提供を行っ た。	—	1341人	2025年11月29日(土)～30 日(日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (ホール)	—		重点施策5
(提携) ゆうめい10 周年全国ツ アー公演 「養生」	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、稽古場と上演会場の提供 を行った。	—	1393人	2025年12月19日(金)～28 日(日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)	—		重点施策5
(提携) 中村蓉ダン ス公演2026 BLINK 双面改瞬間 真似(ふた おもてあら ためまたた きのまにま に)	気鋭のカンパニーにKAAT神奈川 芸術劇場にて公演する機会をつ くり、稽古場と上演会場の提供 を行った。	—	376人	2026年1月16日(金)～18 日(日)	KAAT神奈川芸術劇 場 (大スタジオ)	—		重点施策5
(共催) 音楽 堂ホリ デーアフタ ヌーンコン サート	神奈川県内を拠点にクラシック 音楽の振興に努めている音楽事 務所が継続して音楽堂で開催し ている室内楽コンサートに会場 を提供した。 ①金川真弓 無伴奏ヴァイオリ ン・リサイタル ②上原彩子 ピアノ・リサイタル ③郷古廉&村上淳一郎&辻本玲 ④宮田大&大萩康司 デュオ・ リサイタル ⑤トリオ・ジャパン 石田泰尚 &西谷牧人&佐藤卓史 ⑥小井土文哉 ピアノ・リサイ タル ⑦上野聖矢&岡田奏 デュオ・ リサイタル ⑧上野通明&北村明幹 デュ オ・リサイタル ⑨エリック・ルー ピアノ・リ サイタル ⑩東亮汰&務川慧悟 デュオ・ リサイタル	半年ごとのシリーズ券広報等 の協力で努めた。	①642人 ②622人 ③958人 ④970人 ⑤972人 ⑥584人 ⑦594人 ⑧891人 ⑨971人 ⑩962人	①2025年4月12日(土) ②2025年5月17日(土) ③2025年6月1日(日) ④2025年7月21日(月祝) ⑤2025年9月13日(土) ⑥2025年10月18日(土) ⑦2025年11月15日(土) ⑧2026年1月17日(土) ⑨2026年2月23日(月祝) ⑩2026年3月21日(土)	音楽堂	—		重点施策5
(共催) 神 奈川フィル ハーモニー 管弦楽団定 期演奏会 音 楽堂シリー ズ「Classic Modern」 ①第32回 ②第33回 ③第34回 ④第35回	伝統的に継続している、神奈川 フィルハーモニー管弦楽団の音 楽堂定期公演シリーズに会場を 提供し、音楽堂ならではの音響 を生かしたレパートリーの紹介 に努めた。	同日午前中のリハーサルを、 「小中高生のためのリハーサ ル見学」として子どもたちと その保護者に無料で公開する 主催事業を連動させた。広報 協力を実施。	①546 ②609 ③578 ④566	①2025年5月24日(土) ②2025年7月5日(土) ③2026年1月31日(土) ④2026年2月14日(土)	音楽堂			重点施策5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(共催) 加藤訓子プロデュース ①STEVE REICH PROJECT 2025 ②MUSIC DAY IN KANAGAWA 2025	神奈川県内を拠点に日本を代表する活動をしている打楽器奏者のプロデュースするコンサート企画に会場を提供し、現代の打楽器音楽の表現の紹介に努めた。	広報協力を実施。	①400 ②200	①2025年 5 月31 日 (土) ②2025年 9 月20 日 (土)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第68回神奈川県合唱祭	神奈川県合唱連盟による県内合唱団の集合する合唱祭に会場を提供し、県内の合唱文化の振興に努めた。	広報協力を実施。	2, 000	2025年 6 月14 日 (土)、 15 日 (日)、28 日 (土)、29 日 (日)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第48回神奈川県合唱フェスティバル	神奈川県合唱連盟による県内合唱団の集合する合唱祭に会場を提供し、県内の合唱文化の振興に努めた。	広報協力を実施。	1, 000	2026年 2 月11 日 (水)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第64回「音楽堂・おかあさんコーラス」	歴史的に継続している神奈川県内の女声合唱団の集合する合唱祭に会場を提供して年間を通して開催に協力し、県内の合唱文化の振興に努めた。	年間を通して音楽堂が実行委員会と協力して開催準備に努めた。	1, 000	2025年10月 7 日 (火) ～ 9 日 (木)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第48回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会	県内合唱団参加者による伝統ある女声合唱大会。	広報協力を実施。	300	2025年 4 月19 日 (土)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第34回神奈川県オペラフェスティバル'26 ①第1夜 ガラコンサート ②第2夜 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」	横浜を拠点にするオペラ団体の演奏会上演機会をつくり、会場を提供した。	広報協力を実施。	①446 ②450	2025年① 9 月21 日 (日)、②11月 1 日 (土)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第74回 神奈川県文化賞・スポーツ賞贈呈式	第74回神奈川県文化賞・スポーツ賞の贈呈式と神奈川県フィルハーモニー管弦楽団による祝賀演奏。	広報協力を実施。	732	2025年11月 3 日 (月・祝)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 団地コーラス発表会	神奈川県内の行う合唱発表会の開催に協力し、会場を提供した。	広報協力を実施。	200	2026年 1 月21 日 (水)	音楽堂			重点施策 5
016公募展やコンクール等の開催による発表の場の提供								
神奈川県美術展 60周年記念 受賞作家展『これまでも、これから』	60周年を記念して、現在、美術界で活躍している過去の受賞作家たちによる展覧会を開催した。	民ホール休館に伴い、例年開催している公募展が休止となった代わりに、60周年を記念した展覧会を実施した。	入場者数：2, 179人	1 月23 日 (金) ～ 1 月31 日 (土)	鎌倉芸術館ギャラリー	展覧会期間中には、神奈川県美術展立ち上げに携わった元県立近代美術館館長・酒井忠康氏や、過去の受賞作家によるトークイベントを開催した。(トークイベント参加者数：120名)		重点施策 5
(共催) 第41回かながわ音楽コンクール ①ユースピアノ部門 本選 ②ヴァイオリン部門 本選	県内新聞社が行っている伝統ある器楽コンクール		①100 ②200	2025年① 4 月29 日 (火・祝)、② 5 月25 日 (日)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第68回神奈川県合唱コンクール	神奈川県合唱連盟による県内合唱団の集合する合唱コンクールに会場を提供し、県内の合唱文化の振興に努めた。		1, 600	2025年 8 月16 日 (土)、 17 日 (日)	音楽堂			重点施策 5
(共催) 第39回ヨコハマ・全国舞踊コンペティション	神奈川県芸術舞踊協会による県内外のダンサー、振付家の集合する舞踊祭(コンペティション部門)に会場を提供し、県内の舞踊文化の振興に努めた。		400	2025年11月20 日 (木) ～ 23 日 (日)	音楽堂			重点施策 5
017創作・発表等の活動への助成等による支援								

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：47件 助成団体数：27件 助成金交付額：7,968千円	交付申請書の提出期限：2025年2月17日～2025年3月17日（電子申請） 審査会：2025年4月10日 交付決定通知書の送付：2025年4月24日～6月5日	—	—	再掲	重点施策5
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：166件 助成団体数：68件 採択額：73,327千円 参加者数：79,658人 オンライン視聴者数：2,972人	1次募集：2025年2月17日～3月17日 募集、4月25日～8月21日交付決定 2次募集：2025年6月10日～7月10日 募集、8月28日～9月11日交付決定	—	—	再掲	重点施策5
マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者118団体 1,411人 資料室夜間利用者440人	通年	青少年センター 研修室、演劇資料室	—		重点施策5
018伝統的な芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催等による支援								
神奈川県芸術劇場等での公演事業の実施	芸術監督長塚主史氏のもと、昨年度に引き続き、劇場の活動をリズムを持っておこなうべく、プレシーズンと「虹～RAINBOW～」をテーマに掲げたメインシーズンとを構成し、多様な作品制作とその発信に取り組んだ。	国内外の優れたアーティストと協力し、施設の特徴を生かした主催・提携・共催公演を実施し、舞台芸術の創造・発信を行った。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	KAAT神奈川県芸術劇場ほか	つくる劇場としてのKAATの制作力、ネットワークを活用して、評価の高い新制作舞台作品、海外の劇場や演劇祭との連携を着実に行之い、神奈川県から他県との連携、海外への発信を行なった。 また県民に親しみをもたせ、無料で気軽に劇場を訪れられるアトリウム企画等やマルシェ等の「KAATフレンドシッププログラム」や次世代の観客を育てる「KAATキッズプログラム」などに取り組んだ。	再掲	
音楽堂での公演事業の実施	沼野雄司芸術参与の助言のもと、音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、紅葉坂プロジェクトやヘリテージ・コンサートのほか、各種プログラムを実施した。	音楽堂初登場の演奏家や創造性の高い作品に重点を置き、人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家や音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	※人数は、本表各々の事業人数を含む	通年	音楽堂ほか	本年度は室内オペラ・プロジェクトの準備年とし、各実演団体との情報交換等を重点的に行った。また新企画の公募事業である「紅葉坂プロジェクト」、社会連携ポータル課との連携による、インターンシップや「先生のためのアウトリーチ」等の教育普及、人材育成に取り組んだ。また紅葉ヶ丘地域の公立文化施設五館の協働アクションである「紅葉ヶ丘まいらん」ほか他の公立文化施設との連携、協働に留意した。	再掲	
（共催）第59回神奈川県名流三曲祭	神奈川県三曲会による伝統音楽の集合する三曲祭に会場を提供した。	広報協力を実施。	200	2025年11月30日（日）	音楽堂			
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	446人	2025年12月7日（日）	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	再掲	
(3) 芸術家等の育成等に関する支援等								
ア芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成								
019神奈川県文化賞・未来賞等による顕彰の実施								
神奈川県文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川県に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川県文化賞」を贈呈した。 2001年度に、神奈川県文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設した。	県民を贈呈式に無料招待し、広く県民全体で受賞者への祝意を表すとともに、祝賀演奏において受賞者の方に演奏いただき、催し全体で文化を盛り上げることができた。	732人	2025年11月3日	神奈川県立音楽堂	受賞者6人 （文化賞：4人、未来賞：2人）		
020舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援								
KAAT舞台技術講座2025 ①「実現するちから」を学ぶ ～ヘアメイク編 ②制作者のための舞台技術講座	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供した。	①13人 ②45人	①2025年6月10日（火） ②2026年1月25日（日）～26日（月）	KAAT神奈川県芸術劇場 （大スタジオ）	—		重点施策2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAAT人材育成プログラムグリーンシアター・ワークショップ ①「ライブサイクルアセスメント（LCA）」を活用して、持続可能な未来を目指そう」 ②＜未来につながるアクションへ～設計ガイドと実践のヒント＞	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供した。	①17人 ②21人	①2025年6月21日（土） ②2026年3月5日（木）	KAAT神奈川芸術劇場（中スタジオ）	—		重点施策2
2025年度インターン ①舞台技術コース ②劇場運営コース	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	—	①3人 ②3人	2026年 ①1月28日（水）～2月12日（木） ②3月24日（火）～29日（日）	KAAT神奈川芸術劇場	—		重点施策2
2025年度神奈川県立音楽堂&神奈川県民ホール 制作広報インターン	制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	音楽堂、県民ホールの歴史、指定管理者制度や劇場運営、自主事業における企画・制作・広報について学んだほか、「先生のためのアウトリーチ研修会」で実地研修を行った。	7	2025年8月19日（火）～29日（金）	音楽堂	—		重点施策2
昭和音楽大学大学院寄付講座「芸術運営論Ⅱ」「芸術文化と社会Ⅱ」	財団本部の事業として、昭和音楽大学・大学院生を対象に、同大学の令和7年アートマネジメントコース2年次必修科目／全学部・短大各コース2年次以上選択科目、アートマネジメントコース3年次必修科目に当財団が出講（寄付講座）し、当財団職員が分担して教壇に立った。 今年度は神奈川県立音楽堂職員を講師とする「自由な発想で考えるー 神奈川県民ホール・神奈川県立音楽堂の企画制作ー」、社会連携ポータル課職員を講師とする「芸術と社会をつなぐ窓口に～神奈川芸術文化財団 社会連携ポータル課の取組み」の2コマ（1コマ各100分）を行った。	●1コマには県民ホールや県立音楽堂でオペラ等の事業企画制作を行ってきた職員、1コマには財団本部で社会連携ポータル課長を務める職員を講師とし、芸術的専門性にかかる企画制作の視点と、社会連携課題の視点の両方から講義の構成をした。	①学生35名・教員3名 ②学生30名・教員3名	①2025年10月14日、②11月25日	昭和音楽大学校舎	—		重点施策2
021芸術家の研修等による育成支援								
The Sixteen マスタークラス	舞台芸術への扉を開く講座シリーズ。The Sixteenの関連企画として、指揮者ハリー・クリストファーズによる指揮のマスタークラスを実施した。	The Sixteenが本公演で歌う楽曲を実際の受講曲とし、より本格的なマスタークラスとして実施した。	37（内聴講者33、受講生4）	2025年11月21日（金）	海老名市文化会館120サロン	—		
劇場が常に考える場・豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエーションのアイデアをカイハツするプロジェクト「カイハツ」	①戯曲カイハツ：如月小春「MORAL」を読む会 ②企画・人材カイハツ：「子連れOK!新しい表現を探す旅」 ③戯曲カイハツ：ステファノ・マッシーニ「我が闘争」を読む会 ④企画・人材カイハツ：「振付としてみる、西洋芸術音楽のプレイヤーたち」 ⑤企画・人材カイハツ：「上演そのものを問題化する戯曲を起点に、創作と権力の関係を再考する」 ⑥戯曲カイハツ：如月小春「工場物語ーThe Factory Romance《少女と犬》 聖都市を記述する試み・PartⅡ」を読む会 ⑦創作プロセスカイハツ：兼島拓也新作書下ろしリサーチ1 ⑧戯曲カイハツ：ファルク・リヒター「非常事態」を読む会 ⑨戯曲カイハツ：ステファノ・マッシーニ「夢判断」を読む会 ⑩創作プロセスカイハツ：兼島拓也新作書下ろしリサーチ2 ⑪戯曲カイハツ：リン・ノッタージ「SWEAT」を読む会 ⑫創作プロセスカイハツ：兼島拓也新作読み合わせ	新たな表現の実験、ジャンルを横断したアーティストの交流、様々な情報の収集などを目的に、「企画・人材カイハツ」「戯曲カイハツ」「創作プロセスカイハツ」の3つの活動を軸にして、劇場の創作活動の核を育てていくことを目指した。	①6人 ②14人 ③13人 ④15人 ⑤22人 ⑥10人 ⑦2人 ⑧7人 ⑨15人 ⑩1人 ⑪13人 ⑫17人	2025年 ①5月13日（火） ②7月7日（月）～12日（土） ③7月23日（水） ④8月23日（土）、9月1日（月）～5日（金） ⑤8月25日（月）～30日（土） ⑥9月19日（金） ⑦10月14日（火）～17日（金） ⑧11月20日（木） 2026年 ⑨1月19日（月） ⑩2月17日（火）～19日（木） ⑪3月6日（金） ⑫3月10日（火）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ、中スタジオ、アトリエほか）	劇場ホームページにおいて、この取組と実施内容について広報を行った。		重点施策2
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：166件 助成団体数：68件 採択額：73,327千円 参加者数：79,658人 オンライン視聴者数：2,972人	1次募集： 2025年2月17日～3月17日募集、4月25日～8月21日交付決定 2次募集： 2025年6月10日～7月10日募集、8月28日～9月11日交付決定	—	—	再掲	重点施策2
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけではなく、公演を作り上げるために必要なコミュニケーション能力等の向上にも注力した。	塾生：16人 成果発表公演観覧者数：217人	2025年6月～8月 ※レッスン 成果発表公演：2025年8月30日、31日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
紅葉坂プロジェクト	演奏家、作曲家、プロデューサー等を問わず、新しい視点による企画案を企画委員が選考し、音楽堂の主催事業として実現する事業を2021年度より開始した。 ①Vol.4 本公演 ②Vol.5 ワークインプログレス<公開プレゼンテーション>	見識のある企画委員のもとで、音楽堂の空間を活かし、音楽を中心に他ジャンルとのコラボレーション等も含めて新しい表現を考える人材を公募、開発、育成するプロジェクトを実施した。①公開デモンストレーションであるワークインプログレスと②本公演の2回を年度内に行った。	①235 ②72	①2025年7月19日（土） ②2026年3月20日（金・祝）	音楽堂	音楽堂ホームページ、SNS、チラシ、大学等への周知依頼等		重点施策2
マグカルシアター出演団体等の上演作品制作支援事業	マグカルシアターに出演が決定した団体等を対象に、演劇資料室や稽古場の提供を通して作品制作に関する課題解決を支援し、上演作品の質的向上を図った。	—	研修室利用者 118団体 1,411人 資料室夜間利用者 440人	通年	青少年センター 研修室、演劇資料室	—		重点施策2
イ創作のための環境整備や創造的活動の成果発表の機会の確保 022県立文化施設等での練習・発表等の場の提供								
マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホールを公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオファーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	8,463人	2025年4月～2026年3月	青少年センター スタジオ 「HIKARI」、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別や県外の団体からの応募が増えるなど、すそ野が広がっている。	再掲	重点施策2
023公募展やコンクール等の開催による発表の場の提供								
第41回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2025年8月17日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、11月9日に年長の入賞者によるジュエルコンサートを実施した。	—	参加者数：507人 鑑賞者数：1,110人	①クリスタルコンサート：2025年8月17日 ②ジュエルコンサート：2025年11月9日 コンクール全体は2025年3月16日（日）～12月15日（月）	①：横浜市青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②：ボッシュホール「横浜市都筑区民文化センター」	—	再掲	重点施策2
神奈川県美術展 60周年記念 受賞作家展『これまでも、これから』	60周年を記念して、現在、美術界で活躍している過去の受賞作家たちによる展覧会を開催した。	県民ホール休館に伴い、例年開催している公募展が休止となった代わりに、60周年を記念した展覧会を実施した。	入場者数：2,179人	1月23日（金）～1月31日（土）	鎌倉芸術館ギャラリー	展覧会期間中には、神奈川県美術展立ち上げに携わった元県立近代美術館館長・酒井忠康氏や、過去の受賞作家によるトークイベントを開催した。（トークイベント参加者数：120名）	再掲	重点施策2
かながわパフォーミングアーツワード2026	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、昨年より「かながわパフォーミングアーツワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを引き続き開催した。	ファイナルのライブ配信及びアーカイブ配信を引き続き廃止し、劇場での観劇を促し、来場者数の増加を目指した。	【応募数】 団体 29団体 【ファイナル出場】 5団体 【来場者数】 123人	ファイナル：2026年3月15日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策2
024県立文化施設主催事業等における新進芸術家の積極的登用								
アカデミー及び舞台塾履修生の登録制度	マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの履修生による登録制グループを結成し、県の広報媒体への出演等により、活動の場を提供する。	多様な活動機会が提供できるよう、予算や活動条件を柔軟に対応できるような実施要領を定めている。	17人（登録者数）	①2025年4月～2026年3月	①神奈川県庁（ベトナムフェスタ）及び幼稚園保育園等2名（ダブルキャスト）	—		重点施策2
神奈川県民ホールがやってくる！どこでも音楽便	鎌倉市を含む相模湾沿岸地域で移動型ピアノを中心とした移動型の演奏イベントを実施した。「どこでも音楽便」では、神奈川県出身や在住といった県にゆかりのある音楽家が出演させることと仕様に定めており、地元のパンド等にも出演いただいた実績もあることから、県民の発表の場を提供していると整理する。	これまで文化芸術に関心の薄かった層や、県民ホールへの来場が難しかった地域の県民に鑑賞の機会を提供できるよう、移動型のイベントとした。	①534人 ②649人 ③2,457人	①2026年3月1日 ②2026年3月7日 ③2026年3月15日	①鎌倉宮 ②東大果樹園跡地 みらいはらっぱ ③大磯港内広場	どこでも音楽便は特に若手の音楽家を起用する傾向にあるので、ファンタスティック・ガラコンサートよりも県民へ発表の場の提供をしたり、新進芸術家の登用をしていると考えられる。	再掲	重点施策2
C×JAZZ 壺阪健登×デューク・エリントン	過去の著名な作曲家と現代の作曲家を引き逢わせ、歴史的遺産を顧みつつ、未来へとつながる創造を模索するCX（シー・バイ）シリーズの一環として、新たにジャズをテーマとし、今最も注目されている横浜出身の若手ジャズ作曲家にしてアーティストである壺阪健登を迎え、デューク・エリントンの名曲とオリジナル作品を交差したプログラムで演奏。	壺阪健登を筆頭に俊英たるベース、ドラムスのトリオ編成とし、委嘱作品にも挑戦することで、本公演でしか味わえない熱いステージをお届けした。	①311 ②151 ③136 ④238	①2025年11月27日（木） ②2025年11月28日（金） ③2025年11月29日（土） ④2025年11月30日（日）	①茅ヶ崎市民文化会館 小ホール ②ラゾーナ川崎プラザソル ③三浦市民ホール ④葉山町福祉文化会館	②の公演では、川崎のまちにジャズを根付かせる「かわさきジャズ」の協力を得ることができ、広報の効果のみならず、ジャズ分野に深く分け入る大変意義深い契機となった。	再掲	重点施策2
(4)文化芸術団体の育成等 ア文化芸術団体の育成・支援、連携・協働の推進 025文化芸術団体への助成等による支援								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川県文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：47件 助成団体数：27件 助成金交付額：7,968千円	交付申請書の提出期限：2025年2月17日～2025年3月17日（電子申請） 審査会：2025年4月10日 交付決定通知書の送付：2025年4月24日～6月5日	—	—	再掲	重点施策5
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：166件 助成団体数：68件 採択額：73,327千円 参加者数：79,658人 オンライン視聴者数：2,972人	1次募集：2025年2月17日～3月17日募集、4月25日～8月21日交付決定 2次募集：2025年6月10日～7月10日募集、8月28日～9月11日交付決定	—	—	再掲	重点施策5
026文化芸術団体の活動に対する後援								
文化芸術団体の活動に対する後援	文化芸術団体等が主催する、県内において実施する事業について、県の文化芸術の振興に寄与すると認められるものに、神奈川県の後援名義の使用を承認した。	—	後援名義の使用承認実績：138件	—	—	—		重点施策5
神奈川県文化プログラム認証制度	県内で実施する事業・活動について、一定の要件を満たすものを神奈川県文化プログラムとして認証した。	—	認証件数：559件	—	県内全域	—		重点施策5
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したリツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。また、アニメーションを作成し、8カ所の駅構内のデジタルサイネージを活用して事業の周知を図った。	参加プログラム数：273件	—	県内全域	—		重点施策5
027県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進								
日本舞踊に学ぶ’和’の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	①33人 ②9人 ③41人	①2025年7月24日（木）・25日（金） ②2025年8月2日（土）・3日（日） ③2025年8月11日（月）・12日（火）	①横須賀市文化会館 ②タウンニュースビル ③県立青少年センター	ワークショップの満足度を聞いたアンケートの結果、134名（保護者を含めた回答者数135名のうち）から「とてもよかった・よかった」との回答があった。	再掲	
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①232人 ②97人 ③200人 ④133人 ⑤173人	①2025年10月2日 ②2025年11月10日 ③2026年1月26日 ④2026年2月20日 ⑤2026年3月24日	①足柄高等学校 ②林中学校 ③二宮高等学校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲	
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①7人 ②17人 ③11人	①2025年8月14日（木） ②2025年8月17日（日） ③2026年1月31日（土）	①サン・エールさがみはらがみはら ②あつぎ郷土博物館 ③青少年センター練習室	—	再掲	
相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け。伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：699人	2026年2月15日	南足柄市文化会館大ホール	—	再掲	
カナガワリ・古典プロジェクト in 横須賀	三浦半島の様々な暮らしにスポットを当て、地域で受け継がれてきた伝統芸能の公演を「海洋都市横須賀」を舞台に実施した。また公演に先駆け小・中学生を対象に、三浦半島の民俗芸能の魅力を体感できるワークショップを開催した。	ホール公演会場への誘客として、横須賀中央駅前の商業施設で伝統芸能のミニ公演を行った。また、伝統芸能の歌詞や説明を記した詞章を制作して配布する等、初めて三浦半島の伝統芸能に触れる方にも親しみやすく、また家に持ち帰ってからも楽しんでいたような工夫を行った。	・ホール公演576名 ・屋外公演（モアーズシティミニステージ）54名 ・民俗芸能ワークショップ20名（参加者10名、同伴者10名） ・日本舞踊ワークショップ3名（参加者2名、同伴者1名）	2025年11月23日 民俗芸能ワークショップ 2025年12月6日 ホール公演 他	横須賀市文化会館、横須賀市産業交流センター 他	—	再掲	
かながわパフォーマンスアワード2026	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、昨年より「かながわパフォーマンスアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを引き続き開催した。	ファイナルのライブ配信及びアーカイブ配信を引き続き廃止し、劇場での観劇を促し、来場者数の増加を目指した。	【応募数】 団体 29団体 【ファイナル出場】 5団体 【来場者数】 123人	ファイナル：2026年3月15日	KAAT神奈川県芸術劇場	—	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,428人 再生回数：27,917回 公演等回数：58回	2025年4月～2026年3月	オンライン（動画）、横須賀市立青少年会館、小田原市生涯学習センターけやき、横浜にぎわい座、厚木市文化会館 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が92.7%となった。			
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,627人	2025年4月～2026年3月	各県営団地（10か所）	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施。			
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	国立劇場閉場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施していた学校を中心に学生団体の受入れに力を入れた。	2,320人	2025年6月25日、26日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.4%にのぼった。	再掲		
人形浄瑠璃文案	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文案を上演した。	文楽人形による観客出迎え記念写真コーナーを設置した。	1,448人	2025年11月9日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると86.1%にのぼった。	再掲		
かながわ伝統文化こども歳時記	青少年センターの施設全体を使い、子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・月明かりに照らされた森の広場の盆踊りをイメージしたホールの客席空間やホワイエに設置した芝居小屋「もみじ座」、会場装飾など、ワクワクしたお祭り空間となるような設えを心掛けた。 ・Web広報やSNSを活用した広報を心掛けた。	1,162人	メインプログラム： 2025年10月29日 伝統芸能ワークショップ： 1月10～12日（講談・箏曲）、12月20日・26日（手裏）	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると95.8%にのぼった。また、伝統芸能ワークショップ及び「こどもスタッフ」参加者に絞ったアンケートでは100%に達した。	再掲		
028文化芸術団体相互の連携の促進									
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	446人	2025年12月7日（日）	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	再掲		
かながわ児童劇グループ交流会（かながわ人形劇フェスティバル）	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	420人	2025年7月5日、6日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール特設ステージ	会場がスタジオHIKARIが使用できず、特設会場となったが、混乱はなく、逆に広くて見やすいなどの声もあった。	再掲		
かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟9団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	—	552人	2025年11月24日	県立青少年センター	—	再掲		
(5)子どもの文化芸術活動の充実									
ア文化芸術の鑑賞機会の提供									
029学校等と連携したアウトリーチの展開									
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2025年4月～7月 （26回実施）	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—		重点施策2	
舞台芸術活用青少年支援事業	引きこもり等の課題を抱えた青少年を対象に舞台芸術が持つ特徴を活かしたワークショップを、横須賀市内で実施した。	フリースクール「いろどり」に通う不登校の子ども達に適したプログラムをファシリテーター及び施設職員等と事前に調整して実施した。	3月26日：4人（小学生2、中学生1、高校生1） 3月30日：3人（小学生2、高校生1）	2026年3月26日、30日	県営津久井浜団地 徒歩0分図書館	参加者の子どもやフリースクールの関係者からは、新しい事を体験した事で、気づきも沢山あり、楽しかった。本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました、という感想が寄せられた。		重点施策2	
演劇部お助け講座	中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るためのワークショップを県内各地域で実施した。	中学校演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	中学生：203人	2025年12月20日、2026年1月17日、1月24日	横須賀市はまゆう会館、桐光学園、平塚市立江陽中学校	講師による講習や、他校との練習ができたことで、日頃の学内部活動では得られないものがあつたという意見が多かった。		重点施策2	
日本語支援拠点施設ひまわりアウトリーチ	来日間もない外国にルーツを持つ子どもたちに、日本語を教える施設、日本語支援拠点施設ひまわりで、生演奏を含めた言葉に頼らず音楽の楽しさを伝えるプログラムを打ち出した。	極力言葉での説明を減らし、やさしい日本語や映像、ジェスチャーなどを用いて、音楽と出会うことを軸にしたプログラムを組んだ。小学生から中学生までの児童生徒を対象に、問いかけをしたり、ことばを復唱してもらったり、一緒に体を動かしたりしながら、一方通行の鑑賞に留まらない体験型の音楽鑑賞会となった。	32	2025年7月4日（金）	日本語支援拠点施設ひまわり	—		重点施策2	
030県立文化施設による子どもたちを対象とした公演事業の実施									

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAATキッズ・プログラム2025「わたしたちをつなぐたび」	KAATによる新作公演。静岡県舞台芸術センターと共同して子ども向けの新作プログラムを上演した。	子供から大人まで幅広い世代に楽しんでもいただける作品作りに努めた。	1086人	2025年7月21日（月・祝）～27日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	静岡県での巡回公演を行った。	再掲	重点施策2
KAATキッズ・プログラム2025「鏡の中の鏡」	静岡県舞台芸術センターによる新作公演。KAATと共同して子ども向けの新作プログラムを上演した。	「自分を探す」という哲学的で難解な作品を子どもにも親やすいように、工夫して上演した。	344人	2025年7月26日（土）～27日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	共同事業として、静岡県舞台芸術センターで創作した作品をKAATで上演した。	再掲	重点施策2
KAATキッズ・プログラム2025「やさしい鑑賞会」 「わたしたちをつなぐたび」	子ども向けの新作プログラムを年齢や障がいのあるなしにかかわらず、みんなで楽しむことを目指した「やさしい鑑賞会」として実施した。	音量や照明を抑え、発声や途中入退場も可能とするなど、安心して鑑賞できる環境を整えたほか、フリーエリアを設け、多様な来場者に配慮した公演運営を行った。	64人	2026年3月29日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—	再掲	重点施策2
藤沢市民オペラ連携事業 みらいサマースクール 楽器体験	藤沢市民みらい創造財団と藤沢市が協働事業として実施する「みらいサマースクール」の一環で、藤沢市在住の小学4年生～6年生を対象として楽器体験の場を提供した。	対象となる子どもたちにとって、学校にある打楽器や鍵盤楽器は授業等で触れる機会が多いことから、なかなか触れる機会が少ない金管楽器を体験いただいた。	30	2025年8月19日（火）	藤沢市民会館 第1展示集会ホール	—		重点施策2
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	—	1,316人	2025年11月 2026年1月	横須賀市立横須賀総合高等学校（久里浜小学校、ほか2校）、厚木市立上依知小学校、平塚市立吉沢小学校、葉山町立長柄小学校	—		重点施策2
赤ちゃんありがとうコンサート	子育て支援事業として、子育て中の親子を対象としたランチタイムコンサートの内容を一部変更して実施した。	乳幼児・未就学児の同伴を可能とし、気兼ねなく親子で楽しめるコンサートを実施した。	入場者数：226人	2026年2月14日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
神奈川フィル・カジュアルコンサート	クラシックやオーケストラに馴染みのない方々向けに、神奈川フィルによるカジュアルコンサートを実施した。	Youtubeによる生配信と、終演後のアーカイブ配信を実施した。	入場者：181人 視聴者数 ライブ：135人 アーカイブ：3,858回	2026年3月28日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	国立劇場開場に伴い、学校行事で歌舞伎鑑賞を実施していた学校を中心に学生団体の受入れに力を入れた。	2,320人	2025年6月25日、26日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.4%にのぼった。	再掲	重点施策2
かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	420人	2025年7月5日、6日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール特設ステージ	会場がスタジオHIKARIが使用できず、特設会場となったが、混乱はなく、逆に広くて見やすいなどの声もあった。	再掲	重点施策2
「かながわ人形劇フェスティバル」公演事業	子どもたちに良質な作品を鑑賞する機会を与えるとともに、アマチュア団体にとっても、作品作りや日頃の活動の一助となることを目的として、プロによるモデルとなる公演を実施した。	上演作品を検討するうえで、絵本作家ヨシタケシンスケ氏の原作による、評価の高い作品「りんごかもしれない」の人形劇を上演することとした。	177人	令和7年9月15日 計2公演	青少年センタースタジオHIKARI	・アンケートでは、「よかった」という回答が98.2%にのぼった。		重点施策2
第311回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第311回青少年芸術劇場「果てしない部屋」を実施した。	直前に読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞した演出家・稲葉賀恵が、前年度の岸田戯曲賞受賞者・笠木卓による脚本を演出するという話題性のある企画とした。	511人	2026年2月20日～23日 全6公演	青少年センタースタジオHIKARI	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると97.4%にのぼった。 ・全6回の公演中、4回のチケットが完売した。	再掲	重点施策2
神奈川フィルハーモニー管弦楽団公開リハーサル	アートホールで行う神奈川フィルのリハーサルを無料公開した。	希望者にはヘッドホンを出し、指揮者の声が聞こえ、オーケストラが「音楽を創る」様子を楽しむことができる工夫をした。	4月：45人 5月：88人 6月：なし 7月：65人 8月：20人 9月：54人 10月：56人 11月：47人 12月：33人 1月：65人 2月：173人 3月：4人	毎月（不定期）	かながわアートホール	—		重点施策2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
小中高生のための公開リハーサル（協力：神奈川フィルハーモニー管弦楽団）	神奈川フィルハーモニー管弦楽団の音楽堂定期公演当日のリハーサルを小学生以上が無料で見学できる見学会を実施した。	親子連れや、高校生の単独参加、学童保育、学校のクラブ等のそれぞれの単位で参加できる形にし、見学終了後は神奈川フィルの事務局職員を交えた子どもたちからの質疑応答コーナーを設けた。また子どもたちからの質問をアンケートでも受け付けた後、後日回答をホームページで閲覧できるようにした。	①64 ②185 ③96 ④111	①2025年5月24日（土） ②2025年7月5日（土） ③2026年1月31日（土） ④2026年2月14日（土）	音楽堂	—		重点施策2
音楽堂アウトリーチ事業	「先生のためのアウトリーチ研修会」 小中学校・特別支援学校の教員を対象とし、各日テーマを設け、基調講演、アウトリーチ体験、グループディスカッション、質疑応答などを行った。	アーティストとアドバイザーが事前にプログラムを準備し、教育現場の課題解決に取り組んだ。	①71 ②20	①2025年8月22日（金） ②2025年11月19日（水）	①神奈川県立音楽堂 ②ラゾーナ川崎プラザソル	R7年度に収録した映像を編集し、参加を検討する教員が閲覧できるよう音楽堂と社会連携ポータル課のホームページへ掲載した。		重点施策2
初めての音楽会事業「音楽たまたま箱」	小学生に初めてのホールコンサート体験してもらい、感動を記憶に刻んでもらう。	通常のホールコンサートと同様の演出を行った。	入場者：116人	2025年6月24日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
031県立文化施設による子どもたちを対象とした展覧会等の開催								
朗読コンサート 「『中島敦の手紙展』に寄せて」	神奈川近代文学館のホール等の会場を利用して、企画展に即した内容の朗読コンサートを開催した。	—	87人	8月30日	神奈川近代文学館	朗読コンサートの前後、多くの参加者が展覧会場にも入場してくれた。		重点施策2
県立金沢文庫における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	中高生を対象に、称名寺や金沢文庫の文化財にちなんだ学習事業を実施した。	期間中の展覧会にちなみ、館外の文化財の見学など、子どもたちの興味を誘った。	—	2025年8月24日	県立金沢文庫	—		重点施策2
県立歴史博物館における子どもたちを対象とした鑑賞事業等の実施	近隣館と共同企画した夏休み子ども向けイベント「ミュージアム・ミッション2025」を開催した。参加者には記念品を配布した。当館は休館中につき、WEB上で参加した。また、子ども向けの体験教室を実施した。	休館中も近隣館との共同企画に参加する方法として、WEB上でクイズを出題した。外部会場を借り、保護者と一緒に楽しめる体験教室を実施した。	参加者数：延べ4,733名	「ミュージアム・ミッション2025」 2025年7月19日（土）～8月31日（日）	大佛次郎記念館等（当館はWEB上で参加）	—		重点施策2
県立近代美術館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	18歳以下の来館者への「夏のため（おたのしみと学びのセット）」の無償配布とそれを用いたワークショップの実施	オリジナルの配布教材を開発した。	教材配布数：1076個	教材配布時期：2025年7月22日～8月24日 ワークショップ参加者：計86人	教材配布場所：近代美術館葉山館、鎌倉別館	—		重点施策2
県立生命の星・地球博物館における子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施	例年は子どもを対象とした展覧会は開催していないが、令和6年度は、子どもから障がい者、一般までを対象とした企画展「すな一ふしぎをみつkeyよう」を実施した。	企画展「すな一ふしぎをみつkeyよう」の開催にあたり、盲学校や特別支援学校、保育園での出前授業を行うことで展示手法に工夫し、よりインクルーシブな展示を目指した。	企画展入場者数25,399人	令和7年2月22日～5月11日	当館生命の星・地球博物館特別展示室	通常の企画展よりも取材件数が多い。NHKの夕方の番組「首都圏ネットワーク」で生中継で展示が紹介されたのは当館初。		重点施策2
イ文化芸術の参加・創造機会の充実								
032子どもたちを対象とした公募展やコンクール等の開催								
神奈川県美術展中高生特別企画展	青少年の作品発表の機会の提供、創作活動の支援及び県美展の活性化を図るため、県美術展と併催し、公募美術展を開催した。	運営業務の全面外部委託、応募方法の電子申込一本化、全ジャンル画像審査の導入を行った。	応募点数：337点 応募人数：232人 入選者数：59人 入賞者数：21人 来場者数 2,179人	1月23日（金）～1月31日（土）	鎌倉芸術館ギャラリー	—		重点施策2
第41回かながわ音楽コンクール	神奈川県ゆかりの才能ある若手演奏者を紹介し、オーケストラとの共演を通じて一層の育成を図る目的で、2025年8月17日に入賞者を対象としたクリスタルコンサート、11月9日に年長の入賞者によるジュエルコンサートを実施した。	—	参加者数：507人 鑑賞者数：1,110人	①クリスタルコンサート：2025年8月17日 ②ジュエルコンサート：2025年11月9日 コンクール全体は2025年3月16日（日）～12月15日（月）	①：横浜市青葉区民文化センター「フィリアホール」 ②：ボッシュホール「横浜市都筑区民文化センター」	—	再掲	重点施策2
033文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進								
小中高生のための公開リハーサル（協力：神奈川フィルハーモニー管弦楽団）	神奈川フィルハーモニー管弦楽団の音楽堂定期公演当日のリハーサルを小学生以上が無料で見学できる見学会を実施した。	親子連れや、高校生の単独参加、学童保育、学校のクラブ等のそれぞれの単位で参加できる形にし、見学終了後は神奈川フィルの事務局職員を交えた子どもたちからの質疑応答コーナーを設けた。また子どもたちからの質問をアンケートでも受け付けた後、後日回答をホームページで閲覧できるようにした。	①64 ②185 ③96 ④111	①2025年5月24日（土） ②2025年7月5日（土） ③2026年1月31日（土） ④2026年2月14日（土）	音楽堂	—	再掲	重点施策2
034県立文化施設等での子どもたちを対象とした文化芸術の参加事業の実施								
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけではなく、公演を作り上げるために必要なコミュニケーション能力等の向上にも注力した。	塾生：16人 成果発表公演観覧者数：217人	2025年6月～8月 ※レッスン 成果発表公演：2025年8月30日、31日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策2

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
第311回青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第311回青少年芸術劇場「果てしない部屋」を実施した。	直前に読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞した演出家・稲葉賀恵が、前年度の岸田戯曲賞受賞者・笠木泉による脚本を演出するという話題性のある企画とした。	511人	2026年2月20日～23日 全6公演	青少年センター スタジオHIKARI	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると97.4%にのびった。 ・全6回の公演中、4回のチケットが完売した。	再掲	重点施策2
藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供	【体験事業】 多くの方が気軽に陶芸やガラス工芸などの芸術体験を親しむための常設事業、募集型の体験事業や季節限定体験事業を実施した。 【活動支援事業】 地域との連携により「藤野ぐるっと陶器市」の会場として、9名程の作家を招聘し実施した。また、絵画や写真等の展示・芸術活動発表の場を提供した。藤野村歌舞伎公演及び、藤野席書き大会は共催事業で実施した。地元講師を迎えた工芸講座は、作家の準備が令和7年度中も整わなく中止した。	【体験事業】 体験事業では、季節に合った期間限定メニューの実施のほか、前年度人気のあったメニューに新たな体験メニューを追加して実施するなど、何回でも新たな体験を楽しめる工夫を行った。 【活動支援事業】 活動支援事業では、地域人材や資源を活用し、藤野ぐるっと陶器市、藤野村歌舞伎公演及び、藤野席書き大会を実施した。	【体験事業】 体験事業合計 22,511人 木工体験 7,809人 陶芸体験 5,714人 ガラス工芸等 8,988人 【活動支援事業】 活動支援事業合計 25,658人 絵画等展示 1,361人	【体験事業】 通年 【活動支援事業】 絵画等展示 通年	藤野芸術の家	体験活動事業において、大人向けや親子を対象とした電動ロクロの講座や夏休みに自由研究に適した体験「モーター付きスーパーカー作りやベースボール作り」を実施し好評だった。		重点施策2
神奈川フィル・ジュニア管弦オーケストラ 2025（第9期生）	小学4年生～高校3年生の子どもたちがアートホールに集い、神奈川フィル団員の指導を経て神奈川フィルと共演する。	受講生が楽器ごとに分かれて行うパート練習やそれぞれの合奏練習を行った。	受講者：45人 入場者：172人 ライブ：135人 ライブ：1,227回	2025年8月31日	かながわアートホール	—	再掲	重点施策2
かなぶんキッズクラブ（紙芝居、映画会、絵本の読み聞かせ等）	子どもの長期休み期間に合わせて「かなぶんキッズクラブ」として紙芝居、映画会を実施した。	文学の名作を原作にしたプログラムとなるよう心がけた。	371人	①手話つきおはなし会：8月8日 ②子ども映画会：8月14日、15日 ③紙芝居：8月22日 ④子ども映画会：2026年3月26日 ⑤紙芝居：3月27日	神奈川近代文学館	新たに手話つきおはなし会を実施。絵本を楽しみながら手話も学べる場を提供した。	再掲	重点施策2
035子どもたちを対象とした伝統的な芸能の参加事業の実施								
日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	①33人 ②9人 ③41人	①2025年7月24日（木）・25日（金） ②2025年8月2日（土）・3日（日） ③2025年8月11日（月）・12日（火）	①横須賀市文化会館 ②タウンニュースビル ③県立青少年センター	ワークショップの満足度を聞いたアンケートの結果、134名（保護者を含めた回答者数135名のうち）から「とてもよかった・よかった」との回答があった。	再掲	重点施策2
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①232人 ②97人 ③200人 ④133人 ⑤173人	①2025年10月2日 ②2025年11月10日 ③2026年1月26日 ④2026年2月20日 ⑤2026年3月24日	①足柄高等学校 ②林中学校 ③二宮高等学校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲	重点施策2
能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①7人 ②17人 ③11人	①2025年8月14日（木） ②2025年8月17日（日） ③2026年1月31日（土）	①サン・エールさがみはら ②あつぎ郷土博物館 ③青少年センター練習室	—	再掲	重点施策2
かながわ伝統文化こども歳時記	青少年センターの施設全体を使い、子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力と、多彩なプログラムを通して紹介した。	・月明かりに照らされた森の広場の盆踊りをイメージしたホールの客席空間やホワイエに設置した芝居小屋「もみじ座」、会場装飾など、ワクワクしたお祭り空間となるような設えを心掛けた。 ・Web広報やSNSを活用した広報を心掛けた。	1,162人	メインプログラム：2025年10月29日 伝統芸能ワークショップ：1月10～12日（講談・箏曲）、12月20日・26日（手妻）	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると95.8%にのびた。また、伝統芸能ワークショップ及び「こどもスタッフ」参加者に絞ったアンケートでは100%に達した。	再掲	重点施策2
036地域クラブ活動の促進								
地域クラブ活動の促進に係る取組	部活動の地域移行を推進すべく、次の取組を実施 ①神奈川県文化芸術振興審議会への情報提供 ②市町村へのヒアリング ③文化庁への財政的措置に係る要望 ④かながわ地域クラブ活動指導者データベースへの登録 ⑤部活動の地域移行に係る神奈川県の方針改定検討会議	様々な方法で県の取組を広く周知し、更なる地域移行の推進を図った。	—	①令和7年8月21日 ②令和7年12月5日 令和8年2月20日 令和8年3月13日 令和8年3月19日 ③令和8年3月に広域連携課に提出 ④随時 ⑤令和7年6月26日 令和7年8月26日	①大同生命横浜ビル13階 会議室4 ②電話 電話 川崎市役所 横浜市役所 ③電子メール ④データベースシステム ⑤大同生命横浜ビル13階 会議室4 新庁舎8階 第一会議室	—		重点施策2
(6)学校教育における文化芸術活動の充実 ア文化芸術に関する体験学習等の充実 037学校と文化芸術団体との連携による文化芸術体験事業の実施								

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
神奈川フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2025年4月～7月 (26回実施)	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—	再掲	重点施策2
「子どもたちの音楽芸術体験事業」神奈川フィル・ゆめコンサート	神奈川フィルによる実演指導やオーケストラとの共演を通じ、本物の芸術に触れる機会を提供することにより、子どもたちの芸術を愛する心を育て、豊かな情操を育むことを目的として実施した。	—	1,316人	2025年11月 2026年1月	横須賀市立横須賀総合高等学校（久里浜小学校、ほか2校）、厚木市立上依知小学校、平塚市立吉沢小学校、葉山町立長柄小学校	—	再掲	重点施策2
相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①232人 ②97人 ③200人 ④133人 ⑤173人	①2025年10月2日 ②2025年11月10日 ③2026年1月26日 ④2026年2月20日 ⑤2026年3月24日	①足柄高等学校 ②林中学校 ③二宮高等学校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲	重点施策2
かながわ民俗芸能祭	県内各地で活動中の県民俗芸能保存協会加盟団体等が一堂に介して、民俗伝統芸能を披露した。	地域に暮らす人々により受け継がれてきた踊りや芝居をまとめて鑑賞できるよう、県内3市町の伝統芸能を紹介した。	446人	2025年12月7日（日）	はまぎんホール ヴィアマーレ	—	再掲	重点施策2
038 中学校・高等学校の文化芸術に係る学校部活動の支援の実施								
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	536人	2025年8月6日、7日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	アンケートの集計結果は、講習会の評価について、「とても良かった：89.1%」「良かった：10.0%」と合わせて99.1%であった。	再掲	重点施策2
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、高校生のニーズに合う講師を迎え、講習内容を充実させた。	中学生：732人 高校生：402人	中学校：2025年8月2日、3日 高等学校：2025年7月26日、27日	青少年センター	—	再掲	重点施策2
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による舞台芸術の創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先進的なワークショッププログラムを実施した。	これまでのプログラムが演劇とダンスに限られていたが、伝統芸能に取り組む部活動を対象としたプログラムを初めて実施した。	戯曲づくり編：7人 人形芝居編：13人	戯曲づくり編(全5回) 2026年1月6日、12日、18日、25日、2月1日 人形芝居編： 2026年3月28日	戯曲づくり編： 青少年センター 人形芝居編： 茅ヶ崎市民文化会館小ホール	人形芝居編の参加者アンケートの集計結果は、「とても良かった」と「良かった」を合わせた回答率が100.0%であった。	再掲	重点施策2
中学校創作劇発表会	中学校を対象に、創作劇の発表会を実施した。	—	731人	2025年8月1日	青少年センター紅葉坂ホール	—	再掲	重点施策2
青少年ダンス発表会	表現芸術の充実と向上を図ることを目的に創作舞踊発表会を実施した。	各学校(団体)における日頃の取組の成果を発表する場を提供するという「発表会」の本래の趣旨に鑑み、講師による講評を行わないこととした。	2,077人	2025年11月1日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—	再掲	重点施策2
中・高等学校演劇発表会	中・高等学校を対象に、演劇の発表会を実施した。	—	中学生：1,314人 高校生：1,437人	中学校：2025年12月6日、7日 高等学校：2025年11月22日、23日	青少年センター紅葉坂ホール	—	再掲	重点施策2
演劇部お助け講座	中学校の演劇部を対象に、演劇部の底上げを図るためのワークショップを県内各地域で実施した。	中学校演劇部のニーズや演劇界の情勢などを考慮し講師を選定した。	中学生：203人	2025年12月20日、2026年1月17日、1月24日	横須賀市はまゆう会館、桐光学園、平塚市立江陽中学校	講師による講習や、他校との練習ができたことで、日頃の学内部活動では得られないものがあったという意見が多かった。	再掲	重点施策2
部活動インストラクター研修講座の実施	文化部和運動部の部活動インストラクターを対象とした研修講座を実施した。	講座を受講し、条件を満たしており、1年以上の指導実績があり、校長が認めれば、部活動の校外の活動について単独引率を可能としている。	文化部部活動インストラクター2人	2025年10月4日	県立スポーツセンター	—		重点施策2
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	—	45,135人	2025/10/25～2026/1/18	県内各所	—		重点施策2
039 県立高校における文化芸術の発展に寄与する人材の育成								
KAAT人材育成事業 教育機関連携事業 神奈川総合高等学校 夏季特別講座「応用舞台技術」2025	2021年度に新設された神奈川総合高校・舞台芸術科を対象とした講座を実施。教育課程カリキュラムの一環としたプログラムを提供した。	施設見学や芸術監督から直に話を聞くことで文化施設での業務全体を体験できるようにした。	①32人 ②27人 ③26人	2025年 ①7月29日(火)～31日(木) ②8月8日(金) ③10月20日(月)	KAAT神奈川芸術劇場(ホール、大スタジオほか)	—		重点施策2
KAAT人材育成事業 教育機関連携事業 東京都立中央ろう学校社会見学(施設見学)	東京都立中央ろう学校の生徒を対象とした大スタジオのバックステージツアーを手話通訳を交えて開催した。	手話通訳者を帯同し、使用する映像すべてに字幕を付けるとともに、聴覚障害のある参加者に配慮したツアー内容へ変更した。	30人	3月10日(火)	KAAT神奈川芸術劇場(大スタジオ)	—		重点施策2

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立高校における舞台芸術に関する学科の新設と支援	県立高校改革実施計画（Ⅱ期）に基づき、県立神奈川総合高校に舞台芸術科を設置。学科授業や発表会の視察および助言を行った。	アドバイザーボードを設置し、神奈川総合高等学校舞台芸術科の取組について継続的に支援を受ける仕組みを構築した。	協議会構成アドバイザーボード構成員3人、神奈川総合高等学校7人、高校教育課2人、計12人参加	2025年11月5日	神奈川総合高等学校	—		重点施策2
040芸術家等や文化芸術団体と連携した教育の実施								
文化芸術による子供育成推進事業	子どもたちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を周知し、ワークショップ等を体験する事により、子どもたちの豊かな想像力やコミュニケーション能力等を養い、文化芸術に対する知識および教養の向上を図った。	一方的に公演を行うだけでなく、児童・生徒と共演したり、実技指導をするなど、児童・生徒が芸術体験できるよう工夫している。	巡回公演事業：31校実施 派遣事業：27校実施 子供・夢・アート・アカデミー：3校実施	2025年6月～2026年2月	各学校の教室・体育館など	—		重点施策2
041学校と文化施設との連携の推進								
国立劇場「親子で楽しむ歌舞伎教室」の周知	（本県の取組） ・政令市を除く市町村教育委員会を通じて、公立小・中学校等にチラシを周知した。（イベントには直接関与していない。） （イベント内容） ・歌舞伎俳優が、歌舞伎の魅力や芝居の見どころなどを紹介 ・歌舞伎の鑑賞	—	把握していない	2025年7月17日～26日	ティアラこうとう大ホール	—		重点施策2
博物館施設における博物館学芸員実習、インターンシップの実施	（金沢文庫）学芸員資格の取得を目指す大学生・大学院生等を対象とした博物館実務実習、高校生インターンシップを実施した。 （歴史博物館）令和7年度は休館のため実績なし。例年は、学芸員資格の取得を目指す大学生等を支援する博物館実務実習、高校生インターンシップ、中学生職場体験を実施している。 （生命の星・地球博物館）学芸員資格を取得する大学生及び大学院生を対象に、実習生を受け入れている。また、高校生対象のインターンシップ、中学生対象の職場体験も実施している。	（金沢文庫）プログラムに可能な限り実習を多く組み込むことで、博物館実習ならではの学びの機会を提供した。高校生インターンシップでは、学芸員のみならず司書も携わり実施することで、博物館の仕事に触れ、学ぶ機会を提供している。 （歴史博物館）令和7年度は休館のため実績なし。 （生命の星・地球博物館）博物館実習では専門分野ごとに学生を割り振り、より専門的な実習が体験できるようにしている。インターンシップや職場体験では、専門性よりも博物館の仕事を幅広く体験できるようにしている。	（金沢文庫）博物館実習：6名 高校生インターンシップ：5名 （歴史博物館）令和7年度は休館のため実績なし。 （生命の星・地球博物館）博物館実習28名 博物館見学実習207名 インターンシップ6名 中学生職場体験：1校1人	（金沢文庫）2025年8月9～15日高校生インターンシップ：2025年8月8～10日 （歴史博物館）令和7年度は休館のため実績なし。 （生命の星・地球博物館）博物館実習は8月1日に全体実習を行い、8月から9月にかけて分野ごとに実習開催。インターンシップは8月30日。職場体験は1月23日に実施。	県立金沢文庫 生命の星・地球博物館	—		重点施策2
学校への出張授業、ワークショップの実施	（近代美術館）近隣の小学校を対象にオリジナル教材を使用したワークショップを実施 （歴史博物館）学芸員が講師となり県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に出張して講義をする「出張講座」を実施した。 （生命の星・地球博物館）ニーズに応じて出前授業を開催する。対象は小学校から大学まで、理科等の教科学習や総合的な学習に対応した内容となっている。	（近代美術館）オリジナルの教材などを用いて美術館への興味を高めた。 （歴史博物館）事前に学校側と打合せを行い、学校側の実施意図や要望を聴き取った上で実施した。 （生命の星・地球博物館）企画展「すなーふしぎをみつkeyよう」の開催にあたり、盲学校や特別支援学校、保育園での出前授業を行うことで展示手法に工夫し、よりインクルーシブな展示を目指した。	（近代美術館）113人 （歴史博物館）学校への出張講座：48件、3,914人 （生命の星・地球博物館）学校への出前授業：7件	（近代美術館）2025年11月18日、12月10日 （歴史博物館）通年（生命の星・地球博物館）2025年5月29日、10月27日、11月10日、15日、27日、12月12日、2026年2月25日、3月13日	（近代美術館）鎌倉市立御成小学校、葉山町立長柄小学校 （歴史博物館）湘南白百合学園中学・高等学校他 （生命の星・地球博物館）小田原市立矢作小学校、箱根町立箱根中学校他	—		重点施策2
042学校部活動の地域移行の検討								
学校部活動の地域移行の検討に係る取組	部活動の地域移行を推進すべく、次の取組を実施 ①神奈川県文化芸術振興審議会への情報提供 ②市町村へのヒアリング ③文化庁への財政的措置に係る要望 ④かながわ地域クラブ活動指導者データベースへの登録 ⑤部活動の地域移行に係る神奈川県の方針改定検討会議	様々な方法で県の取組を広く周知し、更なる地域移行の推進を図った。	—	①令和7年8月21日 ②令和7年12月5日 令和8年2月20日 令和8年3月13日 令和8年3月19日 ③令和8年3月に広域連携課に提出 ④随時 ⑤令和7年6月26日 令和7年8月26日	①大同生命横浜ビル13階 会議室4 ②電話 電話 川崎市役所 横浜市役所 ③電子メール ④データベースシステム ⑤大同生命横浜ビル13階 会議室4 新庁舎8階 第一会議室	—		重点施策2
(7)高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実 ア高齢者、障がい者等の文化芸術活動の充実								
043高齢者、障がい者等の創作活動の支援								
神奈川県文化芸術活動団体事業補助金	県内の文化芸術活動団体が行う事業に対して、公募により補助金を交付した。	2019年度から、「伝統芸能枠」「青少年枠」に「高齢者枠」、「障がい者枠」を設け、門戸を広げて募集を行っている。また、実地調査報告を公益財団法人神奈川芸術文化財団に一部委託し、専門的見地からの報告を行っている。	要望団体数：47件 助成団体数：27件 助成金交付額：7,968千円	交付申請書の提出期限：2025年2月17日～2025年3月17日（電子申請） 審査会：2025年4月10日 交付決定通知書の送付：2025年4月24日～6月5日	—	—	再掲	重点施策3

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績									
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策	
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：166件 助成団体数：68件 採択額：73,327千円 参加者数：79,658人 オンライン視聴者数：2,972人	1次募集： 2025年2月17日～3月17日募集、4月25日～8月21日交付決定 2次募集： 2025年6月10日～7月10日募集、8月28日～9月11日交付決定	—	—	再掲	重点施策3	
かながわシニア美術展	県内在住で1967年4月1日以前生まれ（2026年3月31日時点で59歳以上の者）のアマチュアを対象に、日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門で作品を公募し、入選作品を展示するとともに、優秀作品の表彰を行った。	今年度から会場の変更を行ったため、過去出品者や神奈川県老人クラブ連合会をはじめ、県内の高齢者団体、施設などに募集要綱やチラシを配布し周知に務めた。酷暑の影響を受け、開催時期を夏季から秋季に変更したことで、より多くの方に来場いただけるようにした。	応募者数：183人 出品者数：177人 入選者数：177人 総来場者数：697人	2025年11月27日～11月30日（出品展示期間）	鎌倉芸術館	—		重点施策3	
ライトセンター普及啓発事業	神奈川県ライトセンターにおいて、視覚障がい者同士の交歓活動となる文化クラブの場を提供した。	機関紙「ライトセンターだより」やホームページによる情報提供などで広い周知を行った。	621人	月1回～月3回（クラブ活動により異なる）	神奈川県ライトセンター	—		重点施策3	
神奈川県障害者社会参加推進センター事業（文化・芸術祭の開催）（県委託事業）	障がい当事者の文化的活動（絵画、工作、ダンス、合唱等）の発表を行う場を用意し、社会参加の推進を図った。	展示のレイアウト変更に臨機応変に対応したほか、舞台発表団体の立ち位置等の確認作業を入念に行った。	延べ290人	12月20日、21日	相模原市あじさい会館 ホール及び展示室	—		重点施策3	
障がい者芸術文化活動普及支援事業	「神奈川県障害者芸術文化活動支援センター」を設置（委託）し、相談支援事業やワークショップの実施・コーディネーターの養成等の人材育成事業等を行った。	ウェブサイトを作成し、センター主催イベント等について発信した。また、神奈川県障害者芸術文化活動支援センターだより」として、県内のイベントや公募の情報をウェブサイトやメーリングリストにて8回配信した。	相談件数：107件 研修等参加者数：延べ66人（全3回） ワークショップ実施事業参加者数：延べ277人（6箇所20回） 事業成果発表：16人（全1回）	相談：平日11時～17時 研修：①10月21日、②11月18日、③2月9日～2月24日 ワークショップ：①11月6日、11月27日、12月18日②11月25日、12月3日、12月17日③11月14日、12月8日、12月13日④7月30日、9月2日、12月2日⑤1月23日、2月12日⑥10月20日、11月17日、1月19日 ※日数は17日（回）となるが、1日2回実施した日があるため全20回計算 事業成果発表：3月19日	相談：横浜STビル 研修：①小田原三の丸ホール②都筑区民文化センター③オンラインでの動画公開 ワークショップ実施事業：障害福祉サービス事業所等 座談会：横浜ラポール 事業成果発表：横浜市開港記念会館1号室	—		重点施策3	
ともいきアートサポート事業（リース支援事業）	障害福祉サービス事業所の作品を知事執務室でリース展示した。	2～3か月ごとに展示替えを行った。	—	2025年4月～2026年3月	知事執務室	—		重点施策3	
044高齢者、障がい者等へのアウトリーチ等による体験活動の充実									
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,428人 再生回数：27,917回 公演等回数：58回	2025年4月～2026年3月	オンライン（動画）、横須賀市立青少年会館、小田原市生涯学習センターけやき、横浜にぎわい座、厚木市文化会館 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が92.7%となった。	再掲	重点施策3	
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,627人	2025年4月～2026年3月	各県営団地（10か所）	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施。	再掲	重点施策3	
神奈川県フィル学校出張コンサート	公益財団法人神奈川県フィルハーモニー管弦楽団が、県内特別支援学校や小学校、病院等を対象に、学校出張コンサートを実施した。	各楽器の音色の違いや特徴が分かるように楽器紹介のコーナーを設けた。	—	2025年4月～7月（26回実施）	県内の特別支援学校、小学校、中学校、病院	—	再掲	重点施策3	
楽絵ん祭2025	障がい児を対象とした音楽・紙芝居等の公演を行った。	地元保土ケ谷で活動を行っている団体と協働しながら運営を行った。	入場者：116人	2025年7月26日	かながわアートホール	—		重点施策3	
ともいきアートサポート事業（かながわともいきアート展）	県内に在住・在勤・在学している障がい者の方のアート作品の公募展を実施し、県内の多くの方がともいきアートに触れる機会を創出し、併せて障がいのある方も楽しめるイベント等を同時開催した。	作品を展示するだけではなく、誰でも参加し楽しむことができるワークショップを実施したり、声を出しながら鑑賞しても構わない会場を作ることで、障がいのある方や小さな子どもでも気軽に来場できるようにした。さらに、協賛企業を拡大し、各企業賞などを設けた。	展示作品数 約300作品 来場者数 約7,000人	2025年11月1日～11月9日	横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペース	—		重点施策3	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立近代美術館における「むすんでひらいてプロジェクト」事業（鑑賞および体験）	葉山町や逗子市など近隣の小・中学校の特別支援学級や留学生を対象にオリジナル教材を使用したワークショップ等を実施	学校見学などを事前に行い、クラスの要望に合わせて教材の提案を行った。	139人	2025年7月15日ほか	相模原支援学校、大楠中学校、横浜デザイン学院、葉山インターナショナルスクール、藤沢支援学校、近代美術館葉山館・鎌倉別館	—		重点施策 3
045文化芸術における共生社会の実現に向けた環境づくり								
KAATキッズ・プログラム2025<やさしい鑑賞会>「わたしたちをつなぐたび」	子ども向けの新作プログラムを年齢や障がいのありなしにかかわらず、みんなで楽しむことを目指した「やさしい鑑賞会」として実施した。	音量や照明を抑え、発声や途中入退場も可能とするなど、安心して鑑賞できる環境を整えたほか、フリーエリアを設け、多様な来場者に配慮した公演運営を行った。	64人	2026年3月29日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—	再掲	重点施策 3
KAAT人材育成事業 教育機関連携事業 東京都立中央ろう学校社会見学（施設見学）	東京都立中央ろう学校の生徒を対象とした大スタジオのバックステージツアーを手話通訳を交えて開催した。	手話通訳者を帯同し、使用する映像すべてに字幕を付けるとともに、聴覚障害のある参加者に配慮したツアー内容へ変更した。	30人	3月10日（火）	KAAT神奈川芸術劇場（大スタジオ）	—	再掲	重点施策 3
鑑賞サポート事業	音声ガイド、ヒアリンググループや字幕の設置、点字・拡大・反転文字プログラムやイヤマフ配布など、さまざまな鑑賞サポートの実施や、鑑賞形態のあり方を工夫し、芸術文化がより多くの人の心に届くよう、その間にある障壁を解消していく取り組みを行った。	これまでの鑑賞サポートに関する研究や知見の集積を生かし、3館での公演において効果的な鑑賞サポートを実施した。	502人（申し込みが必要なサポートの申込者数。申し込み不要なサポートは含まれない）	2025年4月～2026年3月（37事業）	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂等	—		重点施策 3
託児サービスの実施	県立文化施設にて開催する公演で託児サービスを実施した。	これまで指定管理者が託児サービスを設定できなかった公演のうち、利用が見込まれる36公演に託児サービスを設定した。	39人	2025年4月8日から2026年3月31日まで	①県民ホール神奈川芸術劇場 ②県立音楽堂 ③かながわアートホール	総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、回答者全員から「とても満足・やや満足」との回答があった。		重点施策 3
舞台芸術活用青少年支援事業	引きこもり等の課題を抱えた青少年を対象に舞台芸術が持つ特徴を活かしたワークショップを、横須賀市内で実施した。	フリースクール「いろうどり」に通う不登校の子ども達に適したプログラムをファシリテーター及び施設職員等と事前に調整して実施した。	3月26日：4人（小学生2、中学生1、高校生1） 3月30日：3人（小学生2、高校生1）	2026年3月26日、30日	県営津久井浜団地 徒歩0分図書館	参加者の子どもやフリースクールの関係者からは、新しい事を体験した事で、気づきも沢山あり、楽しかった。本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました、という感想が寄せられた。		重点施策 3
(I)文化芸術に関する交流の推進								
ア地域間交流の推進								
046他県との文化交流の推進								
国民文化祭	国民文化祭の開催県である沖縄県と連携し、参加団体へ国民文化祭の開催及び参加を周知した。	チラシやパンフレットの配架や県内市町村への周知を行い、参加者・来場者への広報に協力した。	—	各イベントによる	長崎県内	—		
開館70周年記念（本公演）音楽堂室内オペラ・シリーズ第7弾 濱田芳通&アントネットロ モンデヴェルディ オペラ『オルフェオ』新制作	音楽堂の音響や空間特性に最適な室内楽サイズのオペラ作品を、独自のプログラミングにより毎年開催していくシリーズ。今年度は日本を代表する古楽団体による、世界最古の本格的オペラの復刻新制作上演を行った。	兵庫県立芸術文化センターとの共同制作という形で全国的発信を行い、県内各地と連携した関連企画の実施など一連の取り組みに対して外部助成金を獲得した。	（本公演 2日間延べ） 1644人 （関連企画） ①814名/830名（館の催し全体） ②67人 ③112人 ④37人	（本公演） 2025年2月22日、23日（関連企画） ①2024年11月16日 ②2024年12月21日 ③2025年1月9日 ④2025年1月15日	（本公演） 音楽堂（関連企画） ①ひらしん平塚芸術文化ホール ②昭和音楽大学 ③杜のホールはしもと ④音楽堂ホワイエ	県内各地の施設と連携し、関連企画として、親子連れ、古楽初心者、音楽大学の学生といった多様な層に対する様々な関連企画を行った。	再掲	重点施策 2
ミュージカル「LAZARUS」	KAATが共同制作した新たな舞台芸術作品の新作公演を大阪で行った。	—	2508人	2025年6月28日（土）～29日（日）	フェスティバルホール	—	再掲	
KAATキッズ・プログラム2025「わたしたちをつなぐたび」	KAATが創作した子どものための公演を静岡で行った。	—	148人	2025年8月2日（土）～3日（日）	グランシップ中ホール・大地	—	再掲	
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」	KAATが創作した新たな舞台芸術作品の新作公演を富山、福岡、大阪の三か所で行った。	—	①1238人 ②1306人 ③3336人	2025年 ①10月12日（日）～13日（月・祝） ②10月25日（土）～26日（日） ③11月1日（土）～3日（月・祝）	①オーバード・ホール 大ホール ②J・COM北九州芸術劇場 中劇場 ③S k yシアター M B S	—		

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース「未練の幽霊と怪物―「珊瑚」「円山町」―	KAATが創作した新たな舞台芸術作品の新作公演を兵庫、新潟、京都の三か所で行った。	―	①758人 ②296人 ③856人	2026年 ①3月7日(土)～8日(日) ②3月15日(日) ③3月21日(土)～22日(日)	①兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール ②りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 劇場 ③ロームシアター京都 サウスホール	―		
県立金沢文庫における文化財の貸出、借入れ	金沢文庫での特別展の実施にあたり、他の博物館や社寺などから資料の借入れを行った。	―	―	―	―	他の博物館や社寺などからの借入れ：160点		
県立歴史博物館における収蔵資料の貸出	県外の博物館等の展覧会への収蔵資料の貸出を行った。	貸出先における展示環境等の把握に努め、より良い形で公開ができるよう貸出先と調整を行った。	―	―	―	工事休館中ではあったが、特別協力を行った東京国立近代美術館へ貸出を行った。		
県立生命の星・地球博物館における収蔵資料の貸出	収蔵資料について、学術目的や、教材や広報を目的とした利用の館外貸出を行う。	―	―	先方からのリクエストに応じて随時貸し出しを行う	―	―		
047学校教育における文化交流の推進								
全国高等学校総合文化祭への参加	全国高等学校総合文化祭への生徒派遣を通して、相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	―	全国高等学校総合文化祭・香川大会（開会式・専門部門26部門各会場、閉会式県内参加者数：のべ608人）	2025年7月26日～31日	あなぶきアリーナ 香川	―		
県高等学校総合文化祭の開催	県高等学校総合文化祭において、高校生等の相互交流・啓発、文化・芸術活動の一層の活性化を促進した。	―	45,135人	2025/10/25～2026/1/18	県内各所	―	再掲	
048県内の文化交流の推進								
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧twitter）を活用したツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。また、アニメーションを作成し、8カ所の駅構内のデジタルサイネージを活用して事業の周知を図った。	参加プログラム数：273件	―	県内全域	―		
市町村文化行政連絡会議	文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進するため、県内市町村と連携しながら取り組むことを目的とした会議を開催するもの。	県からの一方的な発信にならないよう、参加した全市町村からそれぞれの文化政策について発言をしていただき、情報共有を行っている。	32人	2026年2月13日	オンライン開催	―		
神奈川県民ホールがやってくる！どこでも音楽便	鎌倉市を含む相模湾沿岸地域で移動型ピアノを中心とした移動型の演奏イベントを実施した。	これまで文化芸術に関心の薄かった層や、県民ホールへの来場が難しかった地域の県民に鑑賞の機会を提供できるよう、移動型のイベントとした。	①534人 ②649人 ③2,457人	①2026年3月1日 ②2026年3月7日 ③2026年3月15日	①鎌倉宮 ②東大果樹園跡地 みらいはらっぱ ③大磯港内広場	―	再掲	
県立近代美術館における企画展の実施	国内外の近現代美術の調査研究に基づく、企画展を実施した。	―	入館者数 「上田義彦 いつも世界は遠く、」：28,713名	「上田義彦 いつも世界は遠く、」：7月19日～11月3日	近代美術館	―		
イ国際文化交流の推進								
049海外の文化芸術の公演・展覧会等の実施								
横浜国際舞台芸術ミーティング 2025（YPAM2025）	①＜YPAMフリンジ＞：日仏共同創作現代サーカス「DADDA」2025横浜版 ②＜YPAMショーケース＞：ジェローム・ベル「ジェローム・ベル」 ③＜YPAMフリンジ＞：中村蓉（ヨウ） 新作開発共遊会 Vol.2 ④＜YPAMフリンジ＞：ヨコハマダンスコレクション2025梅田 宏明「Movers Platform JP2」 ⑤＜YPAMショーケース＞：アン・ウンミ・カンバニー「北朝鮮ダンス」 ⑥＜YPAMフリンジ＞：Mirai Circus Network「日本現代サーカスネットワークMirai Circus Networkショーケース」 ⑦＜YPAMショーケース＞：シュウ・ジャウエイ+チャン・ティント「浪のしたにも都のさぶらふぞ」 ⑧＜YPAMショーケース＞：アレックスサンドロ・シャッローニ「ある風景の中で」 ⑨＜YPAMショーケース＞：ヨコハマダンスコレクション2025クラウド・ゲイト・ダンスシアター（雲門舞集）「WAVES」	舞台芸術に係るプロフェッショナルが公演・ディスカッション・ワークショップ等の多彩なプログラムを通じて、情報交換・相互学習・ネットワークの構築の場を提供した。	①270人 ②312人 ③60人 ④100人 ⑤445人 ⑥110人 ⑦265人 ⑧255人 ⑨725人	2025年 ①12月5日(金)～7日(日) ②12月5日(金)～7日(日) ③12月6日(土) ④12月7日(日) ⑤12月8日(月) ⑥12月10日(水) ⑦12月12日(金)～13日(土) ⑧12月12日(金)～13日(土) ⑨12月13日(土)	KAAT神奈川芸術劇場	―		重点施策 4

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAAT DANCE SERIES 「CARCAÇA - カルカサー」	新たな舞台芸術作品を創造し、新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組んだ。施設の特徴を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	833人	2025年10月24日(金)～25日(土)	KAAT神奈川芸術劇場 (ホール)	—		重点施策 4
(共催) 舞踊劇 「舞、朝鮮通信使 柳馬図を描く」	海外のカンパニーにKAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、上演会場の提供を行った。	—	494人	2025年7月19日(土)～20日(日)	KAAT神奈川芸術劇場 (ホール)	—	再掲	重点施策 4
(共催) ネザーランド・ダンス・シアター (NDT 2) 来日公演 2025	海外のカンパニーにKAAT神奈川芸術劇場にて公演する機会をつくり、上演会場の提供を行った。	—	2096人	2025年11月21日(金)～22日(土)	KAAT神奈川芸術劇場 (ホール)	—	再掲	重点施策 4
音楽堂ヘリテージ・コンサート ①ジャン＝エフラム・バヴゼ ピアノ・リサイタル ②ナタリー・デセイ&フィリップ・カサール デュオ・リサイタル	音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、開館以来音楽堂が実施してきた人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による室内楽公演シリーズを実施した。	音楽堂初登場の演奏家や新作作品等に重点を置き、音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	①559 ②583	①2025年10月11日(土) ②2025年11月2日(日)	音楽堂ホール	フランスを代表するピアニスト、声楽家を招聘し、セット券による販売促進を行った。関連企画として「街なかトークカフェ」を実施した。	再掲	重点施策 4
音楽堂ヘリテージ・コンサート	音楽堂のブランドイメージ構築に対応し、開館以来音楽堂が実施してきた人類の至宝といえる世界的レベルの演奏家による室内楽公演シリーズを実施した。 ①ジャン＝エフラム・バヴゼ ピアノ・リサイタル ②ナタリー・デセイ&フィリップ・カサール デュオ・リサイタル	音楽堂初登場の演奏家や新作作品等に重点を置き、音楽堂オリジナルのプログラムによる上質な公演・企画の実施に留意した。	①559 ②583	①2025年10月11日(土) ②2025年11月2日(日)	音楽堂ホール	フランスを代表するピアニスト、声楽家を招聘し、セット券による販売促進を行った。関連企画として「街なかトークカフェ」を実施した。	再掲	重点施策 4
カナガワビエンナーレ国際児童画展	次代を担う子どもたちの夢と創造力を育み、絵画を通じてお互いの生活や文化を理解し、交流を深めるふれあいの場となることを目的として、昭和56年(1981年)から隔年で開催している(応募資格：満4歳以上15歳以下。テーマは自由。)	広く世界各地から作品を募集し、また受賞作品の地球市民かながわプラザでの展覧会や巡回展等を行った。	①第23回カナガワビエンナーレ国際児童画展 5,505人 ②第23回カナガワビエンナーレ国際児童画展巡回展(県内13会場) 26,245人	①2025年7月20日～8月31日 ②2025年9月9日～2024年3月29日	地球市民かながわプラザ等	—		重点施策 4
050海外との文化交流の推進								
KAAT×TJP (ストラスブール・グランテステ国立演劇センター) 「ダンスマラソンエクスプレス(横浜⇄花巻)」	日仏の国際共同制作によりKAATで制作した新作舞台作品をフランスで上演した。	—	①1372人 ②626人 ③249人	2025年 ①10月3日(金)～11日(土) ②10月15日(水)～16日(木) ③10月17日(金)	①フランス ストラスブール TJP Centre Dramatique National de Strasbourg-Grand Est ②フランス ルーアン CDN DE NORMANDIE - ROUEN, LES ANGES AU PLAFOND ③フランス ヴェアルドルリュ Théâtre De L' Arsenal	—		重点施策 4
ベトナム文化等交流事業	「ベトナムフェスタ in 神奈川2025」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2025」を開催した。	「ベトナムフェスタ in 神奈川2025」及び「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI 2025」に来場されるすべての方に、ベトナム及び神奈川や日本の魅力を広範に伝え、両国の交流を深めるコンテンツを実施した。	ベトナムフェスタ 約21万人 KANAGAWA FESTIVAL 約9.5万人	ベトナムフェスタ 2025年9月13日～14日 KANAGAWA FESTIVAL 2025年11月15日～16日	「ベトナムフェスタ in 神奈川2025」 日本大通り、神奈川県庁、象の鼻パーク等 「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI2025」 ハノイ市・統一公園前広場及びチャン・ニャン・トン通り	—		重点施策 4

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
友好県省道 交流会議	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の3地域で、2年ごとに各地持ち回りで開催し、共通課題や文化交流等の促進について議論を行い、課題解決のために連携・協力し、ネットワークの形成を図る。	7年ぶりに本県で開催されることに伴い、意識合わせのために事前に3地域の担当レベルでオンライン会議を実施するなど、各地域と緊密に連携を取りながら事業を実施した。	22人	2025年10月29日	ヨコハマグランド インターコンチネ ンタルホテル	—		重点施策 4
三県省道ス ポーツ交流 事業	神奈川県、中国・遼寧省、韓国・京畿道の青少年によるスポーツの親善試合や交流事業を行うことにより、青少年に国際交流の機会を提供し、相互理解を深めるとともに、国際性豊かな青少年の人材育成を図る。	友好提携を結んでいる各地域と連携し事業を実施した。また、中国・韓国の語学や歴史に関する事前学習会を通して、滞在中の不安要素を軽減したり、青少年の交流が活発に行えるように工夫した。	153人	2025年 8 月25日～29日	中国・遼寧省	—		重点施策 4
051多言語による情報発信								
マグカル・ ドット・ ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。 併せて、X（旧Twitter）等のSNSにおいても情報発信を行った。 また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2025年度 PV（ページビュー） 数 584, 584	通年	インターネット上	—	再掲	
イベントカ レンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎号特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数 260, 000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—	再掲	
外国籍県民 施策推進事 業費	多言語による県民情報提供	より適切な表現になるよう多言語の翻訳チェックや多言語での情報提供を推進し、外国籍県民への情報提供を実施した。	—	年間随時	ホームページ上	—		
外国語観光 情報ウェブ サイト多言 語化・運用 管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Visit Kanagawa-The Official Kanagawa Travel Guide-」（旧「Tokyo Day Trip —Kanagawa Travel Info-」）から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Visit Kanagawa-The Official Kanagawa Travel Guide-」（旧「Tokyo Day Trip —Kanagawa Travel Info-」）と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	再掲	
英語版等 ホームペー ジによる情 報発信	川崎図書館と近代美術館、歴史博物館のホームページにおいて、英語版等による利用案内、展覧会情報等の情報発信を行っている。	—	—	通年	—	—		
ウ多文化理解の推進								
052多文化理解を推進するためのイベントや講座の実施								
共生共創事 業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8, 428人 再生回数：27, 917回 公演等回数：58回	2025年4月～2026年3月	オンライン（動画）、横須賀市立青少年会館、小田原市生涯学習センターけやき、横浜にぎわい座、厚木市文化会館 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が92.7%となった。	再掲	重点施策 4
日本語支援 拠点施設ひ まわり ア ウトリーチ	来日間もない外国にルーツを持つ子どもたちに、日本語を教える施設、日本語支援拠点施設ひまわりで、生演奏を含めた言葉に頼らず音楽の楽しさを伝えるプログラムを打ち出した。	極力言葉での説明を減らし、やさしい日本語や映像、ジェスチャーなどを用いて、音楽と出会うことを軸にしたプログラムを組んだ。小学生から中学生までの児童生徒を対象に、問いかけをしたり、ことばを復唱してもらったり、一緒に体を動かしたりしながら、一方通行の鑑賞に留まらない体験型の音楽鑑賞会となった。	32	2025年7月4日（金）	日本語支援拠点施設ひまわり	—	再掲	重点施策 4

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
あーすフェスタかながわ2025	多様な国籍文化や民俗の違いを理解し、認め合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、「あーすフェスタかながわ2025」を開催した。	昨年度に引き続き、2日間、県立地球市民かながわプラザにて、地元の楽区や団体から協力を得ながら、様々な多文化共生に関連する企画を実施した。	約1.6万人	2025年11月29日、30日	地球市民かながわプラザ	アンケートの結果、約89.6%の人が「とてもたのしかった」「たのしかった」と回答している。		重点施策4
地球市民かながわプラザ指定管理事業（学習センター事業 情報・相談センター事業 サポート・ネットワーク事業）	多文化共生の地域社会づくりに向け、多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザにおいて、展示学習などの学習センター事業、映像・図書資料の収集提供や外国籍県民相談等の情報・相談センター事業やNPO等活動支援などのサポート・ネットワーク事業等を実施した。	指定管理により、子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく遊べるプログラムを実施する展示学習事業や大人も対象とした企画展及び関連イベントをバランスよく実施し、また校外学習の受入れ等を行った。	449,368人	2025年4月1日～2026年3月31日	地球市民かながわプラザ	—		重点施策4
アフリカフェア	令和7年8月に横浜で開催された、第9回アフリカ開発会議に向けた機運醸成や、県民の皆様のアフリカへの理解促進を図るため、アフリカ音楽の演奏やアフリカ文化体験のワークショップ、アフリカ開発会議の紹介パネルの展示を行うイベントを実施した。	会場をショッピングモールの入口付近に置くことにより、幅広い層に参加してもらうことができた。	—	2025年7月5日	イオンモール大和	—		重点施策4
053国際交流関係団体との連携による留学生との交流を図る取組の推進								
高等学校等多文化理解推進事業	青少年世代が多様な文化や言語を持つ人たちとより密接にかかわり共生してゆくため、多文化共生について学ぶ授業、講演会等を実施した。	講演だけではなく、ワークショップなど、より理解を深められる手法を検討し実施している。	15校（2,458人）	2025年6月～2025年12月	県内高校（15校）	—		重点施策4
青少年国際交流セミナー等開催事業①	多文化共生社会を担う青少年世代に自発的、主体的な学びの場を提供するための宿泊セミナーを開催した。	グループディスカッション等を通じて、共通の関心を持つ他校の高校生世代と意見交換しながら、共に学ぶ場を作った。	20人	2025年12月13日～14日	湘南国際村センター	—		重点施策4
青少年国際交流セミナー等開催事業②	多文化共生社会の実現をけん引できるリーダー的人材育成のため、大学生や若手社会人等を対象に、市民による多文化共生活動への理解を深めるためのセミナーを実施した。	難民の方々と一緒に調理や食事をして交流した後、施設の見学や質疑応答を行い、センターで生活している難民の方々が複雑な事情を抱えていることを学んだ。	17人	2025年8月2日	認定NPO法人アルペなんみんセンター	—		重点施策4
(2) 創造的活動等の推進								
ア創造的活動の推進と発信								
054県立文化施設による新たな舞台芸術作品等の創造・発信								
劇場が常に考える場・豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエーションのアイディアをカイハツするプロジェクト「カイハツ」	①戯曲カイハツ：如月小春「MORAL」を読む会 ②企画・人材カイハツ：「子連れOK!新しい表現を探す旅」 ③戯曲カイハツ：ステファノ・マッシーニ「我が闘争」を読む会 ④企画・人材カイハツ：「振付としてみる、西洋芸術音楽のプレイヤーたち」 ⑤企画・人材カイハツ：「上演そのものを問題化する戯曲を起点に、創作と権力の関係を再考する」 ⑥戯曲カイハツ：如月小春「工場物語 - The Factory Romance (少女と犬) 型都市を記述する試み・PartⅡ」を読む会 ⑦創作プロセスカイハツ：兼島拓也新作書下ろしリサーチ1 ⑧戯曲カイハツ：ファルク・リヒター「非常事態」を読む会 ⑨戯曲カイハツ：ステファノ・マッシーニ「夢判断」を読む会 ⑩創作プロセスカイハツ：兼島拓也新作書下ろしリサーチ2 ⑪戯曲カイハツ：リン・ノッテージ「SWEAT」を読む会 ⑫創作プロセスカイハツ：兼島拓也新作読み合わせ	新たな表現の実験、ジャンルを横断したアーティストの交流、様々な情報の収集などを目的に、「企画・人材カイハツ」「戯曲カイハツ」「創作プロセスカイハツ」の3つの活動を軸にして、劇場の創作活動の核を育てていくことを目指した。	①6人 ②14人 ③13人 ④15人 ⑤22人 ⑥10人 ⑦2人 ⑧7人 ⑨15人 ⑩1人 ⑪13人 ⑫17人	2025年 ①5月13日(火) ②7月7日(月)～12日(土) ③7月23日(水) ④8月23日(土)、9月1日(月)～5日(金) ⑤8月25日(月)～30日(土) ⑥9月19日(金) ⑦10月14日(火)～17日(金) ⑧11月20日(木) 2026年 ⑨1月19日(月) ⑩2月17日(火)～19日(木) ⑪3月6日(金) ⑫3月10日(火)	KAAT神奈川芸術劇場 (大スタジオ、中スタジオ、アトリエほか)	劇場ホームページにおいて、この取組と実施内容について広報を行った。	再掲	
KAATアトリウムプロジェクト	メインシーズン「虹～RAINBOW～」への架け橋となるテーマを据えた空間デザインを劇場のアトリウムに施した。	公演にご来場の方々だけでなく、どなたでも気軽に劇場やアートに出会える機会を創出した。	—	2025年4月24日(木)～6月14日(土)	KAAT神奈川芸術劇場(アトリウム)	<関連企画> 6月1日(日)、7日(土)、8日(日)、14日(土)パフォーマンス	再掲	
<KAAT神奈川芸術劇場 開館15周年記念イベント> トークセッション「ひらかれた劇場をめざして」	開館15年を迎える記念日に、劇場にゆかりのあるゲストをお迎えしたトークイベントを開催した。	全編を通して手話通訳付きで開催し、耳の聴こえづらいお客様にも配慮したイベントとなった。また、KAATオリジナルグッズも作成・販売した。	120人	2026年1月11日(日)	KAAT神奈川芸術劇場(アトリウム)	—	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAAT DANCE SERIES 「CARACA - カルカサー」	新たな舞台芸術作品を創造し、新作公演を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組んだ。施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	833人	2025年10月24日(金)～25日(土)	KAAT神奈川芸術劇場 (ホール)	—	再掲	
ミュージカル 「LAZARUS」	デヴィッド・ボウイの遺作ともなったミュージカル「LAZARUS-ラザルス-」を日本で初めて上演した。音楽パートはデヴィッド・ボウイの遺志を尊重し英語で歌唱した。	開幕後もWEBやTVでの広告を展開したり、アフタートークショーを組むなど、集客に努めた。	9927人	2025年5月31日(土)～6月14日(土)	KAAT神奈川芸術劇場 (ホール)	大阪府での巡回公演を行った。	再掲	
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 「最後のドン・キホーテ THE LAST REMAKE of Don Quixote」	ケラリーノ・サンドロヴィッチが約6年ぶりにKAATで新作を上演し、「ドン・キホーテ」を原作に新たな冒険譚を書き下ろした演劇公演を実施した。	各セクションが高いパフォーマンスを実現することで、芸術的価値を獲得しながら、大衆性も兼ね備えた作品を創りあげた。	10309人	2025年9月14日(日)～10月4日(土)	KAAT神奈川芸術劇場 (ホール)	富山県、福岡県、大阪府での巡回公演を行った。	再掲	
KAAT×城山羊の会 「勝手に唾が出てくる甘さ」	城山羊の会とKAATが再びタッグを組み、山内ケンジによる新作戯曲を上演した。	—	4192人	2026年11月14日(金)～30日(日)	KAAT神奈川芸術劇場 (大スタジオ)	—	再掲	
KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 未練の幽霊と怪物—「珊瑚」 「円山町」 —	演劇作家の岡田利規が能のフォーマットを応用し、ついに「夢」を幻視する、レクイエムとしての音楽劇を上演した。	今回は現代劇としてユニークな方法を、より深化させて最先端の表現を追求した。	3395人	2026年2月13日(金)～3月1日(日)	KAAT神奈川芸術劇場 (大スタジオ)	兵庫県、新潟県、京都府で巡回公演を行った。	再掲	
KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト 第三弾 「冒険者たち ～JOURNEY TO THE WEST～」 「帰ってきた冒険者たち ～闇に落ちたカナガワを救え！～」	<ひらかれた劇場>を目指し、より多くの県民に向けて、KAATで創作した作品を神奈川県内各地で巡演する「KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト」第三弾を上演。	再演作品とその続編の2作品を同時に上演するという、レポートリーを持てる劇場ならではの企画を実施した。	2700人	2026年2月11日(水・祝)～23日(月・祝)	KAAT神奈川芸術劇場 (中スタジオ)	神奈川県内五カ所で巡回公演を行った。	再掲	
開館70周年記念(本公演・関連企画)	音楽堂の音響や空間特性に最適な室内楽サイズのおペラ作品を、独自のプログラミングにより毎年開催していくシリーズ。今年度は日本を代表する古楽団体による、世界最古の本格的オペラの復刻新制作上演を行った。 (本公演) 音楽堂室内オペラ・シリーズ第7弾 濱田芳通&アントネッロ モンテヴェルディ オペラ『オルフェオ』新制作 (関連企画) ①400年前の音楽に出会おう！リコーダーワークショップ ②昭和音楽大学公開講座「古楽の音楽づくりを体験する」 ③オペラ『オルフェオ』を読み解くワークショップ～バロックオペラへの誘い～ ④街なかトークカフェ「オペラ界きっての売れっ子！オルフェオの魅力さを語る	兵庫県立芸術文化センターとの共同制作という形で全国的発信を行い、県内各地と連携した関連企画の実施など一連の取り組みに対して外部助成金を獲得した。	(本公演 2日間延べ) 1644人 (関連企画) ①814名/830名(館の催し全体) ②67人 ③112人 ④37人	(本公演) 2025年2月22日、23日 (関連企画) ①2024年11月16日 ②2024年12月21日 ③2025年1月9日 ④2025年1月15日	(本公演) 音楽堂 (関連企画) ①ひらしん平塚芸術文化ホール ②昭和音楽大学 ③杜のホールはしもと ④音楽堂ホワイエ	県内各地の施設と連携し、関連企画として、親子連れ、古楽初心者、音楽大学の学生といった多様な層に対する様々な関連企画を行った。	再掲	
055文化芸術団体や民間企業・芸術系大学等との連携による新たな文化芸術の創造・発信								
神奈川芸術劇場における新たな舞台芸術作品の創造や新作公演の実施	新たな舞台芸術作品の創造や新作公演、アトリウムでの現代美術の展覧会を実施した。	気鋭のアーティストを起用し、また国内外の優れた制作者との共同制作公演にも積極的に取り組み、施設の特性を生かした舞台芸術や現代美術の創造・発信を行った。	30,165人	10演目(102公演)・3企画(3回)・1展覧会	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
さがみはら リニアフェス 加公演 地下交響 （ちかこう きょう）～ Echoes of The Earth	リニア中央新幹線の開通による 神奈川の発展とリニア中央新幹 線の安全を祈念するコンサート。 神奈川出身のオペラ歌手2名と トロンボーン演奏者4名によるクラ シックの有名曲をはじめ、未来を 切り拓く現代作品も披露。地下の 特設ステージから天空に向けて歌 唱・演奏を行い、来場者は地上から 耳で鑑賞いただいた。	会場の反響を踏まえた楽器の選 定・選曲をし、聴きごたえのある 演奏をお届けした。	1000（2回公演）	2025年10月25日（土）	リニア中央新幹線「神奈川県駅 （仮称）」新設工事現場内 地下 ステージ	—	再掲	
マグカル展 開促進補助 金	県が推進する「マグカル」の展 開促進のため、民間団体が行う文 化芸術の新たな事業に要する経費 に対し、予算の範囲内において補 助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、 ただし重点事業は特に展開を促 進するため、補助率及び上限額の特 認を設けた。	要望団体数：166件 助成団体数：68件 採択額：73,327千円 参加者数：79,658人 オンライン視聴者数：2,972人	1次募集：2025年2月17日～3月17日 募集、4月25日～8月21日交付 決定 2次募集：2025年6月10日～7月10 日募集、8月28日～9月11日交付 決定	—	—	再掲	
(3)文化資源の活用								
ア文化資源を活用した地域の活性化								
056伝統的な芸能や伝統工芸などの地域に伝承されてきた文化資源の発掘・発信・体験の促進								
日本舞踊に 学ぶ’和’ の作法	小・中学生を対象に、着物の着 方の練習、日本舞踊を体験する ワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横 浜会場を午前・午後の2回実施と し、より多くの方に参加してもら った。	①33人 ②9人 ③41人	①2025年7月24日（木）・25日（金） ②2025年8月2日（土）・3日（日） ③2025年8月11日（月）・12日（火）	①横須賀市文化会館 ②タウンニュースビル ③県立青少年センター	ワークショップの満足度を聞いたアンケートの結果、134名（保護者を含めた回答者数135名のうち）から「とてもよかった・よかった」との回答があった。	再掲	
相模人形芝 居学校交流 ワーク ショップ	高等学校等において、伝統芸能 への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演を行うワーク ショップを行った。	公演に加え、座の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①232人 ②97人 ③200人 ④133人 ⑤173人	①2025年10月2日 ②2025年11月10日 ③2026年1月26日 ④2026年2月20日 ⑤2026年3月24日	①足柄高等学校 ②林中学校 ③二宮高等学校 ④神明中学校 ⑤中央農業高等学校	—	再掲	
能楽ワーク ショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①7人 ②17人 ③11人	①2025年8月14日（木） ②2025年8月17日（日） ③2026年1月31日（土）	①サン・エールさがみはら がみはらあつぎ郷土博物館 ③青少年センター練習室	—	再掲	
かながわの 太鼓	神奈川県太鼓連合加盟9団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	—	552人	2025年11月24日	県立青少年センター	—	再掲	
カナガワ リ・古典ブ ロジェクト in 横須賀	三浦半島の様々な暮らしにスポットを当て、地域で受け継がれてきた伝統芸能の公演を「海洋都市横須賀」を舞台に実施した。また公演に先駆け小・中学生を対象に、三浦半島の民俗芸能の魅力を感じてワーク ショップを開催した。	ホール公演会場への誘客として、横須賀中央駅前の商業施設で伝統芸能のミニ公演を行った。また、伝統芸能の歌詞や説明を記した詞章を制作して配布する等、初めて三浦半島の伝統芸能に触れる方にも親しみやすく、また家に持ち帰ってからも楽しんでいたような工夫を行った。	・ホール公演576名 ・屋外公演（モアーズシティミニステージ）54名 ・民俗芸能ワークショップ20名（参加者10名、同伴者10名） ・日本舞踊ワークショップ3名（参加者2名、同伴者1名）	2025年11月23日 民俗芸能ワークショップ 2025年12月6日 ホール公演 他	横須賀市文化会館、横須賀市産業交流センター 他	—	再掲	
かながわ伝 統文化こども 歳時記	青少年センターの施設全体を使い、子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・月明かりに照らされた森の広場の盆踊りをイメージしたホールの客席空間やホワイエに設置した芝居小屋「もみじ座」、会場装飾など、ワクワクしたお祭り空間となるような設えを心掛けた。 ・Web広報やSNSを活用した広報を心掛けた。	1,162人	メインプログラム：2025年10月29日 伝統芸能ワークショップ：1月10～12日（講談・箏曲）、12月20日・26日（手裏）	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	来場者アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると95.8%にのぼった。また、伝統芸能ワークショップ及び「こどもスタッフ」参加者に絞ったアンケートでは100%に達した。	再掲	
県立歴史博物館における特別展の実施	（工事休館中のため実績なし）	（工事休館中のため実績なし）	（工事休館中のため実績なし）	（工事休館中のため実績なし）	（工事休館中のため実績なし）	（工事休館中のため実績なし）	再掲	
県立生命の星・地球博物館における特別展の実施	テーマに沿った常設展示と、常設展示を補完する特別展（年1回）、企画展（年1回）、ミニ企画展示を通じて、資料収集、調査研究の成果を、県民をはじめとする利用者に広く伝える。	令和7年度の特別展「初三郎式、かながわの描き方-地形表現の科学-」及び企画展「自然史アーカイブズをひらく」を開催。	特別展観覧者数25,601人、企画展観覧者数2,345人。	特別展「初三郎式、かながわの描き方-地形表現の科学-」令和7年7月19日～11月9日 企画展「自然史アーカイブズをひらく」令和8年2月21日～5月10日	生命の星・地球博物館特別展示室	ミニ企画展示「友の会の皆さまとともに～学芸員や私たちといっしょに背全を楽しみませんか～」・「自然史の「記録」をひもとく」・「匠の技-恐竜の歯のレプリカ工房-」・「消える魚たち」・「STOP！クリハラリス 特定外来生物の分布拡大を止めるために」・「押し葉標本が紡ぐ物語-神奈川県立西湘高等学校寄贈標本展示-」・「台7回箱根ジオパークフォトコンテスト作品展」で館蔵資料を展示し、紹介した。		
民俗芸能調査事業費	地域の貴重な民俗芸能が失われないよう、「牛込の獅子舞」をはじめ、県内に伝承される「一人立ち三匹獅子舞」について、歴史や芸能の特徴等の記録保存調査を行った。令和7年度から調査を開始し、令和9年度に報告書を刊行する予定である。	県内の「一人立ち三匹獅子舞」について、伝承組織や祭礼日等、基礎的な情報の収集・整理を行った。また、現在には使われていない獅子頭についても計測・撮影を実施した。	調査員6人	現地調査・文献調査2025年5月5日ほか48回	横浜市青葉区あざみ野、川崎市多摩区菅北浦ほか	—	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
関東ブロック伝統的工芸品祭 銀座展2025	関東甲信越静地区の伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行うもの。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	関東ブロック11産地出展	2025年12月17日から19日まで	浅草神社参道	神奈川県は3産地組合とも不参加。		
伝統的工芸品祭 銀座 名匠市	大消費地での全国伝統的工芸品展に伝統的工芸品産業（産地）従事者が出展するための支援を行った。	県のより多くの伝統的工芸品（箱根寄木細工、小田原漆器、鎌倉彫 計3品）を周知するため、産地組合を通じ、各産地すべてに参加を促した。	来場者数 ・阪急うめだ：9.9万人 ・松屋銀座：26,009人	阪急うめだ：2025年9月10日から15日まで 松屋銀座：2026年2月18日から23日まで	阪急うめだ 松屋銀座	—		
工芸技術所 所内公開と寄木ストラップ作り	かながわサイエンスサマーの参加行事として、工芸技術所の所蔵品を専門員の解説付きで案内するとともに、寄木ストラップ作りの体験を行った。	地元広報誌での情報掲載や、地元小学校への個別広報等、広く周知活動を行った。	来場者数：70人	2025年8月7日	中小企業支援課小田原駐在事務所	—		
工芸技術所 所蔵品公開	11月の伝統的工芸品月間に合わせ、所蔵する伝統工芸品を専門員の解説付きで公開するとともに、かながわ県民センターにおいて伝統工芸品の小展示を行った。	県のたよりや、地元広報誌での情報掲載等、広く周知活動を行った。	来場者数：27人（中小企業支援課小田原駐在事務所会場）	2025年11月19日、26日、12月3日（中小企業支援課小田原駐在事務所会場） 2025年10月31日から11月10日まで（かながわ県民センター会場）	中小企業支援課小田原駐在事務所及びかながわ県民センター	—		
伝統的工芸品と宿泊事業者とのマッチング事業	有名宿泊施設と連携して、本県の伝統的工芸品を宿泊施設にて展示・販売した。	有名宿泊施設と本県の伝統的工芸品産地との連携を構築した。	ロビーでの展示であるため、来場者数不明	2026年1月8日から3月3日	ホテル椿山荘東京	—		
無形民俗文化財及び民俗行事等の情報提供	神奈川県無形民俗文化財及び民俗行事等の催行日時の情報をホームページに掲載した。	—	ページビュー数：1,631件	—	—	「民俗芸能記録保存調査（一人立ち三匹獅子舞）」の調査を実施した。	再掲	
057文化資源を活用した文化観光の促進								
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信した。	美術館等のスポット情報を掲載する。 トップページ等にてイベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOW」をリンクさせる。	—	通年	—	—		重点施策 4
フィルムコミッション活動支援事業	神奈川ロケーションサポートデスクの設置（制作会社からの問合せに対して、お薦めロケ地のPRや、フィルムコミッションの紹介、市町村との調整などの機能を担う。）	公益社団法人神奈川県観光協会の実施する各種観光プロモーション事業と効果的かつ一体的に実施するため、2018年4月から同協会に神奈川ロケーションサポートデスク事業を移管。	神奈川ロケーションサポートデスクへの問い合わせ件数…141件	通年	（公社）神奈川県観光協会	—		重点施策 4
前川建築見学ツアーin音楽堂	ボランティアグループbridgeと協働し、音楽堂の見学ツアーを定期的に実施した。	全4回の実施の内1回を高齢者や障がいをお持ちの方にもお楽しみいただけるよう「手話通訳等の鑑賞サポート付きツアー」として開催した。	①38／20 ②16／12 ③61 ④37	①2025年5月16日（金） ②2025年7月30日（水） ③2025年12月11日（木） ④2026年2月17日（火）	音楽堂	“すべての人に開かれた音楽堂”を目指し、年齢や障がい、国籍などにかかわらず、多くの方に音楽堂を知り楽しんでいただくために鑑賞サポート付きツアーを実施した。		重点施策 4
音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーの5館の連携事業	5館共同で「まいらさんぽマップ」の発行、「まいらんスタンプラリー ～アートな春巡り～」を開催し、地域の回遊を促進したほか、県立青少年センターの「子どもフェスティバル」ではブースを設け、クイズや展示などを行った。	通年の取り組みとして5館をとりまく紅葉ヶ丘地域全体の魅力や歴史を伝える「まいらさんぽマップ」作成し、音楽堂をはじめ5館や横浜市内観光施設等に配架した。	—	通年	音楽堂、県立図書館、県立青少年センター、横浜能楽堂、横浜市民ギャラリーほか周辺地域	イベント広報にあたり、横浜市区役所、伊勢山皇大神宮等地域の様々な組織の協力を得ることで地域ネットワークの強化ができた。		重点施策 4
KAATフレンドシッププログラム	街の一部である劇場、またあらゆる人々に「ひらかれた」劇場を目指し、外を歩く人々からも中を見渡せるKAATのアトリウムを会場として、演劇・音楽・ダンス・現代美術・トークイベント等を開催。 ①「みんなのKAAT バックステージツアー」 ②「みんなのKAAT やさしいバックステージツアー」 ③「KAATマルシェ」 ④「KIDS RUNWAY」 ⑤オペラシアターこんにくや座公演 オペラ「変身」（関連企画）ミニコンサート ⑥「横浜中華街 2026横浜春節祭 ランタンオブジェ展示」 ⑦国立劇場主催令和8年2月文楽公演プレイベント 文楽へようこそ@横浜 ⑧世界を知ろう、全国を知ろう、こども若者お国自慢大会 Kodomonomachi for Green x EXPO 2027	—	①223人 ②9人 ③2250人 ④53人 ⑤340 ⑥— ⑦120人 ⑧300人	2025年 ①5月18日（日）、6月30日（月）、9月1日（月）、9月30日（火）、10月26日（日）、11月26日（水）、12月4日（木）、2026年2月1日（日）、3月6日（金） ②10月26日（日） ③5月24日（土）～25日（日）、7月26日（土）～27日（日）、11月15日（土）～16日（日） ④8月15日（金） ⑤9月20日（土）～23日（火・祝） 2026年 ⑥1月20日（火）～3月4日（水） ⑦2月8日（日） ⑧2月28日（土）～3月1日（日）	KAAT神奈川芸術劇場（アトリウム）	③＜関連企画＞ ・5月24日（土）～25日（日）音の探検隊ワークショップ ・7月26日（土）～27日（日）、11月16日（日） 渋谷知らずKAAT Worksミニライブ ・7月27日（日） オープンステージ ・7月27日（日） 劇団白昼夢パフォーマンス ・11月15日（土） 菊地成孔ソロライブ		重点施策 4

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
KAAT神奈川芸術劇場の広報活動	横浜中華街とタイアップし、劇場の公演チケット提示で加入店舗で特典が得られるようにし、タイアップチラシを年2回発行した。 その他にも野毛大道芸や横浜開港祭イベントに参加して劇場広報宣伝活動を行った。	—	—	通年	—	—	再掲	重点施策 4
外国語観光情報ウェブサイト多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Visit Kanagawa-The Official Kanagawa Travel Guide-」（旧「Tokyo Day Trip —Kanagawa Travel Info—」）から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Visit Kanagawa-The Official Kanagawa Travel Guide-」（旧「Tokyo Day Trip —Kanagawa Travel Info—」）と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	再掲	重点施策 4
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。 併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。 また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2025年度 PV（ページビュー）数 584,584	通年	インターネット上	—	再掲	重点施策 4
湘南邸園文化祭2025	9月～12月にかけて相模湾沿岸の13市町の邸園等において、29の市民団体等により68のイベントを実施した。	—	延べ約27,000人	2025年9月6日～12月21日	相模湾沿岸地域一帯の邸宅・庭園等	—		重点施策 4
箱根ジオパーク推進協議会事業	・保全活動の実施 ・普及活動の実施 ・フォトコンテストの作品展開催 ・ガイド養成講座の実施 ・サポーター講座の開催 ・ジオツアーの実施 ・教育活動の実施 ・箱根ジオパーク特産品のPR ・繋げるプロジェクト記事公表 ・学術研究の助成 ・サインの整備 ・防災活動の実施 ・パンフレット等作成	・再認定審査時の指摘への対応の一環として、基本計画及び行動計画を作成し、組織体制の見直し（部会再編と事務局の位置づけの見直し、担当事業の再配分）を行った。 ・構成各市町の負担金について見直しを行った。 ・ガイド養成講座について、令和7年度から次の再認定審査がある令和10年度までにスキルアップを図るための4年計画を作成した。	・ガイド養成講座 全4回：計114人 ・サポーター講座 全4回：計34人 ・ジオツアー：20人 ・教育部会 一般講座：67人 小学生対象講座 夏休み：237人 春休み：62人	通年	箱根ジオパーク構成市町（箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、南足柄市）ほか	—		重点施策 4
「鎌倉」の世界文化遺産登録の推進	世界遺産登録を目指す「鎌倉」の構成資産について、適切な保存管理と積極的な公開活用を図るため、補助金を交付した。また、文化財保護ポスター事業に係り「世界遺産登録をめざす鎌倉」部門の最優秀作品をポスターとして県内各地に掲示し、機運の醸成を図った。	—	—	—	—	—		重点施策 4
「日本遺産」に関する情報提供及び支援	「日本遺産」の「候補地域」の募集について、県内市町村等に周知を行った。また、既認定の「日本遺産」について、文化庁補助金の周知や助言を通じ、市町村や地元協議会による地域活性化の取組を支援した。	—	—	—	—	—		重点施策 4
058文化資源を活用した地域のにぎわい創出								
かながわ県民文化祭	9月から12月を「県民文化祭」の期間に位置付け、期間中に県、市町村、民間団体等の文化事業を一体的かつ効果的に広報を行うことで、県民が県内各地の様々な文化芸術活動に参加し、楽しみ、その活動を通じて、地域のにぎわい・つながりを作ることを目指す。	県の媒体を活用した広報活動を実施するとともに、X（旧Twitter）を活用したリツイートキャンペーンを実施し、事業の周知を図った。また、アニメーションを作成し、8カ所の駅構内のデジタルサイネージを活用して事業の周知を図った。	参加プログラム数：273件	—	県内全域	—	再掲	重点施策 4
イベントカレンダー	県内の文化イベント情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の情報誌「イベントカレンダー」を作成した。	毎月特集ページを設け、県事業のPRを行った。	発行部数 260,000部	年4回発行 6～8月号 9～11月号 12～2月号 3～5月号	県内、都内の文化施設、駅、商業施設等で配布	—	再掲	重点施策 4
かながわパフォーマンス・グアーツアワード2026	「演劇」に限らず、身体性を伴う舞台芸術作品を幅広く対象とするため、昨年より「かながわパフォーマンス・グアーツアワード」へと名称をリニューアルし、コンペティションを引き続き開催した。	ファイナルのライブ配信及びアーカイブ配信を引き続き廃止し、劇場での観劇を促し、来場者数の増加を目指した。	【応募数】 団体 29団体 【ファイナル出場】 5団体 【来場者数】 123人	ファイナル：2026年3月15日	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策 4

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,428人 再生回数：27,917回 公演等回数：58回	2025年4月～2026年3月	オンライン（動画）、横須賀市立青少年会館、小田原市生涯学習センターけやき、横浜にぎわい座、厚木市文化会館 等	参加者・観覧者等満足度アンケートの結果、「大変良かった」・「良かった」と回答した人が92.7%となった。	再掲	重点施策4
県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,627人	2025年4月～2026年3月	各県営団地（10か所）	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。県立音楽堂にて成果発表会を実施。	再掲	重点施策4
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X（旧Twitter）等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、ネイティブによる多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2025年度 PV（ページビュー）数 584,584	通年	インターネット上	—	再掲	重点施策4
マグカルシアター等	主に若手の舞台芸術団体や個人に青少年センター スタジオ「HIKARI」及びかながわアートホール を公演場所として会場・設備・備品を無料で提供した。	年齢や経歴、作風に関係なく、参加団体同士が自劇団以外の作品に触れ、刺激を受け、自劇団の今後の公演に役者としてオファーしたり、演劇に関する情報を共有したりと、交流や結束が深まり、演劇に携わって間もない新人の方々にとって、刺激的で学ぶ機会にもなり、出会いと交流が深まった。	8,463人	2025年4月～2026年3月	青少年センター スタジオ「HIKARI」、かながわアートホール	個性の異なる2つの会場を拠点としていること、出演団体の種別や県外の団体からの応募が増えるなど、すそ野が広がっている。	再掲	重点施策4
マグカル展開促進補助金	県が推進する「マグカル」の展開促進のため、民間団体が行う文化芸術の新たな事業に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付した。	補助率3分の1以内上限額100万円、ただし重点事業は特に展開を促進するため、補助率及び上限額の特認を設けた。	要望団体数：166件 助成団体数：68件 採択額：73,327千円 参加者数：79,658人 オンライン視聴者数：2,972人	1次募集： 2025年2月17日～3月17日募集、4月25日～8月21日交付決定 2次募集： 2025年6月10日～7月10日募集、8月28日～9月11日交付決定	—	—	再掲	重点施策4
GREEN×EXPO 2027におけるステージ出展（オリジナルミュージカル等）	オリジナルミュージカルを制作し、GREEN×EXPO 2027の中で上演する。ミュージカルの内容は県出展メインテーマ「Vibrant INOCHI」を分かりやすく伝えるところともに、環境保全に関する知識の普及・啓発を図り行動変容を促すもの。令和7年度は出展に向けた準備（ミュージカル制作事業者の選定及び脚本制作）を行った。また、併せて県の魅力を広くPRする文化芸術コンテンツを出展する。	—	—	令和8～9年度に事業実施	—	—	—	重点施策4
さがみ湖野外パレエフェスティバル2025における県主催パレエ公演	令和7年10月に「相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会」が開催したフェスティバルの中で、県主催パレエ公演「ジゼル」全2幕（上野水香氏・厚地康雄氏主演）を実施	公演の魅力を高めるため、主演に著名なパレエダンサーである上野水香氏と厚地康雄氏を起用した。	入場者数1,309名 （県主催公演分のみ）	令和7年10月18日（土）	県立相模湖公園野外特設ステージ	—	—	重点施策4
カナガワ ボトガラヒー 関連企画 出張浅田撮影局 箱根編・中井編 写真家 浅田政志 トーク＆作戦会議	来年度に撮影と展覧会を開催予定である自治体へ浅田政志氏の紹介と事業の内容を理解していただくことを目的に開催したワークショップ。	被写体になり得そうなロケーションや人物の情報について参加者に提案していただく作戦会議を実施。	①10 ②10	①2025年12月4日（木） ②2025年12月6日（土）	①箱根町立郷土資料館学習室 ②なかい里都のまちCAFE	—	再掲	—
カナガワ ボトガラヒー 出張浅田撮影局 開成編・真鶴編	「家族」と「記念写真」をテーマに市井の方と向き合い続ける写真家・浅田政志による、神奈川県内で撮り下ろした作品による個展を開催。昔の写真師のように旅しながら出張撮影を行い、古いモノクロ写真に色をのせたレトロな雰囲気の写真家を展示した。	ただ地域の写真を撮りディスプレイするのではなく、自治体や地域に住む人との交流からディープな撮影地を選定し、被写体とのコミュニケーションを通じて、世界に2つとない写真を撮影し展示した。	①1,470 ②593	①2025年12月8日（金）～25日（木）（5日）（金）オープニング ②2025年12月6日（土）～21日（日）（6日）（土）オープニング	①開成町役場 1階 町民プラザ ②たけや（旧大道クリニック）	①について、開成町が町政施行70周年の記念年にあたり、町が共催となって記念事業の一環として実施した。	再掲	—

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
C×Organ パイプオル ガンを訪ね る旅 ①夏休み、 フェリス ホールのオル ガンを知ろ う！ ②夏休み、 茅ヶ崎恵泉 教会のオル ガンを知ろ う！ ③中田恵子 オルガンコ ンサート〜 イタリアか らの音便り 〜	神奈川県民ホール50年の歴史と 伝統を誇るオルガン事業を継承 し、県内のオルガンのある施設 や教会で実施するコンサート。	オルガンの音が鳴る仕組みの 解説や終演後のオルガン見学 を交えることで、オルガンに 親しみ普及へ繋がった。	①207 ②112 ③113（2回公演）	①2025年8月2日（土） ②2025年8月9日（土） ③2026年2月7日（土）	①フェリスホール ②茅ヶ崎恵泉協会 ③秦野聖ルカ教会	公演前に「みえない・みえにくい方」を対象と した会場の説明を実施。障害の有無に関わらず オルガンコンサートをより楽しんでいただける 工夫を図った。	再掲	
(4) 景観の形成								
ア良好な景観の形成								
059「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進								
景観計画策 定等に係る 意見交換会	神奈川景観づくり基本方針で は、景観づくりを推進する上で 市町村の役割の重要性から「全 ての市町村が景観行政団体とな るよう支援する」旨を定めてお り、未移行団体の町と意見交換 を実施した。	—	7町1村	2026年1月26日	WEB開催（Teams）	—		
060文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討								
文化財保護 法に基づく 重要文化的 景観の選定 に係る検討	文化庁や全国文化的景観地区連 絡協議会による研修や普及啓発 について県の関係部局及び県内 市町村に周知した。	—	—	—	—	—		
(1) 学校施設、公共的施設の活用等								
ア公共的施設等の活用								
061学校施設、公共的施設の利用・公共的施設等の活用								
県立学校施 設開放事業	県立学校の音楽室などの学習施 設や、グラウンド・体育館など の体育施設を県民の学習・文化 活動やスポーツ活動の場として 提供した。	地域住民が利用しやすいよう 、土曜日又は日曜日のいづ れか半日以上を、可能な限り 開放時間に指定している。	学習施設：開放校数 22校、利用人数 2,902人 体育施設：開放校数 137校、利用人数 199,507人	通年	各県立学校	—		
藤沢市民オ ペラ連携事 業 みらいサ マースク ール 楽器体験	藤沢市民みらい創造財団と藤沢市 が協働事業として実施する「み らいサマースクール」の一環 で、藤沢市在住の小学4年生〜 6年生を対象として楽器体験の 場を提供した。	対象となる子どもたちにとつ て、学校にある打楽器や鍵盤 楽器は授業等で触れる機会が 多いことから、なかなか触れ る機会が少ない金管楽器を体 験いただいた。	30	2025年8月19日（火）	藤沢市民会館 第 1 展示集会ホール	—	再掲	
(2) 県立文化施設の充実								
ア県立文化施設の機能の充実								
062県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充								
KAAT神奈川 芸術劇場の 整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の 利便に供するための修繕・工事 等	施設の利用に支障を来すこと なく、適切な時期に工事を実 施することができた。	—	通年	KAAT神奈川芸術劇 場	・ホール吊物・床機構改修工事（部分交換） ・舞台照明設備機器更新（LED機器） （ネットワークHUB・ムービングライト、ピン スボット更新等） ・ホール舞台音響設備改修工事（入出力系シ ステム更新） ・大スタジオLED照明修繕工事 ・ホールホワイエ等照明器具LED化工事 ・吸水ポンプ設備改修工事 ・メインロビーコンセント増設工事		重点施策 5
県立音楽堂 の整備・修 繕	施設の円滑な運営及び利用者の 利便に供するための修繕・工事 等	施設の利用に支障を来すこと なく、適切な時期に工事を実 施することができた。	—	通年	音楽堂	・客席足元誘導灯LEDユニット・バッテリー交換 工事 ・非常放送設備更新工事 ・客席ドア・クローザー交換工事 ・客席ドア・チェック取付工事 ・ピアノ庫系統加湿器部品交換工事		重点施策 5
県立近代文 学館の整 備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の 利便に供するための修繕・工事 等を実施した。	—	—	通年	神奈川近代文学館	空調関連設備、電動書架などの修繕・工事を実 施した。		重点施策 5
神奈川県立 県民ホール 本館再整備 基本構想策 定委員会の 設置	11名の委員と、6名の特別委員 で構成する基本構想策定委員会 を設置し、県民ホール本館再整 備のコンセプト、整備内容、運 営内容等の議論を行い、方向性 をまとめた基本構想を策定し た。	県民の意見を十分に反映する ため、アイデアコンテスト等 の県民参加の取組を実施し、 策定委員会で報告した。	—	2025年 ①5月13日（火） ②6月11日（水） ③7月7日（月） ④8月6日（水） ⑤9月4日（木） ⑥10月9日（木） 2026年 ⑦2月4日（水）	神奈川県庁	< 県民参加の取組 > ・かながわハイスchool議会2025の実施 ・知事と当事者とのオンライン対話 ・みんなでつくる県民ホールアイデアコンテ スト ・みんなでつくる県民ホールアイデア箱 ・県民ホール主催事業でのアンケート ・関係団体へのヒアリング		重点施策 5
青少年セン ターホール 等の整備・ 改修	施設の円滑な運営及び利用者の 利便に供するための修繕・工事 等	施設利用者への影響をなるべく 少なくするように工夫しな がら、改修工事を実施する。	—	通年	青少年センター ホール等	ホール及び多目的プラザの舞台照明設備・多 目的プラザのダウンライト設備の更新工事、ホ ールの舞台設備（舞台機構）の改修工事を行 った。		重点施策 5

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立図書館の再整備	施設・設備の老朽化や、資料の収蔵スペース不足などの課題に対応するとともに、新たな魅力を備えた図書館とするための再整備を行う。	県民サービスの低下を招かないよう、開館しながら工事を実施している。	—	通年	県立図書館	令和7年度に収蔵館の供用を開始したとともに、前川國男館の改修工事に着手した。		重点施策5
県立の美術館や博物館の老朽化対策	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設利用者への影響をなるべく少なくするように工夫しながら、改修工事を実施する。	—	通年	歴史博物館、生命の星・地球博物館	歴史博物館のエレベーター更新工事—や照明のLED化等の改修工事を行った。		重点施策5
063施設の機能としての人材育成								
2025年度インターン ①舞台技術コース ②劇場運営コース	現場での実務を通して、公立文化施設のあり方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	—	①3人 ②3人	2026年 ①1月28日(水)～2月12日(木) ②3月24日(火)～29日(日)	KAAT神奈川芸術劇場	—	再掲	重点施策5
KAAT人材育成プログラムグリーンシアター・ワークショップ ①「ライブサイクルアセスメント(LCA)」を活用して、持続可能な未来を目指す」 ②「未来につながるアクションへー設計ガイドと実践のヒント」	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供した。	①17人 ②21人	①2025年6月21日(土) ②2026年3月5日(木)	KAAT神奈川芸術劇場 (中スタジオ)	—	再掲	重点施策5
KAAT舞台技術講座2025 ①「実現するちから」を学ぶへーアメイク編 ②制作者のための舞台技術講座	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供した。	①13人 ②45人	①2025年6月10日(火) ②2026年1月25日(日)～26日(月)	KAAT神奈川芸術劇場 (大スタジオ)	—	再掲	重点施策5
避難体験 in KAAT #3《スタジオコンテナ大感謝祭》	劇作家・小林賢太郎のアトリエ“スタジオコンテナ”を迎え、「スタジオコンテナ大感謝祭」の初日の最中に災害が起きる、という想定で実施。2日目は訓練を実施せず、1日目の避難の様子をお客様に見ていただいた。	満員のお客様を迎え、昨年に比べより実践的な避難訓練を実施した。	2131人	2025年7月12日(土)～13日(日)	KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉	避難の様子を撮影し、後日YouTubeにてダイジェスト映像を公開した。		重点施策5
KAAT人材育成事業 教育機関連携事業 大学連携	大学や研究者の文化施設が協働し、文化施設を教育の場とする取組。 ①玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科の学生を対象に、ミュージカル「LAZARUS」公演において劇場接遇演習を実施。 ②静岡文化芸術大学4年生の演習授業「建築総合演習Ⅱ」および3年生～修士1年のゼミ教育として、KAATの取組に関するレクチャーと施設見学を行った。 ③名古屋芸術大学芸術学部芸術学科舞台芸術領域の授業の一部として、KAATの取組に関するレクチャーと施設見学を実施。 ④玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科の舞台技術ゼミ所属の学生を対象に、照明デザイナーの久松タ香によるレクチャーを実施。	—	①12人 ②7人 ③17人 ④14人	①2025年6月7日(土) ②2025年10月30日(木) ③2025年11月13日(木) ④2025年11月22日(土)	KAAT神奈川芸術劇場〈ホール〉	—		重点施策5
2025年度神奈川県立音楽堂&神奈川県民ホール 制作広報インターン	制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	音楽堂、県民ホールの歴史、指定管理者制度や劇場運営、自主事業における企画・制作・広報について学んだほか、「先生のためのアウトリーチ研修会」で実地研修を行った。	7	2025年8月19日(火)～29日(金)	音楽堂	—	再掲	重点施策5
2025年度神奈川県立音楽堂&神奈川県民ホール 制作広報インターン	公共ホールでの文化事業の実習として、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。	公立文化施設における文化事業を学ぶため、座学で学んだうえで、制作の現場を体験する内容とした。	7人	2025年9月4日	県民ホール本館、音楽堂ほか	—	再掲	重点施策5

IV 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法の習得を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	536人	2025年8月6日、7日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	アンケートの集計結果は、講習会の評価について、「とても良かった：89.1%」「良かった：10.0%」と合わせて99.1%であった。	再掲	重点施策5
中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、高校生のニーズに合う講師を迎え、講習内容を充実させた。	中学生：732人 高校生：402人	中学校：2025年8月2日、3日 高等学校：2025年7月26日、27日	青少年センター	—	再掲	重点施策5
青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による舞台芸術の創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先進的なワークショッププログラムを実施した。	これまでのプログラムが演劇とダンスに限られていたが、伝統芸能に取り組む部活動を対象としたプログラムを初めて実施した。	戯曲づくり編：7人 人形芝居編：13人	戯曲づくり編(全5回) 2026年1月6日、12日、18日、25日、2月1日 人形芝居編： 2026年3月28日	戯曲づくり編： 青少年センター 人形芝居編： 茅ヶ崎市民文化会館小ホール	人形芝居編の参加者アンケートの集計結果は、「とても良かった」と「良かった」を合わせた回答率が100.0%であった。	再掲	重点施策5
紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を昨年度に引き続き開講した。	舞台上でのテクニックだけではなく、公演を作り上げるために必要なコミュニケーション能力等の向上にも注力した。	塾生：16人 成果発表公演観覧者数：217人	2025年6月～8月 ※レッスン 成果発表公演：2025年8月30日、31日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	再掲	重点施策5
イ運営方法の点検等								
064利用者対象のアンケート調査などの施設運営の質を向上させる取組の実施								
利用者満足度調査	来館者・貸館利用者・ホームページ閲覧者等を対象に満足度調査を実施した。	調査回答数を増やすため、期間を2カ月程度で実施。	—	2025年10月1日～11月30日	県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂、各館ホームページ	—		
神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会	3館一体による効率的な運営が行われているかチェックするため、公募委員を含む6名により指定管理者が行う主催事業を中心にモニタリングを行い、その内容について年1回会議を開催した。	—	—	①主催事業モニタリング実施期間 令和7年6月～令和8年3月 ②神奈川県立県民ホール及び音楽堂指定管理業務実績評価委員会実績評価委員会 令和7年8月5日	①県民ホール本館、KAAT神奈川芸術劇場、音楽堂等 ②県民ホール本館	—		
行政によるモニタリング(月報、事業報告書、モニタリング結果報告、指定管理業務総括調査)	指定管理者に対して、県の行政管理課が定める「指定管理者制度の運用に関する指針」等に基づくモニタリングを実施した。	—	—	月例報告書の確認：毎月モニタリング結果報告書作成：年1回	—	—		
県立の美術館や博物館の利用者満足度調査	来館者及び講座等受講者に対して、施設の満足度をはかるアンケートを実施した。	—	県立図書館 592人 川崎図書館 447人 金沢文庫 476人 近代美術館 459人 歴史博物館 1,350人 生命の星・地球博物館 5,295人	県立図書館 R7.12.2～R7.12.7 川崎図書館 R7.11.25～R7.12.1 金沢文庫 R7.4.1～R8.3.31 近代美術館 R7.4.1～R8.3.31 歴史博物館 R7.4.1～R8.3.31 生命の星・地球博物館 R7.7.19～R7.8.31	県立図書館 川崎図書館 金沢文庫 近代美術館 歴史博物館 生命の星・地球博物館	—		
(3)情報通信技術の活用								
ア情報の発信								
065ホームページ、SNS、ポータルサイト等を活用した文化芸術情報の提供の強化								
県立近代文学館におけるホームページ、SNSの活用	SNSの積極的な活用やコミック、ゲームとのコラボレーションによりホームページ利用のアクセス数を高く維持し、広く広報周知活動を行った。	展覧会紹介、資料紹介等に加え、文学者の記念日などにもSNSで発信するなど、日々新しい話題を提供した。	ホームページアクセス数(公式noteを含む)：337,609件	通年	神奈川近代文学館ホームページ及びSNS	・2025年10月にホームページを刷新。展覧会やイベント情報だけでなく、教育支援情報やデジタルアーカイブ等へよりアクセスしやすくなった。 ・写真撮影コーナーの設置や作家の亚克力スタンド販売によって来場者によるSNS投稿を促し、館SNSのフォロワー以外にも広く広報活動を行うことができた。	再掲	
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2025年度PV(ページビュー)数 584,584	通年	インターネット上	—	再掲	
外国語観光情報ウェブサイト多言語化・運用管理等業務	外国語観光情報ウェブサイト「Visit Kanagawa-The Official Kanagawa Travel Guide-」(旧「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」)から、文化課の「Magcul.net」にリンクを設置している。	「Visit Kanagawa-The Official Kanagawa Travel Guide-」(旧「Tokyo Day Trip—Kanagawa Travel Info—」)と「Magcul.net」の双方が多言語化されているため、言語別にリンク先のURLを切り替えている。	—	通年	—	—	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
観光かながわNOW情報発信事業	ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信した。	美術館等のスポット情報を掲載する。 トップページ等にてイベント情報を発信する他、文化芸術イベントの公演情報等の詳細を発信する「マグカル・ドット・ネット」と「観光かながわNOW」をリンクさせる。	—	通年	—	—	再掲	
県立金沢文庫における情報提供の実施	金沢文庫で開催する展覧会や講座などのイベントについて、金沢文庫HPやX（旧Twitter）で広報をおこなった。	展覧会の目玉となる作品や金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の作品紹介を定期的にX（旧Twitter）で紹介し、展覧会や金沢文庫の保管する資料の魅力を伝えるよう発信した。	X（旧Twitter）発信件数：467件	—	—	—	再掲	
県立近代美術館における情報提供の実施	参考資料を美術館ウェブサイトに掲載し、報道関係者にリンクをメールで配信した。 また、X（旧Twitter）上で美術館の日々の活動を発信した。	各々の電子媒体によって、対象に合わせた内容を発信した。	参考資料の公開件数：10件 X（旧Twitter）発信数：360回	—	—	—	再掲	
県立歴史博物館における情報提供の実施	HPやSNS（X、Instagram）を活用した情報提供や刊行物、マスメディア（紙・電波媒体、ネット）による情報発信を行った。	休館期間中に始めた館長ブログを更新し、SNSと併せてタイムリーな情報発信をしている。 また、新聞各社に講座等イベント情報のチラシを送付し、新聞掲載につなげた。	583件 【内訳】 HP：56件 SNS：368件 記者発表（参考資料送付）：3件 イベントチラシ：11件 催し物のご案内：2件 博物館だより：3件 WEB無料媒体：27件 新聞等アウタカム分：113件	—	—	—	再掲	
県立図書館における情報提供の実施	県立図書館で開催する講座、展示等の催し物、建物や所蔵資料等の魅力についてホームページやX、Instagram等のSNSを通じてきめ細かく発信した。	県立図書館に関する情報や資料を容易に入手できるよう、ホームページ、SNS等の更新頻度を高めた。	—	—	—	—	再掲	
県立生命の星・地球博物館における情報提供の実施	ホームページにて講座やイベントの紹介および募集や、特別展、企画展などの紹介を随時行っている。また、特記すべきイベント情報や展示についてはSNS（X）でも紹介している。	季節性のあるイベントはトップページに大小のバナーで告知するなど利用者の目にとまりやすいよう臨機応変に作成している。	令和7年のホームページの更新は663回、閲覧数（トップページ）は590,338件で、SNS（X）のポスト数は201回。	随時	生命の星・地球博物館	—	再掲	
066保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用								
県立図書館における収蔵資料等のアーカイブ事業	「神奈川県立図書館デジタルアーカイブ」として神奈川県に関する貴重な所蔵資料等をデジタル化し、webサイトで公開している。	デジタルアーカイブシステムにより画像の検索、拡張表示等の機能や高精細画像の提供を行っている。	新規公開：75件	—	—	—		
県立近代美術館における収蔵資料等のアーカイブ事業	開館以来の活動により蓄積された貴重な記録資料の整理・保存並びに提供ができる環境を整備した。	アーカイブ化した資料はインターネット上で公開を行っている。	公開件数：4,585件	—	—	—		
県立生命の星・地球博物館における博物館情報システムデータ整備	収蔵資料をミュージアムで管理する。また、ミュージアムに登録されている資料を収蔵資料データベースにて一般県民に公開する	日々、登録点数を増やすとともに、資料に付随する画像を登録することで、メタデータだけでなく画像資料も増やす努力を行っている。	—	—	生命の星・地球博物館	—		
県立金沢文庫における「国宝 金沢文庫文書データベース」の公開	金沢文庫が管理する国宝「金沢文庫文書」の画像を、PCやスマートフォンで検索・閲覧できるデータベースを改良し、他の史料データベースとの連携を可能にして、利便性を向上させた。	より検索しやすいシステムに改良するとともに、公開件数を増加させた。	アクセス件数：30,357件	—	—	—		
イ利便性の向上								
067施設利用予約システムの運用などの利用者サービスの向上								
施設予約システムの運用	公共施設利用予約の共同運営を実現するための神奈川県電子自治体共同運営サービスを県と市町村が共同して提供する。	原則24時間どこからでもインターネットを通じて、県内公共施設の空き状況の照会や予約申込を行えるようにすることで、県民の利便性を向上させるとともに、職員側の施設予約管理に関する事務処理の効率化を図る。	2025年度利用件数 1,088,778件（県のみ） （内訳） ・抽選申込数 937,603件 ・予約申込数 151,175件	通年	—	—		
ウ文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存								
068県立文化施設における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進								

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
県立近代文学館における所蔵資料のデータベース化	所蔵資料（図書、雑誌、特別資料）のデータベース化は、利用者の利便性向上、研究の発展のために重要であることから、当年度もインターネット公開を進めた。	独自の入力項目等により、近代文学の専門館としてのデータ水準を維持している。	特別資料検索利用登録者：159人（累計3,088人） 夏目漱石デジタルアーカイブ延べユーザー数：14,546 中島敦直筆資料デジタルアーカイブ延べユーザー数：11,315	通年	神奈川近代文学館	本年度の図書、雑誌、特別資料を合わせた電算化入力件数は15,122冊（件）となり、累計は1,319,289冊（件）となった。特別資料（原稿、自筆資料、書簡など）に関しては、新たに3,608件のデータがインターネットで検索可能となった。また、中島敦直筆資料デジタルアーカイブでは新機能を追加した。		
音楽堂の利用に関するプログラムほかアーカイブ資料の保管とデジタル化	神奈川県立音楽堂での全ての利用に関して、貸館、主共催を問わずプログラムを保管・製本したほか、「開館70周年記念週間」の「アーカイブ展」開催に際し、過去のポスターの一部をデジタルデータ化した。	—	—	—	—	—		
県立近代美術館における収蔵資料等のアーカイブ事業	開館以来の活動により蓄積された貴重な記録資料の整理・保存並びに提供ができる環境を整備した。	アーカイブ化した資料はインターネット上で公開を行っている。	公開件数：4,585件	—	—	—	再掲	
県立歴史博物館における博物館情報システムデータ整備	収蔵資料のデータベース化を推進した。	デジタルアーカイブとしてインターネット公開している。	令和7年度中の登録件数：14,417件	—	—	—		
県立図書館における収蔵資料等のアーカイブ事業	「神奈川県立図書館デジタルアーカイブ」として神奈川県に関する貴重な所蔵資料等をデジタル化し、webサイトで公開している。	デジタルアーカイブシステムにより画像の検索、拡大表示等の機能や高精細画像の提供を行っている。	新規公開：75件	—	—	—	再掲	
(4)文化芸術活動に対する支援の促進								
ア文化芸術活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進								
069寄附税制等に関する周知								
かながわキンタロウ寄附金（ふるさと納税）	県のふるさと納税及びかながわキンタロウブックキフの寄附メニューに文化事業のメニューとして「あらゆる人が文化芸術に触れ笑顔になれる社会を！」を掲載し、寄附を募った。	—	58人、3団体	通年	—	寄附総額 6,612,614円		重点施策5
070文化芸術団体への寄附の促進								
神奈川芸術文化財団やK A A T 神奈川芸術劇場、神奈川県立音楽堂への寄附の促進	神奈川芸術文化財団H Pや主催公演プログラムに芳名一覧を掲載するとともに、募集告知を行い寄付を集めた。	チケット発売情報を掲載するメールマガジンや財団ホームページ、各館プログラム等広報ツールにて小口寄付の募集を告知した。	賛助会員数 法人：44社 個人：16人 永年個人：2人 一般寄付、オンライン小口寄付等：72件	通年	寄付を行っていることをもっと効果的に発信し、広く理解を集める必要がある。	個別協賛：6件 その他協力：1件		
県立近代文学館への寄附の促進「友の会」	神奈川近代文学館「友の会」は、近代文学館を積極的に利用していただく方に向けて、入館料無料、行事や刊行物の会員価格割引、会員限定行事の開催など、さまざまな事業を行った。	—	会員数：918人（うちライト会員225人）	—	—	会費負担を軽減したライトプランを創設。館情報を郵送ではなくメールでお送りしている。		
県立近代文学館への寄附の促進「神奈川近代文学館を支援する会」	「神奈川近代文学館を支援する会」は、法人、団体、事業主または個人を対象に近代文学館の広報や支援に協力いただくとともに寄付による税額控除を行っている。	—	会員数：103人（141口）	—	—	今年度も目標の100人を達成した。		
071メセナ企業等に関する情報の提供								
企業メセナ協議会の相談窓口	「助成認定制度」の相談窓口として周知や積極的な活用を促進した。	県民ホールの入り口でのプレートを設置やパンフレットの設置等を行った。	—	通年	—	公益社団法人企業メセナ協議会の準会員として、報告会等に参加し、情報収集を行う。		
マグカル・ドット・ネット	県の文化芸術ポータルサイト「マグカル・ドット・ネット」において、県内の演劇・ダンス・音楽・映像など、各種イベント情報をリアルタイムで発信するほか、文化芸術に関する記事を作成した。併せて、X等のSNSにおいても情報発信を行った。また、外国人向け特集記事を作成し、多言語翻訳を行うとともに、国内外向けのインターネット広告を通年で展開した。	読み物として楽しめる特集やコラムの作成を行い、内容の充実を図った。	2025年度PV（ページビュー）数584,584	通年	インターネット上	—	再掲	

Ⅳ 施策事業の実施状況一覧

令和7年度実績								
事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	再掲	重点施策
(一財) 地域創造関連	地域における創造的で文化的な活動を振興し、心豊かな地域づくりの推進に寄与することを目的に設立された一般財団法人地域創造に負担金を拠出し、神奈川の芸術文化振興のための環境づくりを行う。	—	—	—	—	■ (一財) 地域創造が行った令和6・7年度助成事業の採択結果 ①神奈川県での活用 R7：創造（一般）かながわ伝統芸能祭「かながわ伝統芸能こども歳時記」 助成額：3,500千円 ②神奈川県芸術文化財団での活用 R7：創造（企画向上）巡回オペラシリーズ 歌劇《カルメン》歌劇《ジャミレ》 助成額10,000千円 ③市町村での活用 R7：横須賀市190千円・三浦市32千円・厚木市300千円・海老名市・175千円・二宮町180千円・松田町300千円		
民間助成団体の支援事業に関する情報提供及び団体の推薦事業（地域創造関係を除く）	民間団体からの助成事業について、助成を必要としている市町村や関係機関に役立つよう、広く周知を行う。	—	—	—	—	■ 民間助成団体支援事業に関する情報提供 （公財）明治安田クオリティオブライフ文化財団 （公財）三菱UFJ信託地域文化財団 （公財）三井住友海上文化財団 （公財）関西・大阪21世紀協会（万博） ■ 独立行政法人日本芸術文化振興会・芸術文化振興基金に関する情報提供		
(5) 顕彰の実施								
ア 顕彰の実施								
072 神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施								
神奈川文化賞・未来賞表彰事業	神奈川県在住、在職又は神奈川県に深いゆかりのある者で、神奈川の文化の向上発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対して「神奈川文化賞」を贈呈した。 2001年度に、神奈川文化賞の第50回を記念し、神奈川の文化の向上発展に貢献することが大いに期待される若い世代に贈呈するために「未来賞」を創設した。	県民を贈呈式に無料招待し、広く県民全体で受賞者への祝意を表すとともに、祝賀演奏において受賞者の方に演奏いただき、催し全体で文化を盛り上げることができた。	732人	2025年11月 3 日	神奈川県立音楽堂	受賞者 6 人 （文化賞：4 人、未来賞：2 人）	再掲	

V 進行管理のための参考指標等

1 総合計画「新かながわグランドデザイン」における文化芸術の位置付け

総合計画は、県政運営の総合的・基本的指針として、神奈川の将来のあるべきすがたを描き、それに向けて県がどのような政策を展開するのか、県民の皆さんにお示しするものです。

県では、2012 年に「かながわグランドデザイン基本構想」を策定し、様々な課題への対応を着実に進めてきました。

そうした中、社会環境の変化を踏まえ、「かながわグランドデザイン基本構想」を見直し、「新かながわグランドデザイン基本構想」を取りまとめました。また、2040 年を目標年次とした「基本構想」の実現に向けて、2024 年度から 2027 年度の 4 年間に取り組む政策を示した「新かながわグランドデザイン実施計画」を策定しました。

実施計画においては、5つのテーマを設定し、各テーマに沿って重点施策を分野横断的にとりまとめた 13 のプロジェクトなどに着実に取り組むこととしています。文化芸術はテーマⅠ「希望の持てる神奈川」のプロジェクト4「文化・スポーツ～心身ともに健康で豊かな生活ができる活力ある地域社会～」として位置付けられています。

また、超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、プロジェクトをさらに複合的に実施する取組を「神奈川の戦略」として5つの戦略をまとめており、神奈川の戦略4「マグネット・カルチャーの推進」として、文化芸術の力により、ゆとりとうるおいの実感できる社会の実現を目指すため、「マグカル」の取組を推進することとしています。

なお、総合計画を補完する個別計画として「かながわ文化芸術振興計画」が位置付けられています。

プロジェクト4 文化・スポーツ～心身ともに健康で豊かな生活ができる活力ある地域社会～

人生 100 歳時代の本格的な到来が予想される中、文化芸術やスポーツに誰もが親しみ、生きがいを持ってくらすことができる、将来に希望の持てる社会が求められています。そこで、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、「マグネット・カルチャー（マグカル）」などを推進し、あらゆる人の文化芸術活動の充実に取り組みます。また、誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進やスポーツ活動を広げる環境づくりに取り組みます。こうした取組を通して、文化芸術やスポーツの振興を進めるとともに、誰もが生涯にわたって心身ともに豊かな生活をおくることができる、活力ある地域社会の実現をめざします。

指標

- 1 年間に文化芸術の鑑賞・参加を行った割合
(県民ニーズ調査)

2021 年度 ※参考値(文化庁「文化に関する世論調査」)	39.8%
2023 年度 ※参考値(文化庁「文化に関する世論調査」)	48.5%
2024 年度	67.8%
2025 年度	64.9%

V 進行管理のための参考指標等

具体的な取組

A 誰もが文化芸術に親しむための取組の推進

- 年齢や障がい等により、文化芸術へのアクセスが困難な方々が、文化芸術活動に参加できるよう、すべての人が舞台芸術に参加し楽しめる取組である「共生共創事業」をはじめとして、創作活動の支援や、アウトリーチ等による参加機会の提供に取り組みます。
- 伝統的な芸能の体験や子ども・若者が文化芸術に触れる機会の提供など、文化芸術活動が県内各地で展開され、地域の活性化にもつながるよう取り組むとともに、文化芸術イベントの一体的な広報や「マグカル・ドット・ネット」を活用した情報発信、団体等の支援に取り組みます。
- 生涯を通じたかながわの人づくりを進めるため、県立社会教育施設の公開講座など、県民の学びを支援します。
- 誰もが文化芸術に親しめる場である県立文化施設や、生涯学習の基盤である県立社会教育施設の機能充実を図り、鑑賞事業や体験事業などの取組を推進します。

KPI（重要業績評価指標）	年度	目標値	実績値	達成率
① 共生共創事業の参加者（出演者、観覧者等）満足度（%）	2022		77.8	
	2023		85.0	
	2024	80.0	90.2	112.7%
	2025	81.0	92.7	114.4%
	2026	82.0	—	—
	2027	83.0	—	—
② 神奈川文化プログラム認証件数（件）	2022		605	
	2023		554	
	2024	620	559	90.1%
	2025	620	509	82.0%
	2026	620	—	—
	2027	620	—	—
③ 「マグカル・ドット・ネット」のページビュー数（PV）	2022		478,223	
	2023		551,370	
	2024	485,600	554,612	114.2%
	2025	489,400	584,584	119.4%
	2026	493,200	—	—
	2027	497,000	—	—
④ 県立文化施設、県立社会教育施設の利用者満足度（%）	2022		96.3	
	2023		97.6	
	2024	96.5	96.8	100.3
	2025	96.5	97.1	100.6
	2026	97.0	—	—
	2027	97.0	—	—

※ プロジェクト4のうち「文化」のみ抜粋

V 進行管理のための参考指標等

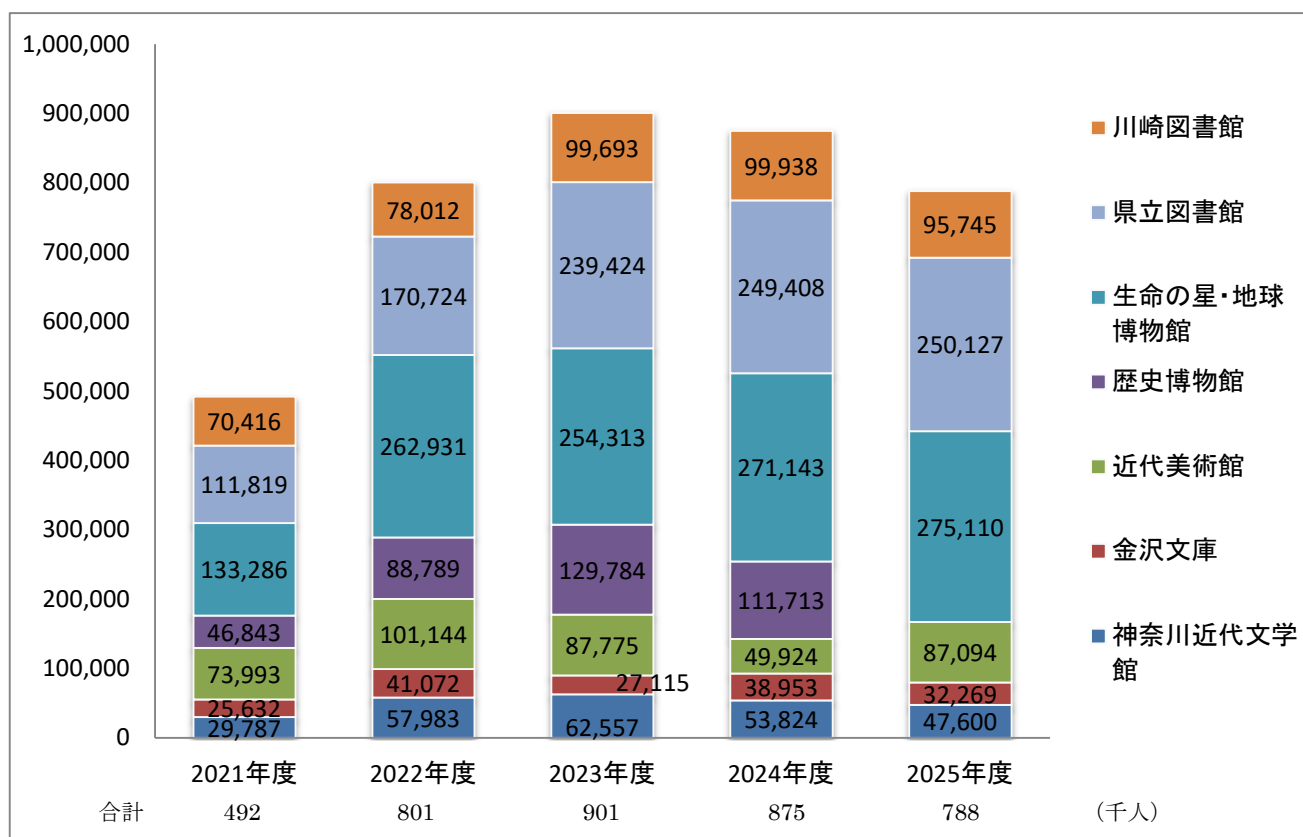
SDGs との関係について

「実施計画」では 13 のプロジェクトと SDGs の 17 のゴールとの関連を分析し、整理しています。プロジェクト 4「文化・スポーツ」は、ゴール 3「すべての人に健康と福祉を」、ゴール 4「質の高い教育をみんなに」、ゴール 5「ジェンダー平等を実現しよう」、ゴール 8「働きがいも経済成長も」、ゴール 9「産業と技術革新の基礎をつくろう」、ゴール 10「人や国の不平等をなくそう」、ゴール 11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール 15「緑の豊かさを守ろう」、ゴール 16「平和と公正をすべての」、ゴール 17「パートナーシップで目標を達成しよう」に関連しています。



V 進行管理のための参考指標等

(2) 美術館・博物館等



※県立近代美術館：葉山館、鎌倉別館のこと

○休館期間等

葉山館：2024年10月1日から2025年3月31日

※2024年12月14日から2025年3月2日は展示室外で「栗林隆 Roots」展を開催。

県立歴史博物館：2025年1月1日から2025年3月31日

2025年1月から

神奈川近代文学館：2021年12月1日から2022年3月31日

2023年1月31日から2月10日

県立図書館：2022年4月12日から2022年8月31日

※2022年4月12日から2022年8月14日は臨時閲覧室を開館。

生命の星・地球博物館：2021年11月1日から2022年3月15日

V 進行管理のための参考指標等

3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度

(1) 全県

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

質問項目	年度	生活重要度		生活満足度	
		重要	重要でない	満たされている	満たされていない
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	2025	51.2%	14.7%	24.6%	20.8%
	2024	49.3%	15.8%	23.8%	21.8%
	2023	49.5%	14.2%	22.2%	24.4%
	2022	51.4%	14.4%	21.8%	22.3%
	2021	49.9%	14.9%	20.2%	24.0%
	2020	51.3%	12.2%	21.3%	22.0%
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	2025	81.8%	2.9%	25.2%	31.8%
	2024	80.1%	3.1%	22.8%	34.1%
	2023	76.4%	2.3%	20.3%	35.0%
	2022	79.2%	2.8%	21.3%	35.4%
	2021	76.4%	3.3%	21.4%	36.2%
	2020	75.6%	3.5%	20.4%	31.3%
自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが行われること	2025	62.3%	8.0%	19.1%	15.8%
	2024	64.7%	6.7%	22.3%	16.7%
	2023	63.0%	6.1%	17.7%	18.0%
	2022	65.7%	6.8%	19.2%	18.0%
	2021	63.8%	6.5%	20.2%	18.0%
	2020	67.1%	5.6%	21.6%	17.1%

(2020、2021、2022、2023、2024、2025 年度県民ニーズ調査)

V 進行管理のための参考指標等

(2) 地域別

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

「文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること」

重要性に関する意識

(人、%)

満足度

(人、%)

		全 体	非 常 に 重 要 で あ る	か な り 重 要 で あ る	ど ち ら と も い え な い	さ ほ ど 重 要 で な い	ま っ た く 重 要 で は な い	分 か ら な い	無 回 答
	上段：実数 下段：%								
居住地域別	全 体	1,627 100.0	228 14.0	605 37.2	473 29.1	205 12.6	34 2.1	50 3.1	32 2.0
	横 浜	617 100.0	89 14.4	230 37.3	170 27.6	82 13.3	15 2.4	22 3.6	9 1.5
	川 崎	237 100.0	38 16.0	89 37.6	70 29.5	21 8.9	5 2.1	9 3.8	5 2.1
	相模原	107 100.0	16 15.0	36 33.6	35 32.7	13 12.1	1 0.9	2 1.9	4 3.7
	横須賀三浦	144 100.0	28 19.4	50 34.7	34 23.6	23 16.0	2 1.4	5 3.5	2 1.4
	県 央	150 100.0	15 10.0	60 40.0	43 28.7	22 14.7	3 2.0	4 2.7	3 2.0
	湘 南	235 100.0	27 11.5	97 41.3	68 28.9	30 12.8	5 2.1	6 2.6	2 0.9
	県 西	73 100.0	11 15.1	18 24.7	31 42.5	10 13.7	1 1.4	1 1.4	1 1.4
	無回答	64 100.0	4 6.3	25 39.1	22 34.4	4 6.3	2 3.1	1 1.6	6 9.4
性別	全 体	1,627 100.0	228 14.0	605 37.2	473 29.1	205 12.6	34 2.1	50 3.1	32 2.0
	男 性	727 100.0	92 12.7	267 36.7	236 32.5	86 11.8	21 2.9	17 2.3	8 1.1
	女 性	809 100.0	127 15.7	304 37.6	208 25.7	112 13.8	10 1.2	31 3.8	17 2.1
	無回答	91 100.0	9 9.9	34 37.4	29 31.9	7 7.7	3 3.3	2 2.2	7 7.7
年代別	全 体	1,627 100.0	228 14.0	605 37.2	473 29.1	205 12.6	34 2.1	50 3.1	32 2.0
	18～19歳	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	-
	20歳代	80 100.0	19 23.8	32 40.0	16 20.0	11 13.8	1 1.3	-	1 1.3
	20歳代以下	83 100.0	21 25.3	33 39.8	16 19.3	11 13.3	1 1.2	-	1 1.2
	30歳代	180 100.0	40 22.2	59 32.8	42 23.3	31 17.2	5 2.8	3 1.7	-
	40歳代	300 100.0	44 14.7	107 35.7	72 24.0	59 19.7	8 2.7	7 2.3	3 1.0
	50歳代	373 100.0	64 17.2	114 30.6	126 33.8	42 11.3	9 2.4	12 3.2	6 1.6
	60歳代	292 100.0	33 11.3	115 39.4	98 33.6	27 9.2	4 1.4	10 3.4	5 1.7
	70～74歳	122 100.0	7 5.7	55 45.1	39 32.0	15 12.3	2 1.6	2 1.6	2 1.6
	75歳以上	208 100.0	16 7.7	95 45.7	56 26.9	15 7.2	2 1.0	15 7.2	9 4.3
	無回答	69 100.0	3 4.3	27 39.1	24 34.8	5 7.2	3 4.3	1 1.4	6 8.7

		全 体	十 分 満 た さ れ て い る	か な り 満 た さ れ て い る	ど ち ら と も い え な い	い あ ま り 満 た さ れ て い な い	ほ と ん ど 満 た さ れ て い な い	分 か ら な い	無 回 答
	上段：実数 下段：%								
居住地域別	全 体	1,627 100.0	48 3.0	352 21.6	667 41.0	238 14.6	101 6.2	185 11.4	36 2.2
	横 浜	617 100.0	27 4.4	158 25.6	233 37.8	79 12.8	30 4.9	80 13.0	10 1.6
	川 崎	237 100.0	5 2.1	47 19.8	99 41.8	36 15.2	17 7.2	28 11.8	5 2.1
	相模原	107 100.0	2 1.9	15 14.0	46 43.0	21 19.6	8 7.5	11 10.3	4 3.7
	横須賀三浦	144 100.0	4 2.8	39 27.1	55 38.2	20 13.9	8 5.6	16 11.1	2 1.4
	県 央	150 100.0	5 3.3	27 18.0	64 42.7	23 15.3	10 6.7	18 12.0	3 2.0
	湘 南	235 100.0	4 1.7	43 18.3	109 46.4	37 15.7	14 6.0	23 9.8	5 2.1
	県 西	73 100.0	1 1.4	8 11.0	35 47.9	13 17.8	8 11.0	7 9.6	1 1.4
	無回答	64 100.0	-	15 23.4	26 40.6	9 14.1	6 9.4	2 3.1	6 9.4
性別	全 体	1,627 100.0	48 3.0	352 21.6	667 41.0	238 14.6	101 6.2	185 11.4	36 2.2
	男 性	727 100.0	20 2.8	134 18.4	333 45.8	119 16.4	37 5.1	73 10.0	11 1.5
	女 性	809 100.0	28 3.5	199 24.6	296 36.6	109 13.5	56 6.9	103 12.7	18 2.2
	無回答	91 100.0	-	19 20.9	38 41.8	10 11.0	8 8.8	9 9.9	7 7.7
年代別	全 体	1,627 100.0	48 3.0	352 21.6	667 41.0	238 14.6	101 6.2	185 11.4	36 2.2
	18～19歳	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-
	20歳代	80 100.0	7 8.8	24 30.0	20 25.0	14 17.5	7 8.8	8 10.0	-
	20歳代以下	83 100.0	7 8.4	25 30.1	21 25.3	15 18.1	7 8.4	8 9.6	-
	30歳代	180 100.0	6 3.3	44 24.4	65 36.1	26 14.4	11 6.1	28 15.6	-
	40歳代	300 100.0	14 4.7	63 21.0	118 39.3	48 16.0	16 5.3	40 13.3	1 0.3
	50歳代	373 100.0	13 3.5	81 21.7	170 45.6	35 9.4	22 5.9	43 11.5	9 2.4
	60歳代	292 100.0	2 0.7	51 17.5	140 47.9	42 14.4	22 7.5	30 10.3	5 1.7
	70～74歳	122 100.0	2 1.6	25 20.5	49 40.2	28 23.0	7 5.7	8 6.6	3 2.5
	75歳以上	208 100.0	4 1.9	46 22.1	76 36.5	35 16.8	10 4.8	25 12.0	12 5.8
	無回答	69 100.0	-	17 24.6	28 40.6	9 13.0	6 8.7	3 4.3	6 8.7

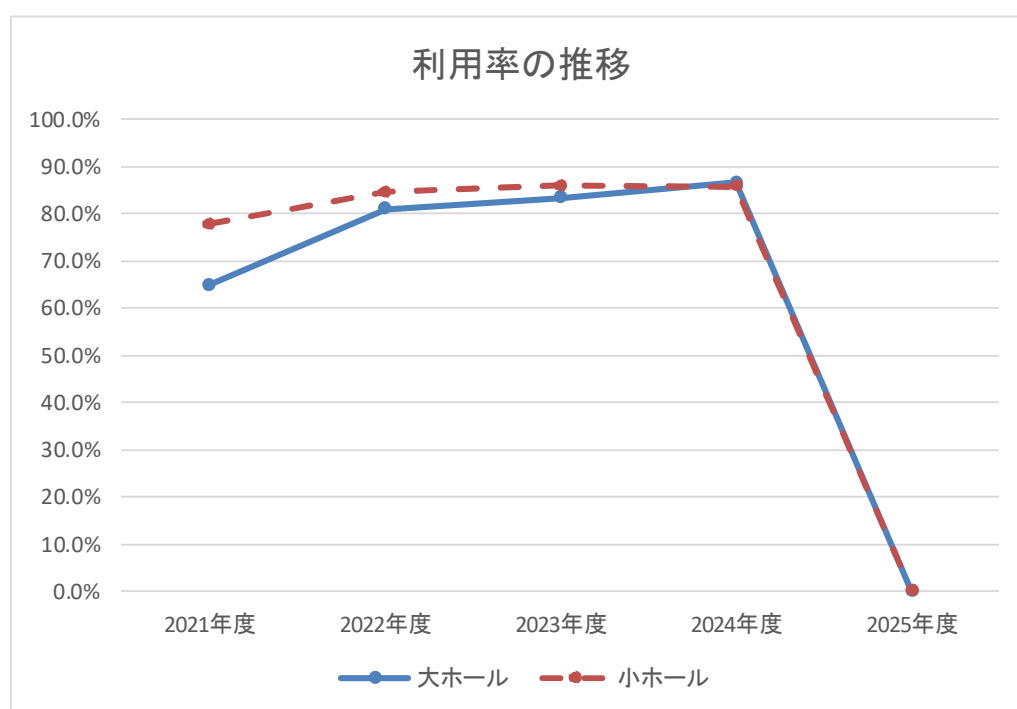
(2025 年度県民ニーズ調査)

V 進行管理のための参考指標等

4 県立文化施設の利用率（ホール・劇場等）

（１）県民ホール本館

利用状況 年度	大ホール			小ホール		
	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率
2021年度	334	217	65.0%	338	263	77.8%
2022年度	322	261	81.1%	325	275	84.6%
2023年度	325	271	83.4%	325	279	85.8%
2024年度	322	279	86.6%	328	281	85.7%
2025年度	－	－	0.0%	－	－	0.0%

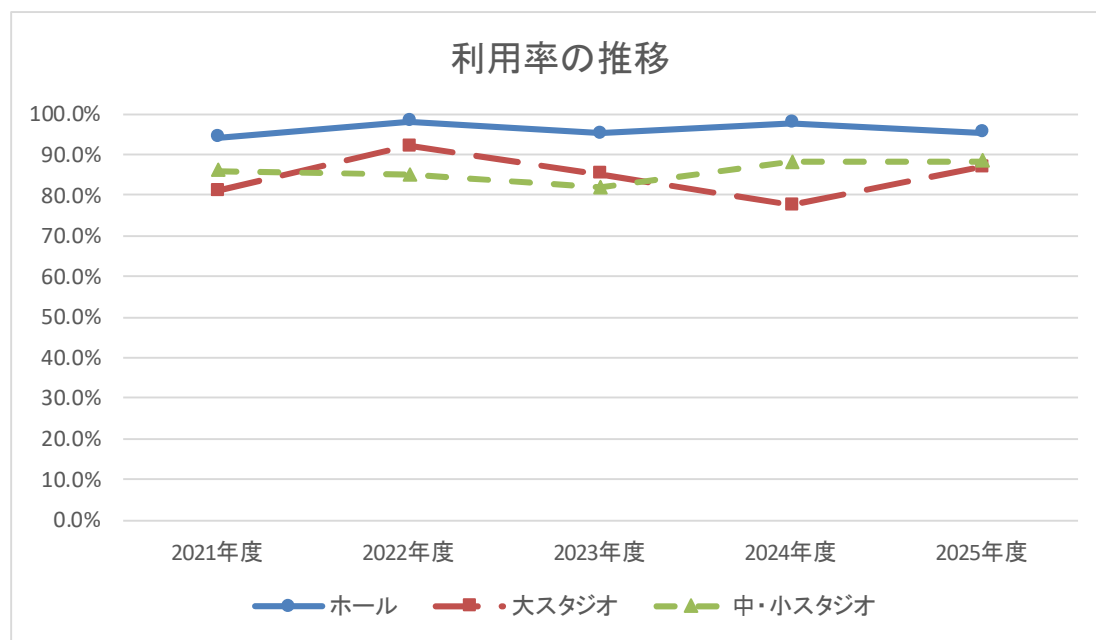


※ 2025年度より、施設の老朽化のため休館

V 進行管理のための参考指標等

(2) KAAT 神奈川芸術劇場

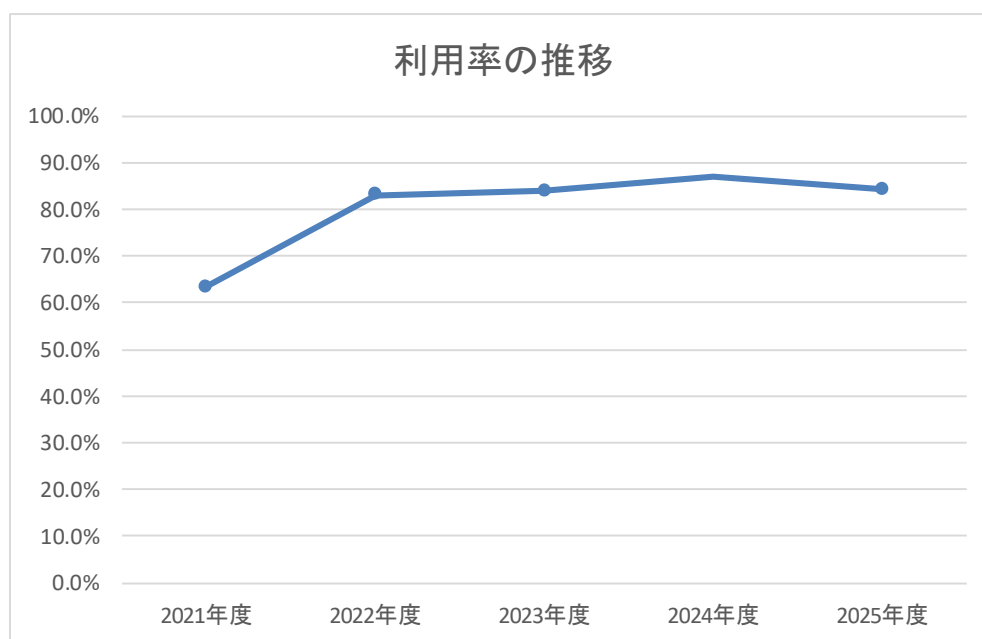
利用状況 年度	ホール			大スタジオ			中・小スタジオ		
	利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率	利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率	利用可能日数 (日)	利用日数 (日)	利用率
2021年度	281	265	94.3%	338	274	81.1%	349	300	86.0%
2022年度	317	311	98.1%	319	294	92.2%	354	301	85.0%
2023年度	293	279	95.2%	324	276	85.2%	353	289	81.9%
2024年度	311	304	97.7%	299	232	77.6%	353	311	88.1%
2025年度	287	274	95.5%	344	299	86.9%	352	311	88.4%



V 進行管理のための参考指標等

(3) 音楽堂

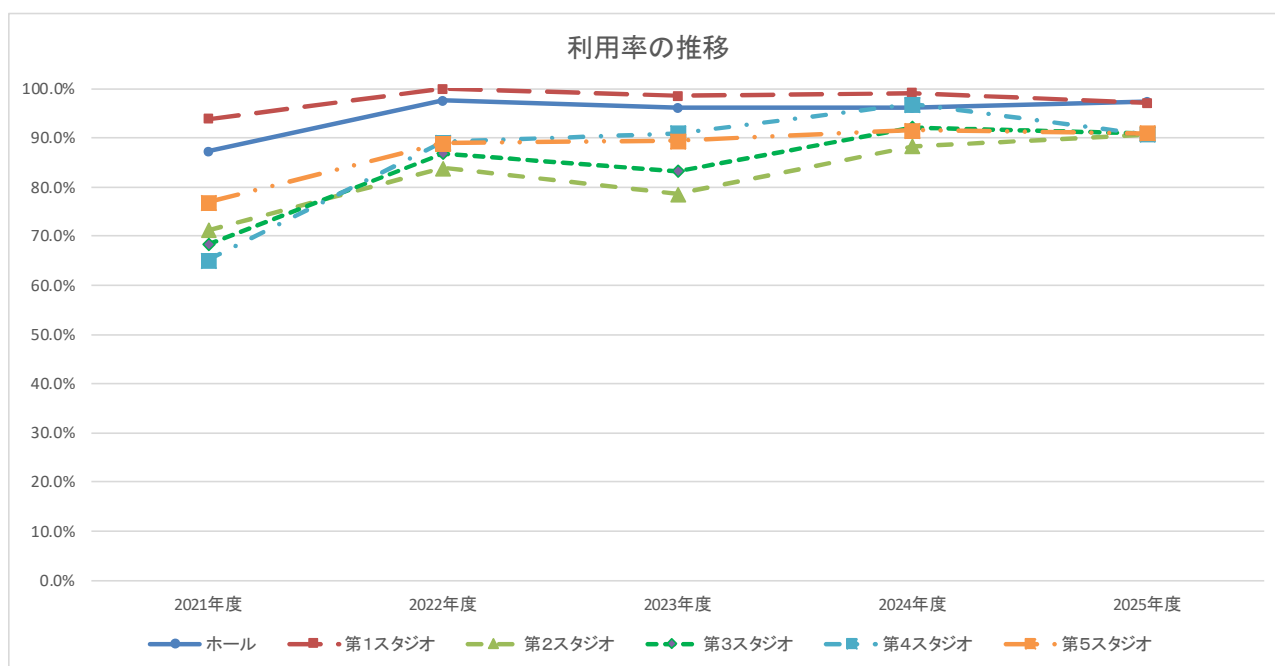
利用状況 年度	ホール		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2021年度	295	187	63.4%
2022年度	278	231	83.1%
2023年度	293	246	84.0%
2024年度	283	246	86.9%
2025年度	284	239	84.2%



V 進行管理のための参考指標等

(4) かながわアートホール

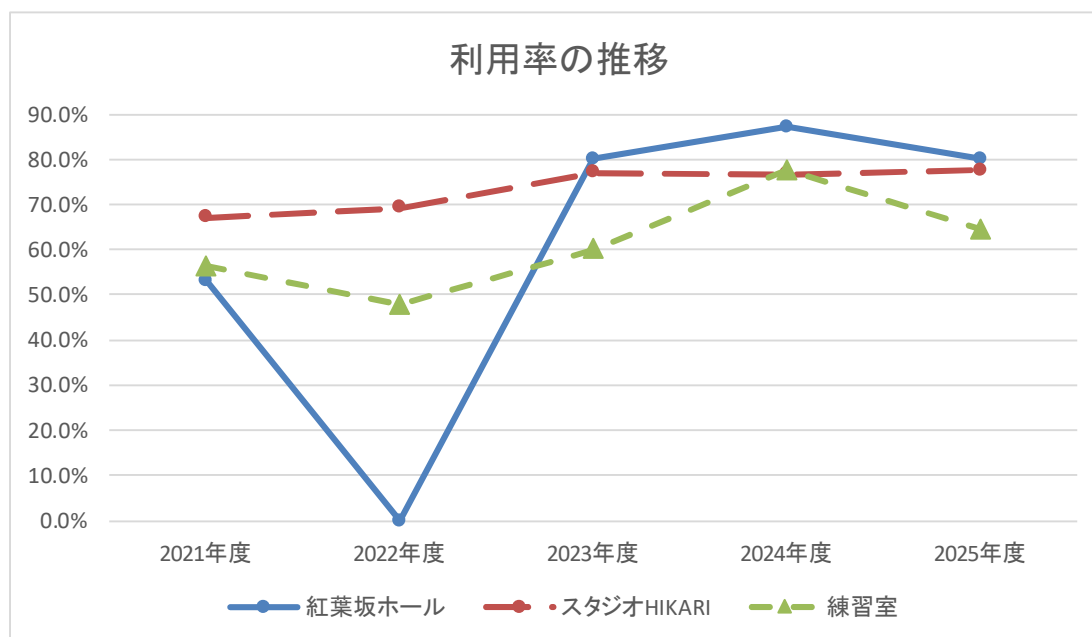
利用状況 年度	ホール			第1スタジオ			第2スタジオ			第3スタジオ			第4スタジオ			第5スタジオ		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2021年度	335	292	87.2%	341	320	93.8%	341	243	71.3%	341	233	68.3%	341	222	65.1%	341	262	76.8%
2022年度	322	314	97.5%	340	340	100.0%	341	286	83.9%	342	297	86.8%	342	305	89.2%	341	303	88.9%
2023年度	203	195	96.1%	342	337	98.5%	341	268	78.6%	341	284	83.3%	342	311	90.9%	340	304	89.4%
2024年度	337	324	96.1%	343	340	99.1%	343	303	88.3%	343	316	92.1%	343	332	96.8%	343	314	91.5%
2025年度	330	321	97.3%	341	331	97.1%	342	310	90.6%	342	311	90.9%	342	310	90.6%	342	311	90.9%



V 進行管理のための参考指標等

(5) 青少年センター

利用状況 年度	紅葉坂ホール			スタジオHIKARI			練習室		
	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率
2021年度	292	155	53.1%	326	219	67.2%	259	146	56.4%
2022年度	-	-	0.0%	306	212	69.3%	239	114	47.7%
2023年度	201	161	80.1%	317	244	77.0%	250	150	60.0%
2024年度	249	217	87.1%	295	226	76.6%	245	190	77.6%
2025年度	226	181	80.1%	286	222	77.6%	264	170	64.4%

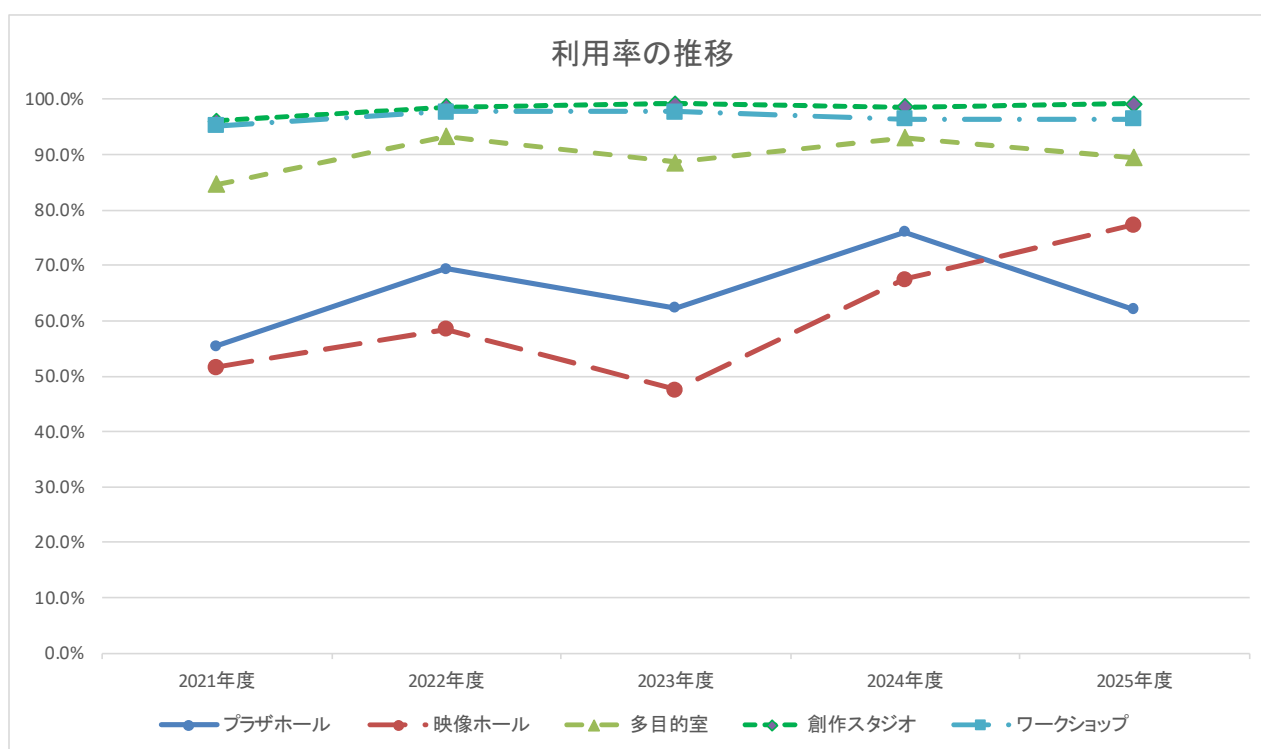


※ 「紅葉坂ホール」は、2022年度は、改修工事のため休館

V 進行管理のための参考指標等

(6) 地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）

利用状況 年度	プラザホール			映像ホール			多目的室			創作スタジオ			ワークショップ		
	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率	利用可能日数（日）	利用日数（日）	利用率
2021年度	350	194	55.4%	351	181	51.6%	359	304	84.7%	359	345	96.1%	359	342	95.3%
2022年度	350	243	69.4%	352	206	58.5%	359	335	93.3%	359	354	98.6%	359	351	97.8%
2023年度	337	210	62.3%	358	170	47.5%	360	319	88.6%	360	357	99.2%	360	352	97.8%
2024年度	346	263	76.0%	353	238	67.4%	359	334	93.0%	360	355	98.6%	359	346	96.4%
2025年度	345	214	62.0%	353	273	77.3%	359	321	89.4%	359	356	99.2%	359	346	96.4%



V 進行管理のための参考指標等

5 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合

都道府県	標本数	推定人口	総数	スポーツ観 覧・観戦(テ レビ・ス マートフォ ン・パソコ ンなどは除 く)	美術鑑賞(テ レビ・ス マートフォ ン・パソコ ンなどは除 く)	演芸・演 劇・舞踊鑑 賞(テレビ・ スマートフォン・パ ソコンなど は除く)	映画館での 映画鑑賞	映画館以外 での映画鑑 賞(テレビ・DVD・パ ソコンなど)	コンサート などによる クラシック 音楽鑑賞	コンサート などによる ポピュラー 音楽・歌謡 曲鑑賞
		(千人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	171,360	112,462	86.3	14.5	11.4	6.7	29.8	52.7	3.9	5.9
北海道	5,175	4,614	85.4	15.5	8.8	4.6	23.3	51.7	3.9	5.6
青森県	3,243	1,090	78.6	11.9	8.4	3.2	21.1	43.5	1.9	3.4
岩手県	3,418	1,075	82.9	13.2	8.9	4.5	19.2	45.1	3.8	4.5
宮城県	3,399	2,065	87.0	19.2	9.2	6.4	29.0	51.6	3.8	5.5
秋田県	3,515	849	82.1	15.0	9.0	4.4	21.9	46.6	3.3	3.6
山形県	3,665	944	82.4	13.1	10.9	4.5	27.1	46.2	4.1	4.3
福島県	3,601	1,632	81.5	11.2	9.8	3.5	21.2	46.7	2.5	3.5
茨城県	3,451	2,572	85.3	12.1	8.5	3.8	28.6	50.2	2.9	3.1
栃木県	3,523	1,730	83.9	13.4	7.1	3.9	25.9	47.7	2.7	3.9
群馬県	3,587	1,724	85.2	11.6	8.7	4.2	27.9	51.0	4.0	4.5
埼玉県	6,153	6,622	88.4	14.7	9.4	7.6	32.8	55.6	4.2	6.4
千葉県	4,670	5,670	87.0	13.7	8.7	6.3	31.6	53.8	3.3	6.3
東京都	3,496	12,724	91.4	15.1	17.8	12.6	37.4	62.4	6.2	8.3
神奈川県	5,273	8,344	89.2	15.2	12.3	7.8	34.4	58.8	4.8	7.9
新潟県	3,606	1,955	84.0	13.7	12.5	4.5	26.6	49.1	2.9	5.1
富山県	3,584	922	82.6	14.0	13.1	5.8	30.9	48.0	4.2	4.6
石川県	3,365	997	86.2	12.7	13.4	5.6	30.5	50.1	4.2	5.2
福井県	3,538	677	85.2	12.4	13.8	4.8	31.3	50.8	4.6	5.0
山梨県	3,216	725	83.1	14.5	12.1	5.4	24.9	47.5	4.1	5.3
長野県	3,569	1,824	84.8	14.3	11.7	5.9	26.0	48.2	4.1	5.1
岐阜県	3,764	1,764	84.9	11.0	8.7	5.2	27.3	48.2	2.9	4.2
静岡県	3,822	3,241	85.1	13.1	10.5	5.1	27.5	50.0	3.8	4.5
愛知県	6,028	6,728	89.3	16.0	12.1	6.8	33.5	56.3	3.9	6.7
三重県	3,524	1,574	84.2	12.2	8.4	5.1	27.9	48.9	2.4	5.5
滋賀県	3,445	1,261	86.4	14.1	11.1	5.2	29.1	50.7	3.1	4.3
京都府	2,845	2,311	85.6	15.2	15.4	8.8	30.3	53.1	4.4	7.6
大阪府	4,520	7,913	86.7	14.7	11.7	8.2	33.5	54.0	3.8	7.7
兵庫県	4,512	4,871	85.4	13.9	12.4	6.4	27.6	51.2	4.5	5.9
奈良県	3,305	1,183	86.2	13.3	12.1	6.7	28.3	51.1	3.2	6.1
和歌山県	3,214	816	83.3	11.9	8.1	3.8	25.0	46.3	2.8	3.8
鳥取県	3,444	484	81.7	12.0	12.5	4.4	23.0	44.7	2.8	3.4
島根県	3,420	586	82.5	12.5	9.8	4.6	23.3	44.6	3.2	3.7
岡山県	3,284	1,666	85.0	12.4	11.2	4.3	23.9	48.8	3.6	4.1
広島県	3,406	2,474	85.1	22.9	11.4	5.5	29.9	49.9	3.8	5.3
山口県	3,146	1,177	83.9	12.4	8.7	3.7	22.7	46.4	2.6	3.4
徳島県	3,088	632	80.6	12.1	7.2	4.0	23.3	43.7	2.0	3.0
香川県	3,143	837	82.9	11.5	9.3	4.2	25.5	46.9	3.2	3.8
愛媛県	3,347	1,178	84.3	13.0	8.8	3.9	23.1	48.9	2.2	3.3
高知県	2,837	606	81.7	10.8	9.9	3.5	24.2	47.6	2.2	4.3
福岡県	4,383	4,509	85.8	17.4	11.1	7.1	31.1	52.8	3.5	6.1
佐賀県	3,427	703	82.1	13.6	10.3	5.4	25.7	45.0	3.7	4.4
長崎県	3,096	1,135	79.7	13.0	8.9	3.6	20.9	43.6	2.7	3.5
熊本県	3,420	1,511	84.1	15.3	9.6	5.4	29.6	47.8	2.9	5.1
大分県	3,100	979	82.3	17.1	12.8	5.4	25.2	45.2	3.6	4.4
宮崎県	3,084	928	81.6	13.7	9.7	4.2	20.8	44.3	3.9	3.9
鹿児島県	3,002	1,377	81.0	13.3	8.7	4.0	24.2	45.3	2.6	4.3
沖縄県	2,707	1,263	80.0	14.1	6.4	3.5	22.5	48.4	2.3	2.4

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	楽器の演奏	邦楽(民謡、日本古来の音楽を含む)	コーラス・声楽	カラオケ	邦舞・おどり	洋舞・社交ダンス	書道	華道	茶道
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	53.5	10.2	3.0	1.7	13.5	1.0	1.1	3.4	1.3	0.8
北海道	51.9	9.5	2.7	1.3	14.8	1.0	0.9	3.0	1.0	0.7
青森県	43.4	5.5	2.7	1.0	10.9	1.0	0.7	2.2	1.0	0.5
岩手県	46.0	7.1	2.7	2.1	11.2	1.1	0.7	3.2	1.4	0.9
宮城県	54.1	9.8	2.9	1.5	13.0	0.8	0.7	3.0	0.9	0.5
秋田県	45.1	6.9	2.5	1.3	11.8	1.0	0.6	2.7	1.5	0.9
山形県	45.0	7.5	2.9	1.8	12.5	0.8	0.8	3.5	1.9	1.0
福島県	47.7	7.3	2.7	1.5	11.1	1.0	0.9	2.5	1.1	0.7
茨城県	50.3	8.5	2.4	1.2	12.0	0.6	1.2	3.7	1.2	0.8
栃木県	48.9	8.5	2.1	1.3	12.6	0.6	1.1	2.7	0.9	0.5
群馬県	52.0	8.7	2.4	1.5	13.3	0.9	1.2	3.2	1.2	0.7
埼玉県	56.3	11.2	2.9	1.9	13.0	0.7	1.4	3.9	1.2	0.5
千葉県	55.4	9.9	3.2	1.5	12.5	1.1	1.1	2.8	0.9	0.6
東京都	64.4	14.5	3.5	2.1	16.1	1.5	1.7	3.0	1.0	0.8
神奈川県	59.5	12.1	3.2	2.2	14.0	0.9	1.6	3.4	1.0	0.9
新潟県	48.2	8.0	2.7	1.4	12.1	0.8	1.0	3.7	1.4	0.7
富山県	44.3	8.6	2.2	1.2	11.2	0.9	0.8	3.0	1.5	1.3
石川県	51.0	8.5	2.8	0.9	12.3	0.8	0.6	3.5	2.0	1.2
福井県	49.3	8.8	3.1	1.4	12.7	1.3	0.9	3.5	1.5	1.1
山梨県	47.8	9.6	2.9	1.6	12.3	0.9	0.8	3.9	1.4	0.8
長野県	49.0	9.7	2.3	2.1	14.0	0.8	1.0	3.7	2.0	0.7
岐阜県	48.4	8.5	2.6	1.6	11.8	0.8	0.9	3.9	1.7	1.1
静岡県	50.1	9.7	3.0	1.9	12.8	1.3	1.0	2.8	1.6	0.8
愛知県	57.1	11.2	3.2	1.6	14.9	1.0	1.1	4.1	1.3	0.9
三重県	49.1	8.3	2.5	1.5	12.5	1.2	1.0	3.8	1.4	1.1
滋賀県	52.8	10.3	2.9	1.5	14.1	0.9	0.9	3.8	1.8	0.9
京都府	53.7	11.4	3.3	1.7	13.4	0.9	1.3	3.5	1.7	1.2
大阪府	54.2	10.0	3.4	1.3	14.6	0.8	1.1	3.3	1.2	0.7
兵庫県	52.7	10.1	2.6	1.9	11.7	0.7	0.8	4.0	1.5	0.8
奈良県	51.1	10.4	2.5	1.8	12.9	0.8	0.9	3.9	1.9	1.3
和歌山県	45.8	8.3	2.9	1.1	13.0	0.8	1.2	3.6	1.8	1.0
鳥取県	47.1	9.1	2.1	1.5	12.3	1.2	1.2	3.3	1.5	1.1
島根県	45.4	8.4	2.4	1.5	12.5	1.0	0.6	2.9	2.1	1.2
岡山県	51.2	9.2	2.2	1.6	11.2	0.9	0.8	3.5	1.7	1.1
広島県	51.3	9.0	3.4	1.9	14.4	1.2	0.9	3.6	1.3	1.3
山口県	47.6	9.0	2.4	1.5	12.2	0.6	1.1	3.5	1.7	1.2
徳島県	44.3	7.7	1.5	1.1	9.8	0.8	0.5	3.2	1.5	0.9
香川県	47.6	8.2	2.5	1.7	13.7	1.2	0.8	4.2	1.8	1.0
愛媛県	48.2	7.4	2.1	1.4	14.0	0.7	0.7	2.8	1.3	0.7
高知県	45.7	8.6	2.5	0.9	12.0	1.3	0.7	2.9	1.1	0.6
福岡県	52.5	8.6	3.5	1.4	13.9	1.2	1.6	3.0	1.2	1.1
佐賀県	46.8	7.8	2.8	1.6	12.2	1.0	0.8	4.5	1.3	0.8
長崎県	44.3	7.1	2.2	1.7	12.0	1.2	0.9	3.8	1.1	0.7
熊本県	48.3	8.5	2.0	1.6	14.6	0.9	0.8	3.9	1.2	0.7
大分県	47.5	6.7	2.9	1.1	11.3	0.8	0.6	3.3	1.1	0.6
宮崎県	47.1	8.5	2.7	2.0	12.7	1.1	0.6	3.3	1.4	0.6
鹿児島県	45.7	8.9	2.7	1.6	15.0	1.5	1.0	4.0	1.3	0.5
沖縄県	49.2	10.2	5.5	1.1	13.4	1.1	0.9	3.9	0.7	0.5

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	和裁・洋裁	編み物・手芸	趣味としての料理・菓子作り	園芸・庭いじり・ガーデニング	日曜大工	絵画・彫刻の制作	陶芸・工芸	写真の撮影・プリント	詩・和歌・俳句・小説などの創作	趣味としての読書（マンガを除く）
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	5.5	8.8	19.0	26.0	11.0	3.4	1.6	21.9	2.2	31.6
北海道	5.9	10.7	18.7	27.0	12.4	3.1	1.3	21.2	1.8	29.4
青森県	4.1	8.3	13.9	24.4	10.3	1.7	0.9	14.6	1.5	22.7
岩手県	5.7	10.5	17.5	28.8	12.9	2.6	1.6	18.2	1.6	25.3
宮城県	5.2	9.2	20.2	27.3	11.4	2.5	1.8	21.5	2.7	33.0
秋田県	5.8	9.6	17.5	26.9	12.7	2.1	1.1	15.9	1.2	24.6
山形県	5.7	9.3	17.1	29.1	11.3	2.6	1.9	17.8	1.9	25.2
福島県	4.3	8.2	16.0	27.6	11.4	2.3	1.4	17.0	2.1	25.2
茨城県	4.8	7.9	18.8	32.2	13.0	3.4	1.4	22.2	1.8	29.3
栃木県	4.7	7.4	16.7	29.4	11.1	2.9	1.7	19.3	1.6	25.8
群馬県	5.0	7.9	17.5	32.8	11.6	3.2	1.7	21.7	2.1	27.5
埼玉県	6.1	9.1	19.4	28.2	11.8	3.5	1.4	23.6	2.0	34.4
千葉県	6.2	9.2	19.3	26.0	10.5	3.4	1.4	22.4	2.4	33.7
東京都	5.9	8.4	21.9	22.3	9.6	4.5	2.1	27.2	3.5	43.4
神奈川県	6.3	9.7	20.6	25.7	10.7	4.0	1.9	26.7	2.5	38.7
新潟県	5.4	8.3	17.5	28.5	10.9	3.1	1.1	19.0	1.9	28.2
富山県	4.3	7.7	16.1	25.1	11.4	2.5	1.1	18.3	1.7	26.3
石川県	4.9	8.1	18.2	25.2	9.8	2.9	1.7	18.1	1.8	28.3
福井県	4.8	7.6	18.4	25.7	11.1	3.0	2.1	19.2	1.8	27.0
山梨県	4.9	9.1	18.8	29.6	11.5	3.9	1.6	19.2	2.8	28.3
長野県	5.3	8.9	20.1	32.3	12.2	3.1	1.7	19.8	2.6	30.3
岐阜県	4.9	7.8	17.8	27.6	12.2	2.9	1.4	18.5	2.0	25.1
静岡県	5.8	9.5	18.5	28.4	10.8	3.7	1.7	21.0	2.2	29.3
愛知県	6.2	8.8	20.1	26.4	10.9	3.5	2.0	23.8	1.6	31.0
三重県	5.3	8.5	18.4	28.4	12.1	3.0	1.7	20.0	1.6	26.8
滋賀県	5.5	9.2	20.1	27.8	13.6	3.9	2.1	21.8	2.1	29.1
京都府	6.1	9.3	19.5	24.8	10.6	4.4	2.0	23.5	3.1	33.4
大阪府	5.2	9.1	19.3	19.5	10.0	3.5	1.4	21.2	1.9	31.8
兵庫県	5.9	9.7	19.2	24.1	11.2	3.7	2.0	21.1	1.9	30.8
奈良県	5.4	9.1	18.6	28.4	10.9	3.8	1.8	21.4	2.0	31.3
和歌山県	5.2	7.6	16.2	28.6	12.0	3.0	1.7	17.8	1.7	23.9
鳥取県	4.9	8.3	18.6	26.0	10.0	3.1	1.0	17.7	1.9	27.1
島根県	4.4	8.7	16.7	28.9	11.8	2.7	1.7	17.1	2.0	27.1
岡山県	5.4	9.5	20.0	30.1	11.4	3.0	1.5	20.0	2.0	27.1
広島県	4.9	8.4	18.3	25.1	12.5	3.5	1.2	21.0	2.1	28.0
山口県	5.6	9.0	16.1	28.3	10.3	3.0	1.3	19.1	1.9	25.8
徳島県	5.2	8.3	17.2	27.6	10.7	2.5	0.9	16.0	1.6	24.4
香川県	4.9	7.9	17.5	27.4	9.9	3.3	1.1	18.0	2.0	27.0
愛媛県	4.1	7.9	17.1	28.7	10.9	2.3	1.0	18.9	2.4	26.3
高知県	4.9	8.1	15.6	26.0	10.3	2.4	1.3	16.9	1.6	24.4
福岡県	5.1	8.2	18.9	23.1	9.3	3.2	1.5	21.2	2.0	29.3
佐賀県	5.4	8.3	17.6	27.6	11.3	3.2	1.3	18.9	1.5	23.9
長崎県	5.0	7.5	15.7	26.1	10.5	2.5	1.2	16.6	1.5	24.1
熊本県	5.4	8.6	17.2	29.2	12.0	3.0	0.8	21.3	1.6	25.8
大分県	4.5	6.8	16.5	26.4	9.3	2.7	1.3	17.5	1.5	25.0
宮崎県	4.9	6.8	16.3	28.1	11.9	3.0	1.4	18.6	1.6	23.9
鹿児島県	5.3	8.7	17.9	28.9	12.5	2.6	1.8	19.6	1.9	26.4
沖縄県	4.2	6.7	16.1	20.2	12.1	2.7	0.8	15.9	1.3	23.9

V 進行管理のための参考指標等

都道府県	マンガを読む	囲碁	将棋	パチンコ	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	遊園地、動植物園、水族館などの見物	キャンプ	その他
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全国	36.8	0.9	3.0	6.3	42.9	19.0	6.0	3.7
北海道	35.5	0.7	2.7	7.8	44.2	16.3	9.1	3.8
青森県	29.3	0.8	2.2	7.6	34.4	10.7	5.3	2.5
岩手県	31.3	0.9	2.2	8.0	36.9	8.2	3.7	2.8
宮城県	38.9	0.9	2.7	7.5	42.5	17.9	6.2	3.2
秋田県	29.9	0.5	1.4	6.7	33.7	14.6	4.0	3.1
山形県	32.7	0.6	2.2	6.9	35.8	12.6	5.9	2.9
福島県	34.3	0.8	2.6	7.0	37.4	13.0	4.7	2.9
茨城県	34.7	0.8	2.7	6.0	41.2	17.4	4.9	3.6
栃木県	33.0	0.6	2.6	6.2	40.5	18.5	5.2	3.2
群馬県	34.8	1.1	2.6	5.4	40.1	16.5	4.8	2.5
埼玉県	38.8	1.0	3.4	5.5	44.0	18.5	6.3	4.4
千葉県	36.8	1.0	2.9	5.2	43.7	19.1	5.8	3.6
東京都	43.2	1.1	3.6	4.4	48.3	23.7	6.7	5.0
神奈川県	41.2	0.9	3.2	5.2	47.9	24.0	6.8	3.9
新潟県	35.1	1.1	3.1	5.3	38.3	16.7	5.1	4.1
富山県	32.7	0.8	2.5	6.5	36.6	16.6	4.3	3.7
石川県	38.6	0.5	2.8	8.1	42.5	14.7	4.6	3.8
福井県	35.1	0.7	2.9	7.9	39.9	14.8	5.0	3.9
山梨県	32.1	1.0	3.3	5.9	36.8	14.7	6.0	3.0
長野県	34.6	1.1	2.4	5.8	36.9	13.4	5.8	3.3
岐阜県	33.9	0.8	2.0	7.8	41.8	15.5	5.4	3.6
静岡県	36.5	1.0	3.3	6.6	42.8	16.7	5.6	3.7
愛知県	40.2	1.0	3.4	7.9	48.4	25.5	8.9	4.2
三重県	34.6	0.7	3.3	7.9	41.1	15.0	4.7	3.6
滋賀県	37.1	0.4	3.0	5.7	43.9	16.9	7.3	3.7
京都府	37.2	1.0	3.2	4.7	43.2	23.9	5.8	3.3
大阪府	38.2	0.9	3.4	8.0	45.7	22.1	5.5	3.7
兵庫県	34.8	1.1	3.0	5.1	41.9	19.0	5.4	3.2
奈良県	32.9	1.0	2.8	4.6	42.4	18.0	5.7	3.4
和歌山県	30.9	0.8	2.3	7.4	37.7	16.3	5.2	3.3
鳥取県	30.8	1.0	3.1	6.8	34.2	10.5	4.2	3.3
島根県	32.3	1.0	3.3	7.6	35.6	12.2	3.6	2.8
岡山県	33.5	1.1	3.4	5.9	39.8	15.0	5.6	3.3
広島県	34.9	0.7	2.5	6.8	41.1	16.3	6.8	3.3
山口県	31.8	0.9	2.1	6.7	37.6	16.1	4.3	3.2
徳島県	32.1	0.7	3.3	5.3	37.3	12.2	4.1	2.9
香川県	33.6	1.0	3.8	6.5	39.6	17.6	4.7	2.8
愛媛県	34.4	0.6	2.6	6.8	39.4	13.2	3.8	2.8
高知県	32.5	1.0	2.8	7.7	37.2	18.1	6.5	2.9
福岡県	36.6	1.1	2.4	6.6	42.5	19.5	6.0	4.2
佐賀県	31.7	0.7	2.8	8.6	36.8	16.4	5.4	3.0
長崎県	29.7	1.3	3.0	7.3	34.9	13.0	3.3	2.7
熊本県	33.1	0.8	2.6	8.2	38.2	17.1	6.5	2.9
大分県	30.9	1.0	2.8	7.4	36.0	16.4	4.7	2.3
宮崎県	29.5	0.8	2.2	8.4	35.9	13.4	5.3	2.5
鹿児島県	31.7	0.7	2.7	8.6	35.2	16.0	6.6	2.4
沖縄県	33.0	0.8	2.1	3.6	36.5	13.7	4.1	2.1

「令和3年『社会生活基本調査』都道府県、趣味・娯楽の種類別行動者率（10歳以上）」

のデータを加工して作成

令和3年 社会生活基本調査 調査対象 全国約9万1千世帯の10歳以上の世帯員（第1次抽出単位を国勢調査調査区とし、第2次抽出単位を世帯とする層化2段抽出法）
調査期日 令和3年10月20日（5年ごと）
調査方法 調査員による調査票の配布及び収集

Ⅵ 年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）

県の文化芸術振興の総合的な目標等を定めた「かながわ文化芸術振興計画（計画期間：2024（令和6）年度～2028（令和10）年度）」において、「重点施策」及び「基本的な施策」に位置付けた各事業の実施状況を取りまとめたものとして、2026（令和8）年8月25日開催の第40回審議会において、県から報告を受けたところである。

当審議会として報告を受けた内容について審査を行い、課題等について、次のとおり意見を述べ、この年次報告のまとめとする。

（第40回文化芸術振興審議会実施後に作成）